

夢づくり政策評価(案)について

新おかやま夢づくりプランの平成22年度実績について、次のとおり夢づくり政策評価(案)を取りまとめた。

評価(案)は、プランに掲げる各戦略プログラムに設定した夢づくり協働指標の数値目標の達成度や施策・事業の実施状況等を踏まえ、総合的に判断して作成した。

1 評価(案)の概要

基本戦略	達成レベル別プログラム数					平均
	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1	
教育と人づくり	1	5	4	0	0	3.7
安全・安心	0	6	4	0	0	3.6
産業と交流	0	3	7	0	0	3.3
計	1	14	15	0	0	3.5

詳細は別紙「夢づくり政策評価(案)シート一覧」のとおり

2 今後のスケジュール

7月15日から8月14日までの間、おかやま県民提案制度(パブリック・コメント)を行い、その後評価を決定する。

(参考) プログラムの達成レベル(5段階)

- レベル5 …… 目標水準を大きく上回った
- レベル4 …… 目標水準を上回った
- レベル3 …… おおむね目標水準
- レベル2 …… 目標水準を下回った
- レベル1 …… 目標水準を大きく下回った

夢づくり政策評価(案) 一覧表

基本戦略	戦略プログラム		プログラム達成レベル				所管部局
			H19	H20	H21	H22	
「教育と人づくりの岡山」の創造 (H22平均 3.7)	1	子育て支援プログラム	4	4	4	3	保健福祉部
	2	子ども教育プログラム	3	3	3	3	教育庁
	3	青少年プログラム	3	4	3	3	県民生活部
	4	生涯学習プログラム	4	4	4	4	教育庁
	5	人権プログラム	3	4	4	4	県民生活部
	6	男女共同参画プログラム	3	3	3	3	県民生活部
	7	文化プログラム	3	3	4	4	環境文化部
	8	国民文化祭プログラム	4	3	4	5	環境文化部
	9	スポーツプログラム	4	4	4	4	環境文化部
	10	パートナーシッププログラム	4	4	4	4	県民生活部
「安全・安心の岡山」の創造 (H22平均 3.6)	1	安全・安心まちづくりプログラム	4	4	4	4	県民生活部
	2	暮らしと交通の安全プログラム	4	4	4	4	警察本部
	3	災害対策・危機管理プログラム	3	3	3	3	危機管理監
	4	自主防災プログラム	3	3	3	3	危機管理監
	5	健康・医療プログラム	4	4	4	4	保健福祉部
	6	福祉プログラム	3	3	3	3	保健福祉部
	7	ユニバーサルデザインプログラム	3	3	3	4	県民生活部
	8	水と緑プログラム	3	3	3	3	環境文化部
	9	地球環境プログラム	3	3	4	4	環境文化部
	10	都市・農村景観プログラム	3	3	4	4	環境文化部
「産業と交流の岡山」の創造 (H22平均 3.3)	1	地域産業プログラム	4	3	3	3	産業労働部
	2	新産業プログラム	3	3	3	3	産業労働部
	3	戦略的企業立地プログラム	4	2	2	3	産業労働部
	4	観光プログラム	3	3	3	3	産業労働部
	5	農林水産業プログラム	4	4	4	4	農林水産部
	6	就労プログラム	3	4	3	3	産業労働部
	7	交通基盤プログラム	3	3	3	3	土木部
	8	ユビキタス実感プログラム	4	4	4	4	県民生活部
	9	まち・むら活性化プログラム	3	3	3	3	県民生活部
	10	国際化プログラム	4	4	4	4	県民生活部

夢づくり政策評価（案）シート一覧

平成23年7月

新おかやま夢づくりプランの4年目となる平成22年度実績について、各戦略プログラムごとに達成レベルを5段階に分けて評価を行い案を作成しました。

評価は、夢づくり協働指標の数値目標の達成度や代表的な取組の実施状況や成果等を踏まえ総合的に判断して行っています。

1 評価対象

- 「教育と人づくりの岡山」の創造 (10プログラム)
- 「安全・安心の岡山」の創造 (10プログラム)
- 「産業と交流の岡山」の創造 (10プログラム)

2 プログラムの達成レベル (5段階)

- レベル5 …… 目標水準を大きく上回った
- レベル4 …… 目標水準を上回った
- レベル3 …… おおむね目標水準
- レベル2 …… 目標水準を下回った
- レベル1 …… 目標水準を大きく下回った

3 「夢づくり協働指標の進捗 (達成) 状況」表

プラン改訂時 (平成21年9月) の追加指標には★を付しており、現況値は改訂時 (H20 実績) の数値を記入しています。

上記以外の指標の現況値は改訂前 (平成19年3月) の数値を記入しています。

また、改訂時に目標値を変更したものについては、改訂前の目標値を () 内に示しています。

基本戦略	戦略プログラム		達成レベル				所管部局	頁
			H19	H20	H21	H22		
「教育と人づくりの岡山」の創造	1	子育て支援プログラム	4	4	4	3	保健福祉部	1
	2	子ども教育プログラム	3	3	3	3	教育庁	3
	3	青少年プログラム	3	4	3	3	県民生活部	5
	4	生涯学習プログラム	4	4	4	4	教育庁	7
	5	人権プログラム	3	4	4	4	県民生活部	9
	6	男女共同参画プログラム	3	3	3	3	県民生活部	11
	7	文化プログラム	3	3	4	4	環境文化部	13
	8	国民文化祭プログラム	4	3	4	5	環境文化部	15
	9	スポーツプログラム	4	4	4	4	環境文化部	17
	10	パートナーシッププログラム	4	4	4	4	県民生活部	19
「安全・安心の岡山」の創造	1	安全・安心まちづくりプログラム	4	4	4	4	県民生活部	21
	2	暮らしと交通の安全プログラム	4	4	4	4	警察本部	23
	3	災害対策・危機管理プログラム	3	3	3	3	危機管理監	25
	4	自主防災プログラム	3	3	3	3	危機管理監	27
	5	健康・医療プログラム	4	4	4	4	保健福祉部	29
	6	福祉プログラム	3	3	3	3	保健福祉部	31
	7	ユニバーサルデザインプログラム	3	3	3	4	県民生活部	33
	8	水と緑プログラム	3	3	3	3	環境文化部	35
	9	地球環境プログラム	3	3	4	4	環境文化部	37
	10	都市・農村景観プログラム	3	3	4	4	環境文化部	39
「産業と交流の岡山」の創造	1	地域産業プログラム	4	3	3	3	産業労働部	41
	2	新産業プログラム	3	3	3	3	産業労働部	43
	3	戦略的企業立地プログラム	4	2	2	3	産業労働部	45
	4	観光プログラム	3	3	3	3	産業労働部	47
	5	農林水産業プログラム	4	4	4	4	農林水産部	49
	6	就労プログラム	3	4	3	3	産業労働部	51
	7	交通基盤プログラム	3	3	3	3	土木部	53
	8	ユビキタス実感プログラム	4	4	4	4	県民生活部	55
	9	まち・むら活性化プログラム	3	3	3	3	県民生活部	57
	10	国際化プログラム	4	4	4	4	県民生活部	59

夢づくり政策評価シート

整理番号	101
担当部局	保健福祉部

1 施策の概要

基本戦略	「教育と人づくりの岡山」の創造
戦略プログラム	子育て支援プログラム
プログラムの概要	少子化の流れを変え、次代を担う子どもたちが、心身ともに健やかに生まれ育ち、家庭や地域で心豊かに生活できるよう、母子保健・医療の充実や子育て支援の推進など、安心して子どもを生み育てる環境づくりに取り組みます。

2 夢づくり協働指標の進捗(達成)状況

指標名	単位	現況値	目標値	実績値					全国順位	
				H19	H20	H21	H22	H23		
地域子育て支援拠点数	箇所	73	110	86	90	95	95		—	
(指標の説明) 子育て中の親子が集まって情報交換や交流をしたり育児相談ができる地域の子育て支援拠点の数を表すもの										
延長保育実施箇所数	箇所	278	310	278	287	296	300		—	
(指標の説明) 開所時間を延長し、保護者の就労時間、通勤時間など実情に応じた延長保育を実施している保育所数を表すもの										
放課後児童クラブ設置数	クラブ	289	380 (330)	315	338	364	389		—	
(指標の説明) 児童館・児童センター、保育所や学校の空き教室等地域住民に最も身近な社会資源を利用して、昼間保護者のいない小学校低学年児童に対し、育成・指導・遊びによる発達助長などのサービスを行う児童クラブの設置数を表すもの										
★ももっこカード(おかやま子育て家庭応援カード)協賛店舗数	箇所	1,710	2,100	1,333	1,710	1,884	2,091		—	
(指標の説明) 妊娠中の者及び小学校6年までの児童を持つ家庭を対象に、カードを交付し、そのカードを協賛企業等に提示することにより、協賛企業独自の子育て支援サービスが受けられる制度で、その協賛店舗数を表すもの										
★「おかやま子育て応援宣言企業」登録企業・事業所数	箇所	156	400	50	156	176	253		—	
(指標の説明) 雇用する従業員の子育てや地域の子育てを応援することなどを宣言し県が登録した企業の数を表すもの										

3 代表的な取組(I)

- 子どもが健やかに生まれ育つ社会全体の気運の醸成
協賛店舗等での料金割引サービスなどにより子育て家庭を応援する「ももっこカード」の普及促進、従業員の子育てや地域の子育てを応援する「おかやま子育て応援宣言企業」の募集・登録の推進を図った。
また、登録企業を対象に「パパ育休取ろうね助成金」事業を実施した。

〈協働の成果〉

市町村、学校、保健所等の協力や広報媒体の活用による啓発により、「ももっこカード」の対象家庭へのさらなる普及が図られるとともに、地域商店や企業・事業所、市町村との連携により、協賛店舗数や子育て家庭を支援する企業が増加した。

「おかやま子育て応援宣言企業」岡山県知事賞HP

http://www.pref.okayama.jp/soshiki/detail.html?lif_id=55358



3 代表的な取組(Ⅱ)

■きめ細やかな保育の充実

保護者の就労形態の多様化や地域の実情に応じた保育需要に対応するため、「岡山県安心こども基金」等を活用し、待機児童解消に向けた施設整備に加え、延長保育や一時預かり、休日保育、病児・病後児保育等のきめ細やかな保育サービスの提供が行われるよう、市町村に対する支援を行った。

また、放課後等の子どもの安全で健やかな活動場所を確保するため、施設改修に対する補助や障害児専任指導員を配置した場合の運営費補助への加算を行うことなどにより、放課後児童クラブの設置促進に取り組んだ。



【放課後児童クラブ】

<協働の成果>

放課後児童クラブにおいては、市町村や町内会をはじめ地域住民との連携を図るとともに、伝統技術や自然体験技術を持つボランティアの登録・派遣に取り組んだ結果、家庭や地域における遊びの環境づくりの充実を図ることができた。

(参考数値)

障害児受入 クラブ数	H21	H22	増減
	92	104	12

障害児専任指導 員配置クラブ数	H21	H22	増減
	11	13	2

※いずれの数値も政令市・中核市を除く

4 取り組むべき課題と対応方針

○子どもが健やかに生まれ育つ社会全体の気運の醸成

「もっこカード」協賛店の店舗の増加を図るためのPRを継続するとともに、啓発資材を新たに配布・設置することによりカード利用者の利便性の向上を図る。また、「おかやま子育て応援宣言企業」に社会保険労務士等の専門家を派遣し、具体的取り組みへのサポートを行うほか、応援宣言企業の一層の拡大を図るため、新たに未登録の従業員数101人以上300人以下の企業を中心に直接訪問し、取組への参画とワーク・ライフ・バランスの実現に向けての助言等を行う。

○放課後児童クラブ

放課後児童クラブのうち大規模クラブについては、引き続き市町村に対して適正規模化の促進についての助言を行う。また、障害児受入の更なる推進を図るため、障害児の受入に対する補助制度の拡充や、障害児の人数に応じた加算制度の見直し等を国に提案していく。

5 総合評価

「岡山いきいき子どもプラン2010」を指針として、“子育て支援は岡山の未来づくり”の基本理念の下、家庭や地域、学校、企業、関係機関などとの連携により、総合的に取組を進めた結果、もっこカード協賛店舗数が増加したほか、放課後児童クラブの設置数も順調に伸びるなど、次代を担うすべての子どもたちが健やかに生まれ育つ環境づくりの推進が図れた。

プログラム達成レベル

H19	H20	H21	H22	H23
4	4	4	3	

- 5 目標水準を大きく上回った
- 4 目標水準を上回った
- 3 概ね目標水準
- 2 目標水準を下回った
- 1 目標水準を大きく下回った

夢づくり政策評価シート

整理番号	102
担当部局	教育庁

1 施策の概要

基本戦略	「教育と人づくりの岡山」の創造
戦略プログラム	子ども教育プログラム
プログラムの概要	子どもたち一人ひとりの教育的ニーズを踏まえた個性や能力の伸長、優れた教員の育成に努めるとともに、市町村や学校の自主性・自立性を高めつつ、創意工夫を生かした特色ある教育活動に取り組みます。

2 夢づくり協働指標の進捗(達成)状況

指標名	単位	現況値	目標値	実績値					全国順位
				H19	H20	H21	H22	H23	
学校生活に満足している生徒の割合	%	79	83 (80)	79	81	81	83		—
(指標の説明) 学校生活に満足している高校生の増加を目指すもの									
★ 公立高等学校(全日制)におけるインターンシップ参加生徒数	人/年	3,928	4,500	3,637	3,928	4,026	4,055		—
(指標の説明) 地域の企業等と連携して、生徒の勤労観、職業観の育成を目指すもの									
中高一貫教育・総合学科等の新しい形態の学校数	校	24	29	27	27	27	28		—
(指標の説明) 学校教育における子どもの選択肢の拡大を目指すもの									
県立学校の授業等を支援している外部人材の数	人/年	1,548	2,200 (1,650)	1,777	1,963	2,252	2,119		—
(指標の説明) 児童生徒の確かな学力の向上を目指すもの									
特別支援学校教諭の専門免許取得率	%	52.1	70 (60)	66.6	66.8	68.5	69.4		30位 (H22)
(指標の説明) 特別支援学校教諭の該当領域の教員免許の取得率向上により、専門性の高い教育を目指すもの									

3 代表的な取組(Ⅰ)

■子どもたちの確かな学力の育成と教職員の指導力の向上

全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、教員の意識改革と指導力の向上、子どもたちの学習意欲の喚起と確かな学力の向上を図るために、「岡山県学力向上アクションプラン」を推進した。

(1) 授業改革支援事業

学力向上実践校として15の中学校区を指定し、小・中連携による校内研修や授業研究を行った。
また、ポスターセッションフォーラムを開催し、その研究の成果を県下に広めた。



ポスターセッションフォーラムの様子

(2) 退職教員による支援

力量のある退職校長を学校力向上支援スタッフとして登録・派遣し、学校経営や学級経営についての専門的な指導・助言を行うとともに、授業力のある退職教員を活用し、模範授業や指導助言を行い、授業改善を図った。

(3) 教科指導パワーアップ事業

高等学校9校を指定し、国語・数学・英語・総合的な学習の時間について、公開授業等を行い、大学教授等の教科指導コンサルタント等から指導・助言を得るなど、教科指導力の向上を図った。
また、フォーラムを開催し、事例発表や研究校による実践報告等を行い、成果の普及を図った。



研究授業「学び合い」の様子

<協働の成果>

大学教員など専門性の高い有識者や退職教員による指導・助言を通じて各学校での授業改善や教員の指導力の向上を図るとともに、幅広い分野の外部人材の活用を通じて児童生徒の学習意欲を喚起することができた。

3 代表的な取組(Ⅱ)

■特別支援教育の推進

(1)校内支援体制の整備

小・中・高等学校全校において、支援を必要とする児童生徒に学校全体で組織的に対応するための校内委員会の設置や、関係機関等との連絡調整や保護者の相談窓口となる特別支援教育コーディネーターの指名を行い、校内支援体制の整備を推進した。

(2)発達障害児への対応

巡回相談員(特別支援学校教員等)や専門家チーム(大学教員等)を学校等へ派遣し、指導内容、方法等に関する指導、助言を行った。

さらに、高等学校11校において、特別支援教育コーディネーターやミドルリーダーを中心とした研修会等を実施するなど、校内支援体制の整備や適切な指導・支援の充実を図った。



発達障害支援連絡協議会の様子

(3)特別支援学校の新設・整備

- ・倉敷琴浦高等支援学校の開校(H22.4)
- ・倉敷地域等新設特別支援学校の基本計画の策定(H26.4開校予定)
- ・誕生寺支援学校・東備支援学校・西備支援学校の校舎整備

岡山県教育庁特別支援教育課ホームページ

http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=147

<協働の成果>

大学や医療機関等との連携により、大学教授、医師、臨床心理士等で構成された専門家チームを学校へ派遣するなど、幅広く地域の人材を活用することができた。



倉敷琴浦高等支援学校(H22.4開校)

4 取り組むべき課題と対応方針

○子どもたちの確かな学力の向上

全国学力・学習状況調査の結果から、学校外での学習時間、放課後等の補足的学習サポートの実施に課題があるため、学習意欲の喚起に向けた取組や補充・発展学習支援を実施し、学習習慣・学習内容の定着を図る。

また、中学校区での実践研究や県学力・学習状況調査の分析結果を活用し、「わかる授業」に向け、小・中学校が連携しての授業改善をさらに推進する。

○特別支援教育の推進

教育上特別な支援を必要とする幼児児童生徒が近年増加傾向にある中で、通常の学級における発達障害児への対応をさらに充実させるとともに、特別支援学校における全県的視野に立った教育体制の整備や、就労による社会自立を目指した職業教育の充実などを推進する。

5 総合評価

夢づくり協働指標の進捗状況は概ね順調で、目標の達成が見込まれる水準にあると考えられる。

子どもたちの確かな学力の向上に向けては、引き続き教員の指導力の向上や子どもたちの学習意欲の喚起を図ることが必要である。また、特別支援教育の推進に向けては、校内支援体制はもとより教育環境等のさらなる整備が課題である。

平成23年度もこれらを重点施策に位置付けたところであり、今後も着実に取組を進めていく。

プログラム達成レベル				
H19	H20	H21	H22	H23
3	3	3	3	
5 目標水準を大きく上回った 4 目標水準を上回った 3 概ね目標水準 2 目標水準を下回った 1 目標水準を大きく下回った				

夢づくり政策評価シート

整理番号	103
担当部局	県民生活部

1 施策の概要

基本戦略	「教育と人づくりの岡山」の創造
戦略プログラム	青少年プログラム
プログラムの概要	子どもたちが心身ともに健やかに成長できるよう、道徳教育や体験活動等を推進し、家庭や地域社会の教育力の向上等を図るとともに、子どもの健康増進と体力づくりに努めます。

2 夢づくり協働指標の進捗(達成)状況

指標名	単位	現況値	目標値	実績値					全国順位
				H19	H20	H21	H22	H23	
毎日朝食を食べている子どもの割合	%	81	88 (86)	81	84	84	84		—
(指標の説明) 子どもたちの望ましい食習慣の確立を目指すもの									
★情報モラル等を指導できる教員の割合	%	60	95	58.4	60.1	62.3	※ 69.2		19位 (H22)
(指標の説明) ICT活用指導力に関する調査において「わりにできる」又は「ややできる」と答えた教員の割合を示すもの (※H23年3月実施の岡山県独自調査では、80.6%)									
様々な体験学習に参加した青少年の数	人/年	102,205	130,000 (112,000)	110,736	121,593	123,466	124,580		—
(指標の説明) 子どもたちの豊かな心や健やかな成長の促進を目指すもの									
家庭教育相談員の養成数	人	474	780	658	690	724	742		—
(指標の説明) 家庭教育の在り方について、様々な場面で相談に乗ることができる人材の育成を目指すもの									
非行率	人/年	14.4	9.0 (11.5)	11.8	11.3	11.8	9.9		38位 (H22)
(指標の説明) 少年人口(10歳～19歳)の千人あたりに占める刑法犯で検挙・補導される少年の割合(非行率)の減少を目指すもの									
小・中学校の給食における県産農林水産物の使用割合	%	34.0	47.0 (40.0)	41.0	44.7	48.7	46.8		—
(指標の説明) 学校給食への地場産物の活用を通して、子どもの食育の推進を目指すもの									

3 代表的な取組(I)

■ 青少年の健全育成の推進

○ おかやま・子ども若者育成支援事業

岡山県子ども・若者育成支援計画(仮称)の策定に向け、「青少年の意識等に関する調査」を行った。

また、ニート、ひきこもり等の社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者に対する関係機関などの支援施策を効果的に実施するため、「おかやま子ども・若者サポートネット」を設置するとともに、「子ども・若者の支援のための実態調査」を行った。

■ 少年非行防止対策の推進

○ 「心と命の教育活動」の推進等

少年の規範意識の向上を図り、「命の尊さ」や「人を思いやる心の大切さ」を訴えるため、小学校、中学校、高等学校等に警察官等を派遣する「非行防止教室」を開催したほか、NPO法人等との協働により犯罪被害者遺族等が自らの体験を語りかける講演会を開催した。

〈協働の成果〉

NPO法人等との協働により、命の大切さや人を思いやる心の大切さへの理解を深めることができた。



おかやま子ども・若者サポートネット
第1回代表者会議



「心と命の教育活動」講演

3 代表的な取組(Ⅱ)

■ ケータイ・ネット対策の強化

「岡山県青少年によるインターネットの適切な利用の推進に関する条例」の施行に向けリーフレットを作成し、条例の概要、子どもが安全にインターネットを使うためのポイント等をまとめ、各種研修会等で活用した。

また、ケータイ・ネット問題に詳しい青少年健全育成アドバイザーを小・中学校に派遣し、青少年を有害環境から守る取組を進めるとともに、インターネット上のいじめや誹謗中傷等の早期発見・早期対応のためのネットパトロール事業に取り組んだ。



■ 学校・家庭・地域の相互連携

○放課後子ども教室推進事業

放課後や週末等に、小学校の余裕教室や公民館等を活用して、安全・安心な活動拠点(居場所)をつくり、地域の方々の参画を得て、様々な体験活動・交流活動等の取組を推進した。

生涯学習課HP

http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=149



放課後子ども教室
「森林セラピーロード散策」

〈協働の成果〉

様々な事業を地域と協働で取り組み、社会全体で子どもをはぐくむ気運の醸成が図られた。

4 取り組むべき課題と対応方針

○多様化する青少年問題への対応

「青少年問題を考え、行動する100人委員会」などと協働して、ニート、ひきこもり、いじめ、不登校等多様化する青少年問題に対応した施策を推進するとともに、社会的に自立した青少年の育成を目指した計画を策定し、家庭・学校・地域が連携して青少年対策を総合的に推進する。

○ケータイ・ネット問題への対応

出会い系サイトや「ネットいじめ」等、青少年を取り巻くケータイ・ネット環境は多くの問題があり、青少年をインターネット上の有害情報から守る必要があることから、青少年への情報モラル教育に関する指導やフィルタリングの普及促進など、学校と家庭、行政、関係事業者等が連携を強化し、ケータイ・ネット対策を推進する。

5 総合評価

ニート、ひきこもり、いじめ、不登校等が依然として憂慮すべき状況にあるが、ケータイ・ネット問題など知事部局、教育委員会、警察本部をはじめ関係機関が連携を強化するとともに、様々な事業を多様な主体と協働して実施し、一定の成果を上げている。

プログラム達成レベル				
H19	H20	H21	H22	H23
3	4	3	3	
5 目標水準を大きく上回った 4 目標水準を上回った 3 概ね目標水準 2 目標水準を下回った 1 目標水準を大きく下回った				

夢づくり政策評価シート

整理番号	104
担当部局	教育庁

1 施策の概要

基本戦略	「教育と人づくりの岡山」の創造
戦略プログラム	生涯学習プログラム
プログラムの概要	誰もが生涯にわたって、いつでも、どこでも自由に学習でき、成果を生かすことができるよう、学習機会の充実を図るとともに、全国生涯学習フェスティバルの成果を生かしながら、生涯学習による地域社会づくりを推進します。

2 夢づくり協働指標の進捗(達成)状況

指標名	単位	現況値	目標値	実績値					全国順位	
				H19	H20	H21	H22	H23		
生涯学習の講師・ボランティアとして登録している者の数	人	2,950	3,800	3,055	3,525	3,492	3,542		—	
(指標の説明) 学習機会の充実などの環境づくりがどの程度広がりを見せているか表すもの										
公的な生涯学習講座への参加者数	人/年	1,098,873	1,300,000	1,147,676 (フェス811,000)	1,227,795	1,274,851	1,291,925		—	
(指標の説明) 多様な学習活動への参加者が、増加することを目指すもの										
県民が1年間に公立図書館から借りた本の数	万冊/年	987	1,200	1,105	1,124	1,176	1,216		15位 (H22)	
(指標の説明) 学習拠点としての公立図書館の、県民利用者の増加を目指すもの										

3 代表的な取組(I)

■「第3次岡山県生涯学習推進基本計画」の着実な推進

平成22年2月に策定した「第3次岡山県生涯学習推進基本計画」に基づいた、人がつながり地域社会に生かす「学び」の充実や多様な主体の連携・協働が創り出す「学び」の充実を図るための施策を実施した。

I 人がつながり地域社会に生かす「学び」に関する施策

(1) “あるある”公民館イニシアティブ事業

公民館を核として、大人と子どもが地域の良さを再発見し、地域の魅力を発信する等の実践を官民協働で推進した。
(津山市・笠岡市・瀬戸内市・奈義町・久米南町で実施)



“あるある”公民館イニシアティブ事業の様子

(2) 「地域デビュー」支援事業

身に付けた知識や経験等を生かして、退職後、地域活動に参加・参画できるよう、企業等への出前講座を実施した。

II 多様な主体の連携・協働が創り出す「学び」に関する施策

(1) おかやま☆子ども参観日

自分の将来や「働く」ということについて考えたり、家族で仕事について話し合うきっかけにすることをねらいとして、子どもたちによる保護者等の職場訪問・体験を、企業等と連携して実施した。

(2) 県生涯学習センターの機能の充実

旧県立児童会館を活用し、産学官民の協働により、子どもを中心とした幅広い世代の生涯学習等へのニーズに対応した「未来科学棟(仮称)」として整備することを決定した。



旧県立児童会館

<協働の成果>

各種施策の実施に当たっては、市町村・公民館等の社会教育施設・大学・民間団体等との協働を推進し、生涯学習活動の取組が促進された。

また、未来科学棟(仮称)の整備に向けた方向性の決定に当たっては、様々な分野の専門家から幅広く御意見を頂くとともに、産学官民の協働により新たなニーズに対応した施設となるよう検討を進めた。

3 代表的な取組(Ⅱ)

■県立図書館機能の充実

県立図書館は、業務システム更新や機能の充実を進め、利便性の向上を図るとともに、幅広い資料の収集や全県域を対象にしたサービスの強化、図書館ボランティアの養成など、県民の学習活動支援を推進した。これまで、5年連続で入館者数・貸出冊数とも全国の都道府県立図書館の中でトップを保っている。

(1) 第2次中期サービス目標「県民図書館さんさんサービスプラン」の策定

- ・市町村立図書館等と連携し、県内全域での図書館サービス充実に向けて、子ども読書プログラムと図書館振興プログラムを重点とした第2次中期サービス目標を策定した。

(2) 資料搬送システムの充実等利便性向上の取組

- ・県内高等学校等への搬送事業実施 108校(3校増)
- ・県内図書館との相互貸借の増加
県立図書館からの貸出 46,104冊(3,064冊増)
- ・インターネット予約冊数の増加

全国の都道府県立図書館でのトップレベル項目

・購入冊数 **53,072冊**
 ・来館者数 **998,604人**
 ・個人貸出冊数 **1,314,578冊**
 (H22年度実績)

(3) 資料等の充実

- ・蔵書冊数の増加 1,096,442冊(40,751冊増)
 - ・郷土情報ネットワーク登録件数 115,525件(33,603件増)
 - ・レファレンスデータベース登録件数 3,762件(177件増)
- [注] ()内は、前年度比



県立図書館全景

岡山県立図書館ホームページ

<http://www.libnet.pref.okayama.jp/>

<協働の成果>

図書館における読み聞かせなどのボランティアの養成、研修を行うとともに、関係機関との連携を推進し、協働による図書館機能の充実を図ることができた。



館内の様子

4 取り組むべき課題と対応方針

○学びの成果を生かした地域社会づくり

公民館をはじめとする様々な場面での人々の学習活動が促進され、学習した成果を地域社会づくりに還元することが求められていることから、地域での世代を超えた学習活動の中心となる指導者やボランティアの養成を一層進めていくとともに、市町村や民間団体等とも連携して、学んだ成果が地域で生かされる環境づくりをさらに推進する。

○生涯学習関連施設の魅力アップ

県立図書館については、県民の学習支援を的確に行ってきたところであるが、今後とも新たなニーズに対応すべく、さらなるサービス向上に努める。また、県生涯学習センターについては、一層の機能の充実が求められており、同センターの一部として活用の方向性を示した「未来科学棟(仮称)」の整備を進め、あらゆる世代の交流・学習を促進していくとともに、講座の開設や情報提供に関して、市町村、大学、関係団体等との連携を強化していく。

5 総合評価

夢づくり協働指標の進捗状況は概ね順調で、目標の達成が見込まれる水準にあると考えられる。

また、第3次岡山県生涯学習推進基本計画で示した「学び」を地域社会に生かす取組等を、官民協働で行うことができた。さらに、県立図書館においては、市町村立図書館等への貸出冊数や、学校への搬送事業実施校数が増加するなど、中核的図書館としての機能の充実が進んでいる。今後も目標の達成に向け、着実な取組を進めていく。

プログラム達成レベル

	H19	H20	H21	H22	H23
	4	4	4	4	

- 5 目標水準を大きく上回った
 4 目標水準を上回った
 3 概ね目標水準
 2 目標水準を下回った
 1 目標水準を大きく下回った

夢づくり政策評価シート

整理番号	105
担当部局	県民生活部

1 施策の概要

基本戦略	「教育と人づくりの岡山」の創造
戦略プログラム	人権プログラム
プログラムの概要	すべての人々が差別意識を持たず、社会の一員としてお互いに尊重し、支え合う地域社会づくりを目指して、県民の人権意識の高揚を図るとともに、人権尊重の視点であらゆる行政施策の推進に努めます。

2 夢づくり協働指標の進捗(達成)状況

指標名	単位	現況値	目標値	実績値					全国順位	
				H19	H20	H21	H22	H23		
★ 人権啓発研修会の受講者数	人/年	3,800	5,000	3,700	3,800	4,200	4,600		—	
(指標の説明) 様々な人権課題をテーマにした人権啓発研修会や講演会等の受講者数を増やし、人権に関する意識の高揚を目指すもの										
人権啓発・教育リーダー数	人	115	300	219	258	290	318		—	
(指標の説明) 人権啓発・教育活動を一層推進するため、講師、助言者等として人権啓発・教育活動に取り組むリーダーの養成を目指すもの										

3 代表的な取組(I)

■人権啓発の充実

・人権啓発研修会・講演会等の開催

県や市町村、民間団体が実施した様々な人権課題をテーマにした人権啓発研修会等により、人権意識の高揚を図った。研修会では、講師の紹介や研修資料の提供など積極的に支援を行った。

・人権週間を中心とした啓発事業

映画上映や講演会などの人権啓発イベント(ハートフルフェスタ2010)の開催、さらには様々な人権課題を担当する人権啓発マトリクス各課においては人権週間協賛事業等を実施した。



ハートフルフェスタ2010
児童生徒人権啓発ポスター等表彰式

・市町村や民間団体等との協働による啓発事業

市町村が主催する人権啓発講演会等に対し、県では後援や共催、啓発資料の提供を行うとともに、NPO法人が行う人権啓発事業(5件)に対し補助金の交付により支援を行った。

〈協働の成果〉

市町村や民間団体との連携・協働が一層促進されたことにより、それぞれの人権課題を深く掘り下げることができたり、参加者同士のネットワークが構築されたりするなど、人権意識の高揚が図られた。

・人権施策推進課(人権情報コーナー)

http://www.pref.okayama.jp/soshiki/detail.html?lif_id=14352

・ハートフルネットおかやま

<http://www.pref.okayama.jp/sangyo/jinken/net/index.html>

3 代表的な取組(Ⅱ)

■人権啓発・教育のリーダーの養成

・人権教育・啓発指導者養成講座

DVや子どもの人権、ハンセン病問題や同和問題等の現代社会を取り巻く様々な人権課題を中心に上げ、講義、現地研修、交流、ワークショップ等の手法により講座(6回)を開催した。

また、前年度までの修了者を対象にしたフォローアップの講座(1回)を開催した。

○テーマの例

- ・「子どもの最善の利益について」
- ・「男女共同参画社会の実現に向けて」
- ・「ファシリテーター(進行役)になるために」等



講義



ワークショップ

受講者の声

- ・「DVの現状を実例を踏まえながらの講義であり、どのような対応が必要なのか学ぶことができた。」
- ・「子どもの人権を守ることの難しさを再認識するとともに、取り組むべき課題が山積していることを改めて感じた。」
- ・「参加体験型の演習を通じて、様々な気付きがあり、新たな視点で物事をとらえるヒントが得られた。」

○現地研修

- ・「国立療養所邑久光明園」において、園長及び入所者による講話、園内フィールドワークの実施
- ・ 渋染一揆関係地の視察、資料館の見学ほか

<協働の成果>

人権問題解決に向けて活動しているNPO法人の方や弁護士を講師として招き、指導者養成講座を実施することができた。

(参考数値)

	H21	H22	増減
人権啓発・教育リーダー数(累計)	290	318	28

・教育庁人権教育課

http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=153

4 取り組むべき課題と対応方針

○人権啓発の充実

人権問題が複雑・多様化していることから、関係部・課が連携を図るとともに、国や市町村、民間団体との連携・協力を一層推進し、人権啓発を総合的に進める。

○人権啓発・教育のリーダーの養成

各市町村・民間団体等へ積極的に働きかけ、受講者の増加を図るとともに、講座内容を充実させ実践力のある指導者養成に努める。

5 総合評価

市町村や民間団体等と密接に連携・協働した人権教育・啓発事業の積極的な取り組みにより、人権意識の高揚が一段と図られた。

プログラム達成レベル				
H19	H20	H21	H22	H23
3	4	4	4	
5 目標水準を大きく上回った 4 目標水準を上回った 3 概ね目標水準 2 目標水準を下回った 1 目標水準を大きく下回った				

夢づくり政策評価シート

整理番号	106
担当部局	県民生活部

1 施策の概要

基本戦略	「教育と人づくりの岡山」の創造
戦略プログラム	男女共同参画プログラム
プログラムの概要	男女が対等な社会の構成員として、様々な社会活動に参画する男女共同参画社会の実現を目指して、男女の意識改革を促進するとともに、女性のチャレンジ支援、男女共同参画推進センター(ウィズセンター)の充実などを進めます。

2 夢づくり協働指標の進捗(達成)状況

指標名	単位	現況値	目標値	実績値					全国順位	
				H19	H20	H21	H22	H23		
管理職に占める女性の割合<民間企業>	%	15.5	25	16.3	16.3	14.9	14.9		—	
(指標の説明) 係長職以上に就いている女性の割合を増やし、企業の方針等の決定過程への参画促進を目指すもの										
"<一般職公務員>	%	6.7	10	6.1	7.1	7.9	8.3		—	
(指標の説明) 県と市町村の一般職公務員で管理職に就いている女性の割合を増やし、行政分野の政策等決定過程への参画促進を目指すもの										
"<教育職公務員>	%	21.5	25	21.9	22.4	23.0	23.6		6位(H22)	
(指標の説明) 校長職等に就いている女性の割合を増やし、教育方針等決定過程への参画促進を目指すもの										
男性の育児休業取得率	%	0.2	2.5	0.4	0.4	0.7	0.7		—	
(指標の説明) 子育てと仕事が両立でき、男女がともに出産・子育てがしやすい職場づくりを目指すもの										
配偶者等からの暴力防止啓発講座等受講者数	人	1,069	4,700	2,509	3,007	3,975	5,676		—	
(指標の説明) 重大な人権侵害であるDVへの認識を広め、暴力を許さない環境づくりを目指すもの										

3 代表的な取組(I)

■男女共同参画意識の啓発

ウィズセンターを中心に、男女共同参画に関する講演会や県内各地で出前講座を実施した。また、毎年11月の「男女共同参画推進月間」に、県内各地でイベントや啓発事業などを実施し、男女共同参画に対する県民及び事業者の関心と理解を深めた。

○男女共同参画推進月間

ウィズセンター利用者団体等からなる実行委員会の主催によりウィズフェスティバル2010を開催し、記念イベントやNPO法人等による講演、ワークショップ等を実施した。

また、路面電車「MOMO」の車体側面を活用して、月間をPRした。



<協働の成果>

・月間中に、県、市町村、NPO法人等の主催による様々な行事を行い、気運の盛り上げを図ることができた。

また、NPO法人等と協働することにより、共通意識や連帯感が深まった。

3 代表的な取組(Ⅱ)

■配偶者等からの暴力(DV)防止対策の推進

DVを許さない社会環境づくりに向け、各種広報媒体を通じた普及啓発や研修等を実施した。また、交際相手からの暴力(いわゆる「デートDV」)防止のための講演会の開催など、予防教育に取り組んだ。

○デートDV防止講演会等の開催

高校生や大学生を対象にデートDVの起こる背景やお互いを尊重する関係の築き方を学ぶための講演会の開催、デートDV防止啓発パネル展の実施や相談カードの配布を行った。



デートDV講演会(瀬戸南高等学校)

○DV被害者の支援

DV被害者の自立を支援するサポーターの養成を行ったほか、DV被害者の緊急避難場所となる民間シェルターの環境整備やDV被害者の子どもへの学習サポート事業を行った。

<協働の成果>

- ・大学等との協働により、若い世代に対して、デートDV防止についての意識啓発を行うことができた。
- ・関係機関やNPO法人等との協働により、DV被害者の支援を充実させることができた。

4 取り組むべき課題と対応方針

○政策・方針決定過程への女性の参画促進

政策や方針の決定過程に女性の参画が十分に進んでいないことから、女性の登用が一層積極的に行われるよう、国等と連携して、市町村、企業や団体等に対して引き続き働きかける。

○配偶者等からの暴力防止対策等

配偶者等からの暴力(DV)がまだまだ根絶されていないことから、暴力の発生を防ぐ環境づくりを推進するとともに、相談体制を強化し、被害者を支援する体制の充実に一層努める。

5 総合評価

民間企業における管理職に占める女性の割合など、一部の指標について低調なものもある。

その一方で、男女共同参画社会の実現に向けて、ウィズセンターが実施する講演会等を通じた意識改革やNPO法人等と協働したDV対策等が進んだ。

プログラム達成レベル

	H19	H20	H21	H22	H23
	3	3	3	3	
	5 目標水準を大きく上回った 4 目標水準を上回った 3 概ね目標水準 2 目標水準を下回った 1 目標水準を大きく下回った				

夢づくり政策評価シート

整理番号	107
担当部局	環境文化部

1 施策の概要

基本戦略	「教育と人づくりの岡山」の創造
戦略プログラム	文化プログラム
プログラムの概要	心豊かな地域社会の実現を図るため、県民が優れた芸術や豊かな伝統文化を享受し、文化活動が活発に行われる仕組みづくりに取り組むとともに、個性豊かな地域文化の継承や新しい文化の創造に努めます。

2 夢づくり協働指標の進捗(達成)状況

指標名	単位	現況値	目標値	実績値					全国順位	
				H19	H20	H21	H22	H23		
県内の文化団体数	団体	945	1,030	936	936	936	936		—	
(指標の説明) 県民の主体的な文化活動が活発に行われていることを示す一つの指標として、文化団体の団体数の増加を目指すもの										
公募による展覧会への応募作品数	点/年	3,215	3,750	3,223	3,237	3,328	3,200		—	
(指標の説明) 県民が自ら芸術文化の創造に活発に取り組んでいることを示す一つの指標として、県内最大の公募展である岡山県美術展覧会への応募作品数の増加を目指すもの										
登録文化財の登録件数	件	112	250 (200)	167	208	232	236		12位 (H23.4現在)	
(指標の説明) 後世に幅広く継承する文化財建造物等の件数の増加を目指すもの										

3 代表的な取組(I)

県民協働による文化の振興を促進するため、岡山県文化連盟を通じて、市町村文化協会が他の文化協会やNPO、文化団体等と行う事業を支援した。

- ・津山市文化連盟による「江川紹子文化講演会」や、国民文化祭期間中に開催された「大原美術館創立80周年記念事業」への助成等地域のNPOや文化団体を巻き込んだ文化による地域づくりイベントの開催を助成した。
- ・岡山県文化連盟が行う、文化人材バンク事業(希望する市町村の文化協会や小中学校等へ分野別の文化団体構成員が講師として出向き、次代を担うアーティストの養成に資する事業)への支援を行った。

<協働の成果>

岡山県文化連盟と協働して、文化団体間の交流促進、地域の文化力向上、文化団体の活性化を図った。



<文化団体支援事業>
大原美術館創立80周年
記念事業助成



<地域文化力強化協働推進事業>
江川紹子文化講演会



<文化人材バンク事業>
日本の伝統芸能体験(尺八)

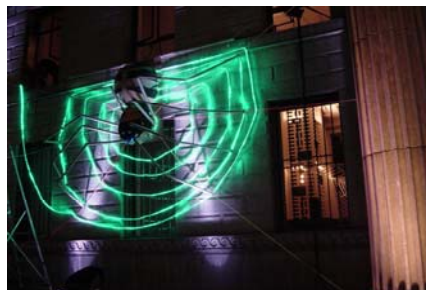
3 代表的な取組(Ⅱ)

■「ルネスホール」魅力アップの推進

若い世代を対象とした公開レッスン等の「教育プログラム」や、国民文化祭提案事業「文化がまちに出る！プロジェクト」の一環として、ルネスミュージックカフェ、創作パフォーマンス「夜蜘蛛」を実施した。また特別企画事業「オペラ蝶々夫人」の開催、公文庫カフェのギャラリー機能の充実などにより、文化芸術の創造拠点としての役割強化を図った。



教育プログラム(「オペラってなあに？」
蝶々夫人を100倍楽しむ方法)



創作パフォーマンス「夜蜘蛛」

(参考数値)

	H21	H22	増減
教育プログラムの実施回数	3	3	0

<協働の成果>

学校の文化芸術活動や関係団体、近隣施設と連携した企画イベントを多数開催した。

4 取り組むべき課題と対応方針

○県民の文化活動の一層の活性化

地域文化団体の交流促進や文化連盟の機能充実を図ったり、文化施設の魅力アップを推進することにより、多彩で個性豊かな県民の文化活動の活発化を図る。

○国民文化祭開催による成果の継続・発展

国民文化祭での成果を、地域フェスティバル「文化がまちに出る！プロジェクト」としておかやま県民文化祭に継承し、県内3地域の様々な場所で住民参加による文化を核とした地域づくりを進める。

5 総合評価

夢づくり協働指標の達成状況では、一部の指標について、進捗(達成)率の低調な指標も見受けられるが、文化団体やNPO等の方々と協働で地域文化の活性化を図っており、また、小中高校生を対象に次世代の文化の担い手の育成のためのプログラムを組み、多くの県民に文化芸術に触れる機会を提供できた。

プログラム達成レベル				
H19	H20	H21	H22	H23
3	3	4	4	
5 目標水準を大きく上回った 4 目標水準を上回った 3 概ね目標水準 2 目標水準を下回った 1 目標水準を大きく下回った				

夢づくり政策評価シート

整理番号	108
担当部局	環境文化部

1 施策の概要

基本戦略	「教育と人づくりの岡山」の創造
戦略プログラム	国民文化祭プログラム
プログラムの概要	国民文化祭の開催を契機として、県民の文化力向上、全国に向けた文化発信、県内外の文化交流を進め、本県の一層の文化振興を図ります。

2 夢づくり協働指標の進捗(達成)状況

指標名	単位	現況値	目標値	実績値					全国順位	
				H19	H20	H21	H22	H23		
県民文化祭参加者数	人/年	271,830	300,000	305,114	346,616	233,259	177,340		—	
(指標の説明) 国民文化祭に向けて、県民文化祭への参加者を広げ、一層の気運の醸成を目指すもの										
国民文化祭参加者数	人	—	1,600,000	—	—	—	1,955,927		—	
(指標の説明) 県民総参加の国民文化祭を目指すもの										

3 代表的な取組(I)

■県民文化祭の開催

- ・主催事業及び協賛事業合わせて141事業が県内各地で開催された。
※主催事業: 県庁アート回廊2010、県美術展覧会、
中四国文化の集い「踊り・おどり・躍りフェスティバル」ほか
- ・県庁アート回廊2010では、県内の大学、芸術家と協働・協力した作品の展示を行った。
また、中四国文化の集いでは、後楽園を舞台に中四国9県の伝統的な踊りを繰り広げた。

<協働の成果>

文化団体や学生、文化施設等との協働で様々な事業を展開したことにより地域文化活動の活性化が図られた。

<県庁アート回廊2010>



県庁展示



県立図書館展示

<中四国文化の集い>



「踊り・おどり・躍りフェスティバル」

3 代表的な取組(Ⅱ)

■第25回国民文化祭の開催

・県主催事業

①総合フェスティバル

開会式・オープニングフェスティバル

県内外から多くの文化団体等の参加を得て岡山県が誇る文化を数々盛り込み、開幕に相応しい舞台を展開した。

閉会式・フィナーレ

9日間にわたり県内で繰り広げられた文化芸術活動の成果を集約・確認し、全事業の成果を文化爛漫宣言として力強く発信し、国文祭で生まれた文化の息吹が、未来へのびていくことを誓い、次期開催県京都へ引き継いだ。

②生活文化・暮らしと味わい総合フェスティバル

③シンポジウム「地域と『文化』」

④県民提案事業

・市町村主催事業

県内全27市町村で各地域の特色を活かした様々な分野で62事業を展開した。

シンポジウム:2事業、分野別フェスティバル:60事業



<国民文化祭 開会式>

<協働の結果>

県民総参加の国民文化祭を開催し、目標を上回る成果を得た。

国民文化祭参加者数 【夢づくり協働指標】 目標値:1,600,000人 ⇒ 実績値:1,955,927人
経済波及効果 129.2億円

4 取り組むべき課題と対応方針

○国民文化祭後の文化振興

国民文化祭の開催により高まった県民の文化への関心や、県内各地域で新たに始まった文化活動の取組を各地に根付かせ、文化を中心に地域の活性化を進めるとともに、その取り組みを未来に引き継いでいく必要があることから、県民文化祭をグレードアップし、文化を核とした地域づくりへの契機とする。

また同時に、文化団体の相互交流と連携を促進するとともに、次世代の文化の担い手を育成し、本県が持つ文化力の一層の向上を図っていく。

5 総合評価

・ 県民文化祭については、国民文化祭を盛り上げるインパクトのある事業、情報発信につながる事業等を実施した。

国民文化祭開催のため分野別フェスティバルが休止になる等により県民文化祭(9月～11月)の参加者は減少したものの、国民文化祭応援事業の参加者は573,424人となるなど、年間を通じて文化活動は活発であった。

・ 国民文化祭については、開催により、郷土文化の魅力を再認識し、全国へ情報発信することができた。また、地域の伝統文化の継承及び愛郷心の醸成により、郷土の歴史や文化に対する県民の認識を深めることができた。さらに、開催を通じて、文化の担い手の育成と新たな文化創造により、担い手の裾野を広げることができた。

プログラム達成レベル

	H19	H20	H21	H22	H23
	4	3	3	5	

- 5 目標水準を大きく上回った
- 4 目標水準を上回った
- 3 概ね目標水準
- 2 目標水準を下回った
- 1 目標水準を大きく下回った

夢づくり政策評価シート

整理番号	109
担当部局	環境文化部

1 施策の概要

基本戦略	「教育と人づくりの岡山」の創造
戦略プログラム	スポーツプログラム
プログラムの概要	世界へ羽ばたくトップアスリートの養成など、競技スポーツの振興に取り組むとともに、県内各地で県民が気軽にスポーツを楽しむことができる環境づくりを進め、ライフステージにあったスポーツ活動の推進に努めます。

2 夢づくり協働指標の進捗(達成)状況

指標名	単位	現況値	目標値	実績値					全国順位
				H19	H20	H21	H22	H23	
国際大会への日本代表選手のうち本県関係者数	人	15 (人/年)	250 (100) (5年間)	57	120	197	262		—
(指標の説明) 国際大会へ出場する日本代表選手のうち、本県関係者を5年間で250人輩出することを目指すもの (H19からの累計値を記載)									
総合型地域スポーツクラブ会員数	人	6,176	10,000	7,092	7,870	8,196	8,583		—
(指標の説明) 気軽にスポーツを楽しむことのできる総合型地域スポーツクラブの会員数の増加を目指すもの									
スポーツリーダーバンク登録人数	人	147	300 (240)	204	277	286	288		—
(指標の説明) スポーツ振興を図るため、専門資格を持つ指導者等のバンクへの登録者数の増加を目指すもの									

3 代表的な取組(Ⅰ)

■トップアスリートの養成

・つくろう・のぼそう・育てよう！スポーツプロジェクト(のぼすプログラム)

- (1)「チャレンジザトップ」では、中学生の全国トップレベルのチームを招き、県選抜チームと強化試合を行うとともに、全国で戦うための細かな技術指導を受ける機会を提供した。
- (2)「マルチサポートプログラム」では、中学生の選抜選手に対し、トップアスリートに必要なさまざまな能力を身につけるための多様なサポートプログラムを実施した。

〈協働の成果〉

- (1)招待チームの所属協会と実施競技団体との十分な連携を図り、選抜選手に強い刺激を与えることができ、効果的であった。
また、事業広報も有効であり、関係者から高い評価を得た。
- (2)プログラム構成段階から、競技団体や大学等の指導者と連携を深め、効果的な事業展開ができた。



・夢アスリート発掘事業

「2008おかやま夢アスリート(小学校6年生)」21名に対し、月2回の割合で身体能力開発プログラムと、知的能力開発プログラムなどを実施するとともに、保護者や指導者を対象にアスリートを支える立場からのサポートについて様々な情報提供を行った。

〈協働の成果〉

日本オリンピック委員会や国立スポーツ科学センターから講師を招き、意識の向上や世界を視野に入れた取り組み方の教示を受けたことで、高い目標の設定を導くことができた。



スポーツ振興課HP http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=24

3 代表的な取組(Ⅱ)

■総合型地域スポーツクラブの設立支援

体力・年齢・技術・目的に応じて、いつでも、どこでも、だれでもスポーツに親しむことができる総合型地域スポーツクラブを各市町村に少なくとも1つは設立することを目標に取り組んでおり、平成22年度には新たに1市2町がクラブを設立した。

①新たにクラブを設置した市町村(1市2町)

- ・赤磐市
- ・和気町
- ・勝央町

②新たに設置されたクラブ(3クラブ)

- ・吉井スポーツクラブ(赤磐市)
- ・総合型スポーツ和気クラブ(和気町)
- ・勝央町健康スポーツクラブ(勝央町)

〈協働の成果〉

設立準備団体である市町村、市町村体育協会、体育指導員等と密接な連携を図りながら、クラブ設立に取り組んだ。

(参考数値)

	H21	H22	増減
総合型地域スポーツクラブ数	38 (17)	41 (20)	3 (3)

※()は市町村数



総合型地域スポーツクラブ関連HP

http://www.pref.okayama.jp/soshiki/detail.html?lif_id=1095

4 取り組むべき課題と対応方針

○トップアスリートの養成

全国大会や国際大会における本県選手の目覚ましい活躍は、県民に熱い感動を与えてくれ、岡山を全国に広くアピールするとともに、次代に続くアスリートの大きな目標となることから、各競技団体の一貫指導体制をより一層充実させ、つくろう・のぼそう・育てよう！スポーツプロジェクト(のぼすプログラム)を軸にジュニア世代の育成・強化を図る。また、県体育協会との連携をさらに深め、強化活動を推進していく。

○総合型地域スポーツクラブの設立支援

当該クラブは、市町村が、地域の実情に応じて設立する必要があることから、市町村や地域住民の理解の促進を図ることを目的に、当該クラブに係るフォーラムやセミナーへの参加、研修会等の開催などに取り組むよう働きかけを行うとともに、県体育協会を通じた支援を行う。

5 総合評価

夢づくり協働指標の達成状況では、目標の達成に向け概ね順調に推移している。また、第65回国民体育大会における男女総合成績は13位と優秀な成績を収めた。今後も引き続き、生涯スポーツの振興と競技力の向上のため、各種施策を推進していくこととしている。

プログラム達成レベル

H19	H20	H21	H22	H23
4	4	4	4	

- 5 目標水準を大きく上回った
- 4 目標水準を上回った
- 3 概ね目標水準
- 2 目標水準を下回った
- 1 目標水準を大きく下回った

夢づくり政策評価シート

整理番号	110
担当部局	県民生活部

1 施策の概要

基本戦略	「教育と人づくりの岡山」の創造
戦略プログラム	パートナーシッププログラム
プログラムの概要	ボランティアやNPOの活動が活発に行われ、多様な主体がいきいきとした地域社会づくりに取り組めるよう、人材育成、情報提供、少子・高齢化時代に対応した各種活動の促進、活動支援拠点の充実などを進めます。

2 夢づくり協働指標の進捗(達成)状況

指標名	単位	現況値	目標値	実績値					全国順位
				H19	H20	H21	H22	H23	
ボランティア数	人	94,930	120,000 (108,000)	115,191	117,439	118,717	121,946		—
(指標の説明) ボランティア活動がどの程度多くの人に担われているかを表し、ボランティア活動実践者の増加を目指すもの									
NPO法人の認証数	団体	329	630	446	481	537	582		18位 (H22)
(指標の説明) 地域づくりの主体としてパートナー社会の構築に大きな役割を持っているNPO法人の認証数の増加を目指すもの									

3 代表的な取組(I)

■ 人材育成

・「ふるさとづくりももたろう塾」の運営

個性と魅力にあふれる活力ある地域づくり・人づくりを進めるために、地域づくり団体や市民活動グループなどで中核として活躍できるリーダーを育成した。



(参考数値)

ふるさとづくりももたろう塾卒塾生(人)	H9~H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	合計
	109	35	30	26	30	25	34	38	33	33	29	28	450

ももたろう塾HP http://www.pref.okayama.jp/soshiki/detail.html?lif_id=5267

・「ボランティア・NPO人材育成研修」の実施



ボランティア・NPOの活動を行う人材や支援する人材を育成するため、インターンシップ方式による人材育成研修等を実施し、次代を担う人材の育成を図った。

(参考数値)

研修受講人員(人)	H22
	254

<協働の成果>

地域づくりリーダーの養成により、県内各地において様々な実践活動に取り組む人材を送り出した。また、NPOと連携し、大学生や若い社会人を県内NPOにインターンシップとして受け入れ、NPOや起業について学ぶことで若者の社会参加を促進した。

3 代表的な取組(Ⅱ)

■ 活動支援

・「ゆうあいセンター」の機能充実

民間の指定管理者による自由な発想を取り入れた施設運営(利用者数:59,539人)の他、NPO法人の設立・運営相談や出前セミナーの開催(参加者130人、開催地:笠岡市・瀬戸内市)等により、ボランティア・NPO活動への参加促進と活性化に努めた。

ゆうあいセンターHP <http://www.youi-c.com/>



ゆうあいセンター オープンスペース

■ 活動促進

・コミュニティ活動の推進



県内のコミュニティ活動を推進するため、県民局毎に活動団体や地域の自治組織等を対象とした研修会を実施し、地域コミュニティの活性化を図った。(参加者177人)

<協働の成果>

ゆうあいセンター指定管理者との協働の下、学識経験者等で構成する運営委員会の意見等を運営に反映するなど、利用者ニーズに適応したセンター機能の充実・強化が図られた。また、コミュニティ組織相互の情報発信や研修等の実施により、地域づくりへの参加意欲を高めた。

4 取り組むべき課題と対応方針

○人材育成

県南地域で、地域づくりの活動人材が多く集中しているなど、地域により人材が偏在しているため、中山間地域での人材の発掘や育成に取り組むとともに、各組織間、人材間の連携により活動の活性化を図る。

○ボランティア・NPO活動支援拠点整備の促進

県内全域でのボランティア・NPO活動の活性化には、身近な地域での活動支援拠点が必要であるが、県内には平成22年度整備された真庭市、早島町を含め6カ所にとどまっていることから、市町村の支援拠点整備を支援するとともに、支援拠点間の全県ネットワークの構築に取り組む。

5 総合評価

地域づくりリーダーの育成や若い世代の市民活動参加促進、NPO法人設立増加など、着実な成果を上げることができた。

ゆうあいセンターでのボランティア・NPOの活動支援等の充実を図り、人材の育成や幅広い人的交流など協働の輪が拡大した。

また、多様な主体が各県民局などの協働事業におけるパートナーとなり、行政との協働による活力ある地域づくりが進展している。

プログラム達成レベル				
H19	H20	H21	H22	H23
4	4	4	4	
5 目標水準を大きく上回った 4 目標水準を上回った 3 概ね目標水準 2 目標水準を下回った 1 目標水準を大きく下回った				

夢づくり政策評価シート

整理番号	201
担当部局	県民生活部

1 施策の概要

基本戦略	「安全・安心の岡山」の創造
戦略プログラム	安全・安心まちづくりプログラム
プログラムの概要	犯罪のない安全で安心な社会の実現を目指して、小学校を中心とする自主防犯活動の推進をはじめ、市町村、県民、自治会等、ボランティア・NPO及び事業者との連携・協働による安全・安心なまちづくりを進めます。

2 夢づくり協働指標の進捗(達成)状況

指標名	単位	現況値	目標値	実績値					全国順位
				H19	H20	H21	H22	H23	
自主パトロール活動等実践組織数	団体	438	700	589	643	686	721		—
(指標の説明) 活動団体がいない160小学校区の解消に加え、100団体の増加を目指すもの									
地域安全マップ作成小学校の割合	%	57.4	100	48.0	60.8	66.6	82.8		—
(指標の説明) 子どもたちが犯罪被害に遭わないよう、全小学校で地域安全マップの作成を目指すもの									
防犯責任者設置事業所数	事業所	0	2,000	620	1,262	1,398	2,581		—
(指標の説明) 金融機関、コンビニエンスストアを中心に各事業所ごとの防犯責任者設置を目指すもの									

3 代表的な取組(Ⅰ)

■「小学校を中心とする自主防犯活動の推進」

- 自主防犯活動団体のリーダー等を養成する講座や、団体相互の情報交換会を開催し、自主防犯活動等の一層の活発化、定着化を図った。
- 子どもの見守り活動が活発かつ効果的に行われるよう、自主防犯活動団体相互の連携強化など市町村事業を新たにモデル的に支援した。



養成講座



情報交換会

- 自主パトロール隊の活動が県内全域に広がっているが、青色防犯パトロール実施団体に対し、青色回転灯の設置補助を実施するとともに、車載アンプ・スピーカー等広報用資機材を貸与し、その活動に広報効果を持たせ一層効果的な活動の推進を図った。

<協働の成果>

県、市町村、自主防犯活動団体が連携しながら、それぞれの役割分担に基づき、安全・安心まちづくりの実現に向けた取組を展開している。

くらし安全安心課HP
リーダー・コーディネーター養成講座HP

http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=22
http://www.pref.okayama.jp/soshiki/detail.html?lif_id=88992

(参考数値)

	H21	H22	増減
養成講座への参加人数(累計)	598	675	77

(参考数値)

	H21	H22	増減
広報用資機材貸与団体数(累計)	65	73	8

3 代表的な取組(Ⅱ)

■「犯罪に遭わないための教育等の推進」

- 「地域安全マップづくり」の提唱者である立正大学小宮教授を招聘して、自主防犯活動実践者、PTA、事業者等を対象にした「地域安全マップづくり」指導者養成講座を開催し、小学校で実施する「地域安全マップづくり」における指導者の養成を図った。
- ラジオを通じて、指導者養成講座の実施状況、参加者の感想等を放送するとともに、地域安全マップづくりの概要等についての広報啓発を図った。
- 市町村教育委員会等と連携して、小学校で実際に児童の指導に当たる教職員、PTA役員等を対象とした普及講座を開催し、講義やフィールドワークを通して、地域安全マップに関する認識を深めるとともにスキルの向上を図り、「地域安全マップづくり」の普及促進を図った。
- 市町村が実施するボランティア等を対象とした講座において、「地域安全マップづくり」の講義を実施し、その普及促進を図った。



〈協働の成果〉

講座への参加者は着実に増加し、地域ボランティア等の関心も高まっており、「地域安全マップづくり」が地域全体の取組として進めるべきものであるという認識が広がりつつある。

(参考数値)

	H21	H22	増減
講座への参加人数(累計)	1,193	1,378	185

地域安全マップ°指導者養成講座HP

http://www.pref.okayama.jp/soshiki/detail.html?lif_id=79336

4 取り組むべき課題と対応方針

○ 自主防犯活動団体への支援

県内全域の団体が継続的に活発かつ効果的に活動できるよう、若い世代の後継者育成に向けリーダー養成講座の見直しを図るとともに、情報提供等の支援を推進する。

○ 地域安全マップづくりの促進

新たに専任指導者を小学校に派遣するとともに、これまで養成してきた指導者の協力を得て、下校指導等を活用しながら地域安全マップづくりを促進する。

5 総合評価

夢づくり協働指標の状況としては、既に目標を達成したものもあり、概ね順調に推移しており、犯罪のない安全で安心な岡山県の実現に向け、着実に進んでいる。

プログラム達成レベル

H19	H20	H21	H22	H23
4	4	4	4	

- 5 目標水準を大きく上回った
- 4 目標水準を上回った
- 3 概ね目標水準
- 2 目標水準を下回った
- 1 目標水準を大きく下回った

夢づくり政策評価シート

整理番号	202
担当部局	警察本部

1 政策の概要

基本戦略	「安全・安心の岡山」の創造
戦略プログラム	暮らしと交通の安全プログラム
プログラムの概要	県民生活に危険を及ぼす犯罪・事故等を未然に防止するため、身近な犯罪や凶悪化・組織化・国際化する犯罪への対策、少年非行防止対策を強化するとともに、交通安全対策を推進します。また、犯罪被害者等への支援や日々の生活における消費者被害の撲滅を進めます。

2 夢づくり協働指標の進捗(達成)状況

指標名	単位	現況値	目標値	実績値					全国順位 (H22)
				H19	H20	H21	H22	H23	
刑法犯認知件数	件/年	32,102	26,000 (27,000)	29,257	27,357	25,862	24,097		37位 (人口10万人当たり)
(指標の説明) 犯罪対策等の推進により、県内の刑法犯罪の減少を目指すもの									
交通事故死者数	人/年	148	110 (115)	115	114	107	109		37位 (人口10万人当たり)
(指標の説明) 交通安全対策等の推進により、交通事故で亡くなる方の減少を目指すもの									
交通事故負傷者数	人/年	26,968	20,000 (21,000)	24,579	22,412	21,715	21,221		41位 (人口10万人当たり)
(指標の説明) 交通安全対策等の推進により、交通事故で負傷される方の減少を目指すもの									

(注)全国順位については、人口10万人当たりの数値を少ないものから順番に並べたもの。

3 代表的な取組(Ⅰ)

○ 犯罪の起きにくい社会の構築

犯罪の起きにくい社会の構築に向けて、これまでの犯罪抑止総合対策に加え、社会各分野の各層に犯罪類型や被害者類型に応じた犯罪抑止のための防犯ネットワークを重層的に整備するとともに、自治体、地域住民、事業者等と協働した地域社会の連帯感・絆の強化に資する取組や規範意識の向上に資する活動を推進した。

また、これらの活動に併せて、防犯カメラの設置拡充を働き掛けるとともに、防犯ボランティア団体の結成と活動の支援を行った。

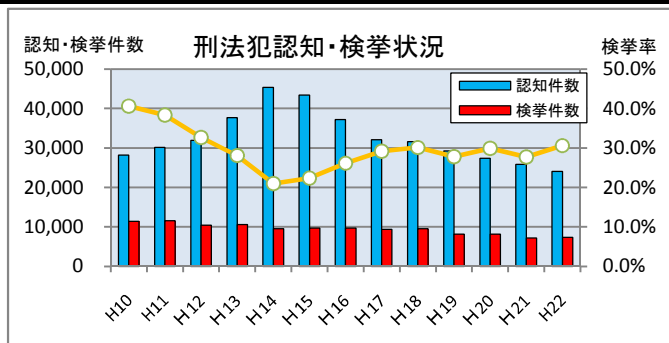
- ・ 安全・安心まちづくり

http://www.pref.okayama.jp/soshiki/detail.html?lif_id=72162

〈協働の成果〉

「自転車盗防止」、「侵入犯罪防止」をテーマに、それぞれの犯罪被害防止に関わる関係機関や団体、事業者等が一堂に会して、「犯罪の起きにくい社会づくりミーティング」を開催し、具体的な行動計画を策定したほか、岡山市との間でも『日本一犯罪の少ない政令市「おかやま」を目指す行動計画』を策定した。

また、地域社会における規範意識の向上を目的にルールやマナー違反への積極的な声かけの働き掛けを行うとともに、地域住民が多数集う祭礼等のイベント、あいさつ運動等、住民がお互いをよく知るための活動を推進した。



犯罪の起きにくい社会づくりミーティング



行動計画調印式

3 代表的な取組(Ⅱ)

○ 迅速的確な初動警察活動の推進

犯罪が多発する地域の警戒及び検挙の態勢を強化するため、警察署の管轄区域にとられず、パトロールによる警戒や職務質問による検挙を重点とした活動を行うパトカー部隊として「機動警ら隊」を新設した。

また、犯罪現場や交通事故現場における客観的証拠の収集の徹底等、初動捜査の高度化を図るため、現場鑑識体制を強化した。



「機動警ら隊」出発式

○ 高齢者交通事故防止対策の推進

高齢者の交通事故を抑止するため、ボランティア等による高齢者宅への訪問指導、高齢者自転車リーダーや交通安全体験車による参加・体験・実践型の交通安全教育、家族や地域で高齢者を支える意識の向上を図るための啓発活動を推進したほか、高齢者運転免許証自主返納制度の普及拡大に努めた。

また、交通事故に直結する違反の指導取締り、車を利用する事業者への働き掛け、シルバー・セーフティ・ロードの選定等、道路上の緊張感を高める施策を強力に推進したほか、全国に先駆けて歩行者用画像感知式信号機を整備するなど、交通安全施設の充実整備に努めた。



シルバー・セーフティ・ロード

・高齢者交通安全対策 http://www.pref.okayama.jp/soshiki/detail.html?lif_id=75302

4 取り組むべき課題と対応方針

○ 犯罪の起きにくい社会づくりの推進

犯罪類型や被害者類型ごとに犯罪抑止に必要な人全ての参加を得た「犯罪の起きにくい社会づくりミーティング」を順次開催し、具体的な行動計画を策定して、真に機能するネットワークを構築するとともに、規範意識の向上や地域の連帯感・絆の強化につながる取組を促進し、県民総ぐるみで犯罪の起きにくい社会づくりを推進していく。

○ 重要犯罪等の徹底検挙

県民に不安を与える殺人、強盗等の重要犯罪やひったくり、空き巣等の重要窃盗犯等の徹底検挙を推進していく。

○ 暴力団員の徹底検挙と暴力団排除対策の推進

暴力団員や暴力団組織を背景とした犯罪の徹底検挙を推進するとともに、「岡山県暴力団排除条例」を効果的に活用し、暴力団の資金源遮断及び孤立化を図り、暴力団の存立を許さない社会を構築するための対策を推進していく。

○ 高齢者を重点とした交通安全対策の推進

高齢者を重点とした交通事故を抑止するための啓発活動を推進するとともに、パトカー等による警ら活動の強化、交通事故に直結する交通違反の指導取締り、シルバー・セーフティ・ロードの拡充等、道路上の緊張感を高める施策を更に推進していく。

5 総合評価

夢づくり協働指標については、交通事故死者数が21年より2人増加するとともに、依然として高齢死者数が全死者数の半数を超えるなど、改善していくべき課題は認められるが、刑法犯認知件数、交通事故死者数ともに最終年度の目標数値を前倒しで達成しており、各種の取組によって目標数値の達成に向け順調に推移している。

また、犯罪の起きにくい社会の構築、迅速的確な初動警察活動の推進等の施策についても着実に実施されている。

プログラム達成レベル				
H19	H20	H21	H22	H23
4	4	4	4	
5 目標水準を大きく上回った 4 目標水準を上回った 3 概ね目標水準 2 目標水準を下回った 1 目標水準を大きく下回った				

夢づくり政策評価シート

整理番号	203
担当部局	危機管理監

1 施策の概要

基本戦略	「安全・安心の岡山」の創造
戦略プログラム	災害対策・危機管理プログラム
プログラムの概要	風水害、地震等の自然災害や大規模な事故、さらにはテロ等の危機への十分な備えを講ずるため、災害に強い地域づくりとともに、生活物資等の供給体制、的確な情報提供等の危機管理体制の整備を進めます。

2 夢づくり協働指標の進捗(達成)状況

指標名	単位	現況値	目標値	実績値					全国順位	
				H19	H20	H21	H22	H23		
ITを活用した緊急防災情報提供システムの加入者数	人	0	40,000	4,557	6,115	10,078	18,922		—	
(指標の説明) 防災情報を県民の携帯電話などにメール配信し、災害への適切な対応を目指すもの										
堤防等の整備により高潮被害が解消された戸数	戸	9,559	18,500	13,315	17,851	18,003	19,668		—	
(指標の説明) 高潮対策事業の進展により高潮被害が解消される戸数の増加を示すもの										
耐震化した重要橋梁の割合	%	28	100	67	75	86	98		—	
(指標の説明) 緊急輸送道路等の橋梁の耐震化を目指すもの										
県立学校の耐震化率	%	48.2	65.0	55.4	58.4	62.4	65.7		—	
(指標の説明) 生徒等の安全・安心の確保、災害発生時の地域住民の避難場所として、安全性の向上を目指すもの										
★ 県内消防防災ヘリの運航不能日数の削減	日/年	91	10	—	91	9.3 ^(※)	15.5		—	
(指標の説明) 定期検査等により生じる運行不能日を減少させることにより、消防・防災体制の整備をはかるもの										
住宅の耐震化率	%	67	75	69	70	71	73		—	
(指標の説明) 地震による人的被害及び経済的被害の軽減を目指すもの										
河川改修により洪水被害が解消された戸数	戸	46,000	58,800	48,800	50,000	51,200	52,100		—	
(指標の説明) 河川改修により洪水被害の解消される戸数の増加を目指すもの										
区域指定等により土砂災害の避難体制が整った箇所数	箇所	—	5,500	1,781	2,866	4,264	5,512		—	
(指標の説明) 土砂災害発生への恐れのある箇所を明らかにし、市町村による避難体制の整備を促進するもの										

(※) 県消防防災ヘリ本格運航(平成21年10月26日)後の実績を年ベースに換算

3 代表的な取組(I)

■ わかりやすい防災情報の提供

- ・「防災情報メール配信サービス」の普及啓発・PRを行い、加入者の拡大に努めた。

メール配信サービス → <http://www.bousai.pref.okayama.jp/bousai/>

- ・県が作成する浸水想定区域図を基に、作成義務のある21市町で洪水ハザードマップの作成が完了し、洪水時の迅速な避難活動等が可能となった。
- ・また、量水標の改善などわかりやすい防災情報の提供を行い、住民の自主避難の判断や円滑な水防活動の支援を行った。

3 代表的な取組(Ⅱ)

■県立学校施設の耐震化

学校施設は児童生徒の豊かな人間性を育むための学習・生活の場であるとともに、災害時には地域の方々の応急避難場所としての役割を果たすことから、その安全性を確保するため、最重要課題として耐震化に取り組んでいる。

平成22年度実績

- ・耐震診断 32校48棟
- ・耐震補強工事 17校19棟



旭川(岡山市)

■洪水・土砂災害対策・高潮対策の推進

水害を防止するための河川改修等の整備を推進した。小田川等24河川において河川改修等の整備を推進した。22年度は、旭川(岡山市)の樋門が完成した。(参考数値)

河川改修により洪水被害が解消された戸数	H21	H22	増減
	51,200	52,100	900



■消防防災ヘリの活用による防災力の強化

平成21年10月から本格運航を開始し、ヘリコプターの高速性や機動性を生かした救急搬送や火災消火、負傷者救助などの航空消防防災活動を実施した。

また、市町村防災訓練等への参加、自隊訓練の実施のほか、一般行政活動を行った。さらに、東日本大震災の救援活動を主として宮城県内で行った。

平成22年度出動実績

①緊急運航 54件

火災防御活動	救急活動	救助活動	災害応急対策活動	広域航空消防応援活動	合計(件)
15	21	8	9	1	54

②市町村防災訓練等 23件

③一般行政活動(産業廃棄物不法投棄の監視等) 7件

④緊急消防援助隊活動(東日本大震災救援救急・救助等) 17件



4 取り組むべき課題と対応方針

○防災情報の提供

防災情報メール配信サービスについて、情報の整理やわかりやすい表示に努めるなど、改善・工夫を行うとともに、防災情報の重要性や、メールの利便性をわかりやすく説明することなどを通じ、利用のさらなる拡大に取り組む。

○防災対策の推進

河川改修や土砂災害防止施設等について、緊急性の高い箇所から計画的に整備を推進する。また、建築物の耐震化が計画的に進むよう、耐震化の必要性・地震防災対策の取組を自らの問題として意識するよう普及啓発を図るとともに、学校施設の耐震化についても着実に推進する。

5 総合評価

夢づくり協働指標の進捗状況は、目標に対して概ね順調に推移している。

防災情報メール配信サービスについては、県内ほぼ全ての学校を通じて、保護者等を対象に普及啓発に努めるなどの結果、登録者数が大幅に増加したものの、目標水準を下回っているため、防災意識の普及啓発とあわせ、利用のさらなる拡大に取り組む必要がある。

風水害や地震災害等に備えたハード整備については、順調に実施できており、引き続き計画的に推進する。

住宅や学校の耐震化についても、目標の達成に向け、着実に推進していく。

プログラム達成レベル

H19	H20	H21	H22	H23
3	3	3	3	

- 5 目標水準を大きく上回った
- 4 目標水準を上回った
- 3 概ね目標水準
- 2 目標水準を下回った
- 1 目標水準を大きく下回った

夢づくり政策評価シート

整理番号	204
担当部局	危機管理監

1 施策の概要

基本戦略	「安全・安心の岡山」の創造
戦略プログラム	自主防災プログラム
プログラムの概要	自分たちのまちは自分たちで守るという防災まちづくりを進めるため、様々な災害の発生に備えて、県民、ボランティア、各種団体、企業等が活動できる自主防災組織や災害ボランティアの人材育成、活動支援等を行います。

2 夢づくり協働指標の進捗(達成)状況

指標名	単位	現況値	目標値	実績値					全国順位
				H19	H20	H21	H22	H23	
事業所との災害時協定締結数	団体	119	310 (250)	241	275	315	366		—
(指標の説明) 県・市町村と事業所との災害時協力協定締結団体の増加を目指すもの									
自主防災組織率	%	44	70	47	48	51	52		42位 (H21)
(指標の説明) 地域防災の担い手である自主防災組織の増加を目指すもの									
防災士の数	人	35	430 (350)	331	354	398	417		33位 (H22)
(指標の説明) 地域防災力向上のための活動が期待される防災士の認定者数の増加を目指すもの									

3 代表的な取組(I)

■ 自主防災組織の設置促進・育成

市町村が補助する町内会や自主防災組織への防災資機材の整備等を支援し、地域防災力の中核となる自主防災組織の設置促進及び活動活性化を図った。

- ・自主防災組織の設置促進・活性化
新規設置自主防災組織数・・・88団体

(地域防災リーダー研修会)

〈協働の成果〉

自主防災組織、防災士などの地域防災リーダーを対象にした研修会等を実施し、地域における防災リーダーの育成を図った。

リーダー研修会参加者：約120人



3 代表的な取組(Ⅱ)

■災害ボランティアの育成

・「岡山県災害救援専門ボランティア研修」の開催

災害時の被災者支援活動の円滑化を図るため、岡山県災害救援専門ボランティアを対象に、ボランティア意識の向上及び専門的な技術のレベルアップのための研修事業を実施した。特に災害ボランティアコーディネーターの育成を目的に、従来からの研修の枠組みを見直すことにより、ボランティア・コーディネートに特化した研修を実施した。

(全体研修回数：10回、参加者150人)



・「岡山県災害救援専門ボランティア」の登録

災害ボランティアコーディネーターをはじめ、介護、手話通訳、外国語通訳・翻訳など専門的な知識や技術を持つボランティアを、災害救援専門ボランティアとして登録した。なお、災害ボランティアコーディネーターについては、28名を新規に登録した。

(H23.3.31 現在)

種類	登録者数
災害ボランティア・コーディネーター	148人
介護ボランティア	28人
手話通訳ボランティア	60人
外国語通訳・翻訳ボランティア(11の言語)	85人
建築物応急危険度判定ボランティア	961人

(参考数値)

災害救援専門ボランティア登録者数	H19	H20	H21	H22	前年からの増減
	1,201人	1,306人	1,344人	1,282人	-62人

岡山県災害救援専門ボランティア登録制度

http://www.pref.okayama.jp/soshiki/detail.html?lif_id=2823

4 取り組むべき課題と対応方針

○自主防災組織の設置促進・育成

地域の防災活動に大きな役割を果たす自主防災組織の設置促進や活性化を図るため、その防災資機材の整備や防災士の資格取得等に助成する市町村に対して支援を行う。特に、自主防災組織率の低い市町村に対し、働きかけを強化し自主防災組織の設置促進を図る。

○災害ボランティアの育成

災害発生時に即応する体制を構築・強化するためには、災害救援専門ボランティアの新規登録者の増加を図る必要がある。特に、災害時にボランティアの受入拠点や活動拠点等で、各地から集まる災害ボランティアや救援物資等を効果的に配置する役割を担う災害ボランティア・コーディネーターの養成が重要である。

また、登録した災害救援専門ボランティアのレベルアップや意識の向上を図っていく必要がある。

5 総合評価

災害救援専門ボランティアの登録者総数こそ前年より減少したものの、研修等を通じ、ボランティア・コーディネーターをはじめとした、被災者支援に役立つ専門的な知識や技術を持つボランティアの育成が推進できた。

各種研修会の開催や市町村等への支援を行い、地域防災力の強化に取り組んだ結果、防災士や災害時協力協定事業所が増加した。

各市町村を訪問し、自主防災組織の設置促進を呼びかけるなどした結果、自主防災組織は88団体増えたものの、組織率は52%となっており、防災意識の普及啓発をより一層効果的に実施するとともに、市町村への働きかけを強化するなどして、組織率向上に取り組んでいく。

プログラム達成レベル

H19	H20	H21	H22	H23
3	3	3	3	

- 5 目標水準を大きく上回った
- 4 目標水準を上回った
- 3 概ね目標水準
- 2 目標水準を下回った
- 1 目標水準を大きく下回った

夢づくり政策評価シート

整理番号	205
担当部局	保健福祉部

1 施策の概要

基本戦略	「安全・安心の岡山」の創造
戦略プログラム	健康・医療プログラム
プログラムの概要	県民が健康でいきいきとした生活を送れるよう、健康づくりの支援等を行うとともに、質の高い医療サービスが受けられるよう、患者への情報提供や医療機関の連携等を進めます。さらに、食の安全・安心の確保及び食育を推進します。

2 夢づくり協働指標の進捗(達成)状況

指標名	単位	現況値	目標値	実績値					全国順位
				H19	H20	H21	H22	H23	
★ 三大死因による75歳未満の年齢調整死亡率(人口10万対)	人口10万人対	119.4	113.9	123.8	119.4	121.6	113.7		—
(指標の説明) 高齢化の影響を補正した、がん、心疾患、脳血管疾患による死亡率であり、県民の健康づくりがどの程度すすんでいるかを表すもの									
★ 卒業後に県内の地域医療を担う医学部学生の数	人/年	17	27	—	17	24	31		—
(指標の説明) 卒業後に一定期間、地域医療を担うことが約定されている医学部の学生数を表すもの									
患者からの医療安全相談等に応じる体制を備えた病院の割合	%	74	100	78	84	85	86		—
(指標の説明) 県内の病院が、自主的かつ積極的に医療の安全と安心の構築に取り組む一環として、設置を進めるもの									
栄養成分表示の店登録施設数	施設	543	1,020(700)	695	913	970	1,016		—
(指標の説明) 県民の健康づくりの意識(特に栄養・食生活分野)がどの程度進んでいるかを表すもの									
禁煙・完全分煙実施施設認定数	施設	730	1,600(900)	1,119	1,497	1,799	1,962		—
(指標の説明) 県民の健康づくりの意識(特にたばこ分野)がどの程度進んでいるかを表すもの									

3 代表的な取組(I)

■ 医療従事者の確保

- ・岡山大学に地域医療人材育成講座を設置し、地域医療を担う総合的な診療能力を有する医師の育成、地域での診療の支援等を行うとともに、女性医師キャリアセンターを設置し、復職のための医療技術の研修や生活相談等を行い、女性医師等の復職支援や離職防止に取り組んだ。
- ・NPO法人岡山医師研修支援機構と連携し、医学生や研修医等を対象に、県内の臨床研修病院の紹介や地域医療の魅力を伝えるセミナー等の開催を行った。
- ・看護職員の計画的、安定的な確保を図るため、第七次岡山県看護職員受給見通しを策定したほか、岡山県看護協会と連携し、看護職員ガイドブックの作成や就労フェア等を開催した。

(参考数値)

	H21	H22	増減
医学部地域枠の入学者数	5名	8名	3名

<協働の成果>

大学や関係機関と連携を図り、岡山大学(6名)と広島大学(2名)に地域枠入学者を確保し、卒業後に県が定める医療機関に勤務する医師を確保した。



【岡山大学との協定締結式 22.4.27】

3 代表的な取組(Ⅱ)

■生涯を通じた歯の健康づくり

- ・ 8020(80歳になっても自分の歯を20本以上保つこと)の達成に重要な6歳臼歯のむし歯を予防するため、「6歳臼歯を守ろう大作戦事業」を保育園・幼稚園・小学校と連携して実施し、平成19年度から平成22年度までの4年間で、延べ145か所、8,396名の園児・児童に対して歯科専門職による歯磨き指導等を行った。
- ・ 居宅療養者の訪問歯科医療ニーズに応じるため、歯科往診サポートセンターを開設し、訪問歯科医療機器を整備するとともに、往診に対応する歯科医師の紹介や要介護者への口腔ケアに係る相談対応等を行った。
- ・ 歯科疾患を予防し、生涯にわたって口腔機能を維持することは、何でも食べられることで満足感を高め、生活の質の維持・向上につながることから、高齢者への口腔ケア指導や安全に食べるための嚥下機能訓練の機会を提供するとともに、8020達成者の表彰などを通じて8020の達成を目指す運動の普及を図った。

<協働の成果>

市町村を含む保健医療関係者等との連携によって、8020運動に取り組んだ結果、達成者の割合は32%となり、「健康おかやま21」の目標である20%以上を達成することができた。



【高齢者への歯磨き指導の様子】

(参考数値)

	H21	H22	増減
12歳児のむし歯等の平均本数	1.13本	1.06本	△0.07本

4 取り組むべき課題と対応方針

○医療従事者の確保

医師の養成には長期間を要することから、地域医療に従事する医師の派遣等を行う地域医療支援センター(仮称)を設置し、医師不足地域の医師の確保を図るとともに、看護職員については、職員の養成や職場への定着、再就業の促進を図るため、関係団体等との連携を強化し、職務の特性に応じたきめ細やかで効果的な対策に取り組む。

○生涯を通じた歯の健康づくり

歯と口の健康の維持・増進は、豊かな人生を送る上で不可欠である。一方で、歯周病は糖尿病等の生活習慣病との関連性が高く、全身の健康にも大きな影響を与える。こうしたことから、平成23年3月に制定された「岡山県民の歯と口の健康づくり条例」に基づき、関係機関と連携し、関係者等への研修会の開催や歯科保健指導マニュアルの作成・配布等を通じて、保健関係者の歯科保健指導力の向上を図るとともに、訪問歯科医療ニーズに対応するため、医療連携の強化と他職種との協働による体制づくりに取り組む。

5 総合評価

卒業後に県内の地域医療を担う医学部学生の数が目標を上回るなど、医療従事者の確保が図れたほか、8020運動や6歳臼歯を守ろう大作戦事業をはじめ生涯を通じた歯の健康づくりに取り組むなど、医療機関や医療関係団体、市町村等との連携により、医療提供体制の整備や県民の健康づくりの環境整備が着実に推進できた。

プログラム達成レベル

H19	H20	H21	H22	H23
4	4	4	4	
5 目標水準を大きく上回った 4 目標水準を上回った 3 概ね目標水準 2 目標水準を下回った 1 目標水準を大きく下回った				

夢づくり政策評価シート

整理番号	206
担当部局	保健福祉部

1 施策の概要

基本戦略	「安全・安心の岡山」の創造
戦略プログラム	福祉プログラム
プログラムの概要	障害のある人が、安心して生活できる社会を目指し、ボランティアの育成や自立した地域生活を支える基盤の充実等を図るとともに、高齢者が健康でいきいきと活躍でき、家庭や地域で、安心・安全に自立した生活ができる環境整備に取り組みます。

2 夢づくり協働指標の進捗(達成)状況

指標名	単位	現況値	目標値	実績値					全国順位	
				H19	H20	H21	H22	H23		
グループホーム・ケアホーム数(障害のある人)	箇所	137	290	172	197	200	248		—	
(指標の説明) 障害のある人が、施設入院・入所から地域へ移行していくための受け皿の充足度を表すもの										
小規模多機能型居宅介護事業所数	箇所	10	140	42	61	72	91		—	
(指標の説明) 認知症などの介護を要する高齢者が可能な限り自宅や地域で暮らすことができるよう支援するサービスがどの程度整備されているかを表すもの										

3 代表的な取組(I)

■ノーマライゼーションの推進

○「岡山県障害者計画」の策定

平成23年2月に、今後の障害のある人のための施策の総合的な推進を図るため、「第2期岡山県障害者計画～だれもが自分らしく暮らせる社会をめざして～」を策定した。

計画では、ノーマライゼーションの考え方に基づき、「自立の支援」・「主体的な選択の尊重」・「地域で共生する社会の実現」を基本理念として、「啓発・広報」、「生活支援」、「生活環境」、「教育・育成」、「雇用・就業」、「保健・医療」及び「情報・コミュニケーション」の各分野における現状と課題を分析し、施策の展開の方向性を定めるとともに、今後取り組んでいく事業の具体的内容を概説した。



<協働の成果>

障害のある人の実態把握及び県施策等に係る意向把握等を行うため、障害関係団体等の協力を得て、アンケート調査を実施した。

・第2期岡山県障害者計画HP: http://www.pref.okayama.jp/soshiki/detail.html?lif_id=91978

○ほっとパーキングおかやま駐車場利用証制度の導入

身体障害者等専用駐車場の適正利用を推進するため、利用できる人を明らかにした上で、その対象者に専用の利用証を交付する一方、県と協定を結んだ施設に駐車スペースを確保し、利用証を交付された人がそのスペースを優先的に利用できることとした。



<協働の成果>

障害関係団体等の協力を得て、制度導入に係る意向把握等を実施し、制度設計に反映させた。また、駐車場設置者の協力を得て、制度が着実に広がってきている。

(参考) ・ほっとパーキングおかやま利用証交付件数 5,088枚
 ・ほっとパーキングおかやま協定締結施設数 678施設

・ほっとパーキングHP: http://www.pref.okayama.jp/soshiki/detail.html?lif_id=85383

3 代表的な取組(Ⅱ)

■介護予防事業の推進

高齢者ができる限り健康で活動的な生活を送ることができるよう、介護を要する状態となることを予防するため、市町村が実施する介護予防事業に対する支援を行った。

特に、介護予防事業の中心的役割を担う地域包括支援センターの機能を高めるため、関係機関による連絡会議の開催や市町村職員に対する研修等を実施した。

さらに、有識者で構成する岡山県介護予防市町村支援委員会による市町村への専門的アドバイス(事業評価票の提示等)を行った。



<協働の成果>

地域住民に介護予防事業の企画・運営に参画してもらうことによって、多くの参加者が得られたほか、事業の継続・充実が図られた。

(例) 運動機能向上を図るために、津山市の小地域単位で開催された「めざせ元気！！こけないからだ講座」(週1回計13回実施)では、その効果を感じた参加者が、地域のサポーターやリーダーとなったことにより、普及啓発につながった。



【めざせ元気！！こけないからだ講座】

(参考数値)

県内市町村の介護予防事業費 (百万円)	H20	H21	H22
	987	1,029	1,174

4 取り組むべき課題と対応方針

○障害のある人の地域生活の支援

「第2期岡山県障害者計画」等に基づき、障害の有無にかかわらず、お互いに人格と個性を尊重し、支え合う共生社会の理念の普及を図るとともに、障害のある人の地域生活を支える障害福祉サービスの充実を促進する。

○介護予防事業の推進

岡山県介護予防市町村支援委員会が提案している「岡山県版介護予防事業評価票」について、市町村が使いやすいよう一部改正を行い、事業評価に基づく効果的な介護予防事業への積極的な取組を推進するとともに、「地域支え合い体制づくり事業」を通じ、地域活動の拠点整備や人材育成などのモデル的な事業について助成を行う。

5 総合評価

関係団体や市町村等との連携により、岡山県障害者計画を策定するとともに、ほっとパーキングおかやま駐車場利用証制度を導入したほか、介護予防事業を実施する市町村の積極的な支援を行うことにより、障害者や高齢者の自立した地域生活を支える環境整備の推進が図れた。

プログラム達成レベル

H19	H20	H21	H22	H23
3	3	3	3	
5 目標水準を大きく上回った 4 目標水準を上回った 3 概ね目標水準 2 目標水準を下回った 1 目標水準を大きく下回った				

夢づくり政策評価シート

整理番号	207
担当部局	県民生活部

1 施策の概要

基本戦略	「安全・安心の岡山」の創造
戦略プログラム	ユニバーサルデザイン(UD)プログラム
プログラムの概要	年齢、性別、能力、国籍等にかかわらず、誰もが暮らしやすい社会の実現を目指して、ユニバーサルデザインの考え方を県全域へ浸透させるとともに、すべての人が、安全・安心で生活しやすく、活動しやすい快適なまちづくりを進めます。

2 夢づくり協働指標の進捗(達成)状況

指標名	単位	現況値	目標値	実績値					全国順位	
				H19	H20	H21	H22	H23		
UDサポーターの数	人	8,700	28,000 (16,000)	15,300	20,900	28,000	33,700		—	
(指標の説明) UDの考え方に賛同し、UD推進に主体的に参加する人の増加を目指すもの										
UDに配慮した駅の数	駅	13	18	13	14	14	17		—	
(指標の説明) 利用者が5,000人/日以上全ての駅をUD化することを目指すもの										
バリアフリー化された公共施設の数	施設	993	2,000	1,364	1,458	1,524	1,621		—	
(指標の説明) 福祉のまちづくり条例に基づく届出・協議により、バリアフリー化された公共施設の増加を目指すもの										

3 代表的な取組(I)

■ UDマインドの定着化

全庁的なUD推進体制のもとで、セミナー、出前講座の開催、UD啓発ワゴンサービスや体験事業等、各種の普及啓発事業を展開して県内全域へのUDマインドの浸透に努めた。

さらに、県内全域を対象として現地調査等を行い、UDの視点から100以上の宿泊施設をホームページで紹介する、他県にない先進的な取り組みである宿泊施設UD調査事業を実施した。



UDウエルカム講座



宿泊施設UD調査事業

<協働の成果>

NPOの運営する「UDほっとステーションおこやま」を支援したほか、「UDウエルカム講座」や県内各地を訪問する「UD啓発ワゴンサービス」などをNPOと協働で実施し、「UDサポーター」を多数養成することができた。

(参考数値)

	H21	H22	増減
「UDウエルカム講座」受講者数	403	468	65

UDほっとステーションおこやま

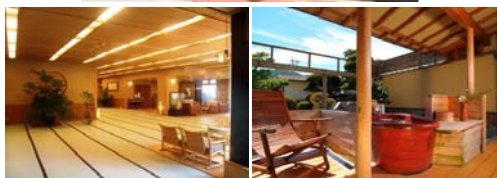
<http://www.udhot.jp/>

3 代表的な取組(Ⅱ)

■ UDマインドあふれるまちづくりの推進

UDに配慮した建築物を対象にコンテストを行い、UD建築の普及・啓発を図った。

また、県立高校整備において、生徒自らの企画・提案による県産材や岡山県エコ製品を活用したUD整備を行い、誰もが憩える快適な空間づくりに取り組んだ。



第3回 おかやまUDコンテスト
-わがまちのみんなのたてもの2010- 最優秀作品

高校生「エコ広場」UD整備事業

<協働の成果>

建築士会やNPO等と連携し、UDに配慮した建築の普及・啓発を行い、UDの浸透を推進した。

また、学校と連携し、生徒にUDの観点に立った学校整備の企画・提案と、設計から完成まで参画させることで、UDへの理解を促進した。

第3回 おかやまUDコンテスト -わがまちのみんなのたてもの2010- 受賞作品

http://www.pref.okayama.jp/soshiki/detail.html?lif_id=83372

4 取り組むべき課題と対応方針

○ UDマインドの定着化

NPO等と協働して、引き続きUD啓発ワゴンサービスや出前講座、セミナー等の啓発事業に積極的に取り組む。

また、前年度に実施した宿泊施設UD調査事業に加え、新たに、他県にない先進的な取り組みである文化施設UD対応マニュアル作成事業により、県内展示型文化施設のUD対応状況を調査し、参考となる様々な配慮や工夫、事例を紹介するマニュアルを作成し、県内文化施設のUDのレベルアップ及び利用者のUD意識の高揚に取り組む。

○ 誰もが暮らしやすいUD社会の実現

誰にとっても便利で使いやすいまちづくり、もの(製品)づくりや情報・サービスの提供に取り組み、「すべての人にとって暮らしやすいおかやまづくり」を目指す。

5 総合評価

各重点施策や普及啓発事業の取組により、UDサポーター数は指標を大きく上回った。さらに、県内全域を対象として現地調査等を行い、UDの視点から100以上の宿泊施設を紹介する、他県にない先進的な取り組みである宿泊施設UD調査事業を実施した。これらの取組により、ユニバーサルデザインの浸透・定着が着実に図られている。

プログラム達成レベル

H19	H20	H21	H22	H23
3	3	3	4	
5 目標水準を大きく上回った 4 目標水準を上回った 3 概ね目標水準 2 目標水準を下回った 1 目標水準を大きく下回った				

夢づくり政策評価シート

整理番号	208
担当部局	環境文化部

1 施策の概要

基本戦略	「安全・安心の岡山」の創造
戦略プログラム	水と緑プログラム
プログラムの概要	ふるさと岡山の美しい水と緑をかけがえのない財産として次代に引き継いでいくため、清流保全活動、児島湖の再生、瀬戸内海の環境保全等に取り組むとともに、多様で健全な森林整備、里山等の保全と活用を進めます。

2 夢づくり協働指標の進捗(達成)状況

指標名	単位	現況値	目標値	実績値					全国順位	
				H19	H20	H21	H22	H23		
ホテルの生息地箇所数	箇所	208	270 (240)	236	249	249	261		—	
(指標の説明) 川の清流保全を推進することにより、ホテルの生息地箇所の増加を目指すもの										
★ 森づくり活動への参加企業数	社	5	10	—	5	10	11		—	
(指標の説明) 企業の森林保全活動への参画を促進するもの										
環境保全を活動目的とするNPO法人数	団体	103	190	132	144	159	168		—	
(指標の説明) 活動目的に環境保全を挙げているNPO法人の認証数の増加を目指すもの										
児島湖の水質(COD)	mg/l	8.3	7.3	7.9	8.1	7.5	8.0 (速報値)		—	
(指標の説明) 児島湖の再生を推進することにより、代表的水質である化学的酸素要求量の改善を目指すもの										
下水道や浄化槽等により生活排水処理ができる人口割合	%	63.3	75	68.7	71.1	72.0	73.0		—	
(指標の説明) 下水道、集落排水、合併処理浄化槽により生活排水処理できる人口割合の増加を目指すもの										
海のゆりかご(藻場)の面積	ha	930	1,000	937.5	959.1	963.1	986.6		—	
(指標の説明) 水産資源の回復や海域環境の改善のため、魚介類の成育や水質の浄化にとって重要な海のゆりかご(藻場)の回復を目指すもの										

3 代表的な取組(I)

■ 児島湖再生の推進

9月を「児島湖流域環境保全推進月間」と定め、官民一体となり、県民運動として各種行事を実施している。また、水辺環境保全の意識啓発を行い、児島湖再生の気運醸成に努めた。

- ① 児島湖流域清掃大作戦: 10箇所において一斉清掃を行い、計37.7tのごみを回収した。
- ② ポスターコンクール: 流域の小学3年生～中学生からポスターを募集、548点の応募があった。
- ③ 児島湖ふれあい環境フェア: 環境保全啓発キャンペーン、ポスターコンクール表彰式を行った。
- ④ 児島湖水辺環境啓発事業: 児島湖及びその流域に棲息する魚介類の水槽展示(児島湖移動水族館)や、生物等を紹介したホームページの充実を図った。
[「児島湖と児島湖流域の生物」HP](http://www.kojimako-okayama.jp/) <http://www.kojimako-okayama.jp/>
- ⑤ 児島湖畔ヨシ群落保全事業: 水質浄化に役立つヨシ群落を保全するため、約47,925㎡の約76.5tのヨシを刈り取り、ピオーネ等果樹のマルチング材や堆肥などとして全て再利用した。

<協働の成果>

引き続き各種行事に多数の参加が得られており、児島湖の環境保全についての意識と関心が得られている。

(参考数値)

児島湖流域清掃大作戦の参加者	H21	H22	増減
	6,048人	5,816人	△232人



<平成22年度 小学生の部 県知事賞>

3 代表的な取組(Ⅱ)

○里山ふれあいの森づくり

・企業と協働の森づくり

企業等が整備した森林について、岡山県二酸化炭素森林吸収評価委員会が審査・承認した二酸化炭素吸収量を認証している。なお、平成22年度は、3企業、1団体の認証を行った。

平成22年度認証状況

交付先の企業等

シャープタカヤ電子工業(株)、(株)ハウジング山陽、
(株)中国銀行、岡山県森林土木建設協会

二酸化炭素吸収量の合計

26.86t-CO₂/年

○生物多様性の確保

・希少野生動植物の保護

県内に生息・生育する希少野生動植物を保護するため、希少野生動植物保護条例による指定希少野生動植物6種について、保護専門員及び保護巡視員などを中心に、地域住民等と協働して保護に向けた取組を進めた。

「岡山県版レッドデータブック」の概要版を作成して啓発を行うとともに、更新作業を進めた。

種の保存法に基づく国内希少野生動植物に指定されているスイゲンゼニタナゴ、アユモドキについて、保護のあり方等について協議するため、国、県、市町村、専門家、NPO等による連絡調整会議や専門家会議を開催した。また、生息を脅かす要因等整理し、問題点等を取りまとめるなど情報収集を行った。

希少野生動植物の保護に関するHP: http://www.pref.okayama.jp/soshiki/detail.html?lif_id=9583

・野生鳥獣の保護管理

第10次鳥獣保護事業計画や特定鳥獣保護管理計画に基づき、モニタリング調査による現状の把握を行うとともに、イノシシ、ニホンジカについては猟期延長やくくりわなの規制の緩和等による頭数調整の実施、ツキノワグマについては保護を図った。

<協働の成果>

希少野生動植物については、指定6種それぞれを対象とした保護巡視員を委嘱し、専門家の助言をもとに地域住民等と協働して保護に向けた取組をすすめた。

(参考数値)

岡山県希少野生動植物保護巡視員の数	H21	H22	増減
	66	70	4



<サクラソウ>

4 取り組むべき課題と対応方針

○児島湖の水質保全対策

児島湖の水質指標は長期的には緩やかな改善傾向にあるが、リンについては目標値を上回っていることから、引き続き児島湖底泥の実態調査・溶出調査や施肥等の使用状況調査を行い、そのメカニズムの解明を図る必要がある。

○生物多様性の確保

種の絶滅、減少を防ぎ、多くの野生生物を守ることが重要であることから、パンフレット等の活用やイベントでの啓発により、絶滅のおそれのある野生動植物の保護について県民の理解を深めるとともに、県民等との協働のもと、地域における保護活動を推進し、生物多様性の確保に努める。

5 総合評価

夢づくり協働指標の達成状況については、一部を除き概ね順調に推移している。

瀬戸内海の再生・活用、清流保全の取組やクリーンライフ100構想に沿った効率的な下水処理施設の整備、里山ふれあいの森づくりの推進や希少野生動植物の保護活動、自然環境学習の推進など、重点施策・事業への取組についても一定の効果을上げていく。

プログラム達成レベル

H19	H20	H21	H22	H23
3	3	3	3	
5 目標水準を大きく上回った 4 目標水準を上回った 3 概ね目標水準 2 目標水準を下回った 1 目標水準を大きく下回った				

夢づくり政策評価シート

整理番号	209
担当部局	環境文化部

1 施策の概要

基本戦略	「安全・安心の岡山」の創造
戦略プログラム	地球環境プログラム
プログラムの概要	地球環境問題に対する身近な取組として、省エネ・省資源、グリーン購入等、県民の自主的な環境保全活動等を促進するとともに、循環型産業システムの構築、クリーンなエネルギーの導入、温室効果ガスの吸収源対策等を進めます。

2 夢づくり協働指標の進捗(達成)状況

指標名	単位	現況値	目標値	実績値					全国順位	
				H19	H20	H21	H22	H23		
一人あたりゴミの排出量	g/日	1,119	1,066	1,091	1,053	1,019	971		24位	
(指標の説明) 各家庭や事業所から排出される一般廃棄物の削減を目指すもの										
アースキーパーメンバースhip登録会員数	人・団体	5,042	10,000	6,972	7,592	9,793	10,136		—	
(指標の説明) 地球温暖化防止のため、自ら環境への影響を減らす取組を継続的に行う人たちの会員登録数の増加を目指すもの										
産業廃棄物のリサイクル率	%	38.1	39.1	35.8	33.5	33.1	36.7		—	
(指標の説明) 循環型社会の形成のため、産業廃棄物のリサイクル率の向上を目指すもの										
★ 住宅用太陽光発電設備の普及率	%	1.66	2.5	1.50	1.66	1.99	2.72		—	
(指標の説明) 住宅用太陽光発電設備の普及率の向上を目指すもの										
公共施設及び民間事業所における太陽光発電による総出力電力	kW	3,488	10,000 (7,000)	5,980	6,492	8,464	10,050		—	
(指標の説明) 県内の公共施設及び民間事業所に設置された太陽光発電設備(10kW以上)の出力電力の増加を目指すもの										
★ 電気自動車の導入台数	台	9	300	—	9	78	269		—	
(指標の説明) 電気自動車の導入台数の増加を目指すもの										
★ 自動車保有台数に占める低公害車の割合	%	34	50	29	34	40	45		—	
(指標の説明) 環境に配慮した低公害車の割合の向上を目指すもの										
岡山エコ事業所の認定件数	件	189	250	218	243	267	273		—	
(指標の説明) グリーン調達やゼロエミッションに積極的に取り組む環境にやさしい県内事業者の増加を目指すもの										
★ 間伐面積	ha	6,000	24,000	—	6,029	13,234	21,598		—	
(指標の説明) 「地球温暖化防止間伐推進5カ年計画(H20~24)」に基づき間伐面積の増加を目指すもの										

3 代表的な取組(I)

■ 地球温暖化防止対策の推進

地球温暖化対策室HP http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=28

- ・地球温暖化防止活動推進員(H22.4.1現在85名)等と協働で、イベントの開催、地球温暖化防止の普及啓発資材を作成・配付等を行い、県民への普及啓発を図った。
- ・アースキーパーメンバースhip制度の普及により、県民・事業者それぞれの主体的な取組を促した。(H23.3.31現在会員数 10,136会員)
- ・夏季の「クールビズ県民運動」、冬季の「ウォームビズ県民運動」を通じ、事業所や家庭での温暖化防止の取組を推進し、特に、クールビズ県民運動では、経済団体などに積極的な協力を要請するとともに、クールビズの実践を235企業・団体が宣言するなど、取組の促進を図った。

■太陽光発電の導入促進

・太陽光発電と省エネ設備との複合整備に対する補助制度の創設等により導入促進を図った。
 (県補助制度実績 住宅用:1,012件 4,066kW、事業所等:16件 172kW)

■電気自動車の普及推進

・電気自動車(EV)を導入する者に対する補助事業や県公用車を用いた電気自動車カーシェアリング事業を実施し、EVの普及を推進した。(県内導入実績 269台)
 ・100V以上の充電設備の設置に対する補助や、EVの充電に協力していただける事業者等をEVサポートメンバー岡山として登録(平成22年度末登録件数:49カ所)するなど、充電環境の整備に取り組んだ。

■温室効果ガス算定・報告・公表制度の推進

・県内の主な温室効果ガス大量排出事業者から提出された削減計画の公表を行い、事業者の自主的な排出削減の取組を促した。(平成22年度削減計画書の報告事業者数:290事業者)

<協働の成果>

地球温暖化防止のため、県民・事業者による主体的取組が着実に広がっている。

3 代表的な取組(Ⅱ)

■循環型社会の形成推進

循環型社会推進課HP http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=30

「おかやま・もったいない運動」の推進のため、フォーラムの開催や小学生エコチャレンジコンテスト、ポスターコンクールなどを通じて、もったいない精神を普及し、県民のライフスタイルに3Rが定着するよう努めた。

また、「岡山県統一ノーレジ袋デー」など、マイバッグを持参し、レジ袋の削減に努める取組の促進、岡山県エコ製品や岡山エコ事業所の認定・普及などを通じて、循環型社会に向けたライフスタイルへの変革を図った。

<協働の成果>

「おかやま・もったいない運動」の各事業については、事業者・NPO・各種団体等で構成する「岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議」と協働で実施しており、県民各層に「もったいない精神」が浸透しつつある。



<「おかやま・もったいない」晴れの国フォーラム>

4 取り組むべき課題と対応方針

○温室効果ガス算定・報告・公表制度の推進

事業者の自主的な排出削減の取組をさらに促進する必要があることから、県に提出される状況報告書の分析を行い、優れた取組を行う事業者に対して顕彰制度を設ける等、優良事例のPRに努める。

○事業者の資源循環の取組の推進

産業廃棄物の排出を抑制するとともに、資源の有効利用を進めることが重要であることから、資源循環に取り組む事業者への支援を行うとともに、未利用資源の有効利用を図るための情報提供等を行う。

5 総合評価

夢づくり協働指標の達成状況では、ほぼ全ての指標において進捗(達成)率は順調に推移している。

重点施策の取組については、企業や地域での地球温暖化対策の一層の推進を図るとともに、太陽光発電や電気自動車の普及に努めたほか、エコドライブの推進によるCO2削減、有害化学物質やアスベスト対策などにより、環境保全の推進を図った。

また、「おかやま・もったいない運動」等の各種取組により、県民生活や事業活動の中での3Rは定着しつつある。

県民・事業者等との協働により、全県的に環境に配慮した取組が広がっている。

プログラム達成レベル				
H19	H20	H21	H22	H23
3	3	4	4	
5 目標水準を大きく上回った 4 目標水準を上回った 3 概ね目標水準 2 目標水準を下回った 1 目標水準を大きく下回った				

夢づくり政策評価シート

整理番号	210
担当部局	環境文化部

1 施策の概要

基本戦略	「安全・安心の岡山」の創造
戦略プログラム	都市・農村景観プログラム
プログラムの概要	潤いのある生活空間や地域の歴史・伝統を生かした優れた景観の創出を図るため、個性を生かしたまちづくりを推進するとともに、中山間地域等の美しい田園景観の保全など、自然と調和した農山漁村づくりに努めます。

2 夢づくり協働指標の進捗(達成)状況

指標名	単位	現況値	目標値	実績値					全国順位
				H19	H20	H21	H22	H23	
景観形成に重点的に取り組んでいる地区等の数 (指標の説明) 県、市町村が景観形成に重点的に取り組む地区を景観計画等に位置づけ、施策を推進するもの	箇所	7	15	8	10	14	15		—
おかやまアダプト参加人数 (指標の説明) 県管理の道路、河川等の定期的な清掃、緑化活動等を行う「おかやまアダプト事業」への参加者数の増加を目指すもの	人/年	27,000	40,000	33,980	35,751	36,330	40,752		—

3 代表的な取組(Ⅰ)

○晴れの国おかやま景観計画の推進

- ・市町村の景観行政団体移行、景観計画策定を支援

景観行政団体移行、景観計画策定に取り組む市町村(真庭市、津山市、高梁市)に対し、技術的支援(景観計画策定委員会への出席・助言など)を行った。

(参考数値)

景観計画策定 済み団体数	H21	H22	増減
	5	6	1



<景観百選・勝山町並み保存地区>

<協働の成果>

県、岡山市、倉敷市、瀬戸内市、早島町及び真庭市がそれぞれ景観計画を策定し、建築物の新築等の事前届出・審査などを通じて景観形成に取り組んでいる。

3 代表的な取組(Ⅱ)

○農山村のふるさと資源の保全推進

- ・次世代に受け継がれる農地を目指す(浅口市阿部山)

戦前・戦後を通して山地を開墾し、主に花き生産農家により形成されたこの集落は、以前より共同出荷や、実験ほ場で新品種等の栽培試験等を行ってきたが、農業従事者の高齢化が進み、農業経営の先細りが懸念されていた。

このため、将来にわたる持続的な農業生産活動、耕作放棄地の発生防止及び農地が持つ多面的機能の維持のため集落協定を締結した農業者等に交付金を交付し、集落の共同作業として水路・農道・ほ場法面の維持管理のほか、機械や農作業を共同化による生産性の向上を図った。

(参考数値)

交付金 交付面積 (ha)	H21	H22	増減
	11,451	11,803	352

・農地・水・環境保全向上対策を活用し、県・市町村や農業団体等から構成される地域協議会や農業者と地域住民が一体となった活動組織(290組織)が取り組む、農業用水路の泥上げや草刈り、農道の修繕等の共同活動により、農地(9,817ha)が適正に保管理され、地域に存する農業用排水路(総延長約2,800km)や農道等(約2,200km)において施設の長寿命化を図る活動を行った。また、景観植物の植栽や生き物調査等の地域に生息する生物等を保全する活動や農村景観を形成・保存する活動を行った。



<水路の泥上げ、草刈り>



<農道の修繕>



<景観植物の植栽>



<生き物調査>

○農村景観保全の推進

・「菜の花プロジェクト」活動の展開

官民が参画する「岡山県菜の花プロジェクト推進協議会」と連携し、遊休農地を活用した菜の花の作付けを推進し、農村の景観保全を図るとともに、イベントの開催を通じて都市住民との交流を図った。

菜の花を植えるつどいへの参加協力
吉備路風土記の丘周辺(総社市)
県有地での菜の花栽培
県農林水産総合センター(赤磐市)

(参考数値)

景観保全のための作付面積 (ha)	H21	H22	増減
	14.5	44.6	30.1



<県農林水産総合センター(赤磐市)>

4 取り組むべき課題と対応方針

○市町村景観計画の策定支援

市町村が景観行政団体となって景観計画を策定し、地域の特性を生かした独自の景観施策推進に取り組むことが可能になるよう、制度や他市町村の状況を情報提供する等の方法で支援していく。

○農山村のふるさと資源の保全推進

過疎化・高齢化・混住化等の進行に伴う集落機能の低下により、農地や農業用水等の適切な保管理が困難な状態となってきていることから、地域住民を含めた共同活動による地域資源の保全を継続的に実施していく必要がある。

5 総合評価

夢づくり協働指標の達成状況は、順調に推移し、目標を達成している。「景観形成に重点的に取り組んでいる地区等の数」については、今後も増加が見込まれる。また、おかやまアダプト参加団体及び道路、河川、海岸の管理延長も順調に増加している。
農村景観保全についても、地域のまとまりや地域資源の保全に対する意識が醸成されつつあり、農地や農業用水路等が適正に管理されている。

プログラム達成レベル				
H19	H20	H21	H22	H23
3	3	4	4	
5 目標水準を大きく上回った 4 目標水準を上回った 3 概ね目標水準 2 目標水準を下回った 1 目標水準を大きく下回った				

夢づくり政策評価シート

整理番号	301
担当部局	産業労働部

1 施策の概要

基本戦略	「産業と交流の岡山」の創造
戦略プログラム	地域産業プログラム
プログラムの概要	活力ある本県産業の形成に向けて、元気な中小企業やオンリーワン企業を支援します。また、地域の特性に応じた地場産業の活性化、水島コンビナートの国際競争力強化とともに、産業人材の育成に関係機関と連携して取り組みます。

2 夢づくり協働指標の進捗(達成)状況

指標名	単位	現況値	目標値	実績値					全国順位
				H19	H20	H21	H22	H23	
経営革新に取り組む中小企業数(累計)	社	117 (H18.3)	500 (600)	143	265	315	380		11位
(指標の説明) 新商品や新サービスの開発等を行う経営革新計画の策定を行った中小企業の数									
製造品出荷額等	億円/年	66,837 (H16.12)	75,000	82,973 (H18.12)	82,539 (H19.12)	87,163 (H20.12)	66,116 (H21.12)		14位
(指標の説明) 県内製造業の出荷額等の状況									

3 代表的な取組(I)

■ 経営革新による企業活力の向上及び建設業の新分野進出支援

意欲ある中小企業の経営革新の取組を推進するため、企業の経営革新計画の作成支援、低利融資等の施策を積極的に推進した。また、公共投資の縮減等により厳しい経営環境にある建設業者を支援するため、支援機関・団体と連携し、各種施策を「建設業支援パッケージ」として総合的に推進した。特に新分野進出の取組を推進するため、相談窓口の設置やトータルサポーターによる継続的指導や経費助成による支援を行った。

<協働の成果>

中小企業、関係団体等の支援機関と県が協働し、計画策定支援及びフォローアップ等により、建設業の新分野への確実な進出を支援した。

建設業新分野進出の例



クルマエビの養殖業



米粉パン製造販売事業

経営革新計画承認企業の内訳 業種別割合

業種	企業数(社)	割合(%)
製造	19	29.2
建設	17	26.2
運輸・通信	7	10.8
卸売・小売	9	13.8
飲食・宿泊	2	3.1
サービス	6	9.2
その他産業	5	7.7
合計	65	100.0

※参考 前年度 50

(参考数値)

建設業の新分野進出補助金 交付企業数	H21	H22	増減
	20	18	▲2

3 代表的な取組(Ⅱ)

■ 広域受注開拓の支援

平成22年度において、県内外の下請取引のあっせんを1,914件実施した。
また、広域受注開拓のため、県内受注企業と協働の下、県内外の企業を対象とした「広域商談会」を開催するとともに、業績が好調な業種等の県外企業を対象とした「キャラバン展示商談会」や県外発注企業と県内受注企業のマッチングを行う「現地取引商談会」、大手発注企業との「個別商談会」を開催した。

＜商談会開催状況＞

- 広域商談会 2回
(いずれも岡山市内)
- キャラバン展示商談会 2回
(九州地区、中京・京阪神地区)
- 現地取引商談会 4回
(大阪市内、名古屋市内、東京都内、福岡市内)
- 個別商談会 4回
(岡山市内(2回)、尼崎市内、倉敷市内)



H22.8.4第1回広域商談会

(参考数値)

	H21	H22	増減
商談会の開催回数	8	12	4

＜協働の成果＞

商談会では、県内受注企業と連携し、取引の拡大に取り組んだ。

4 取り組むべき課題と対応方針

○ 中小企業の支援と地域産業の活性化

中小企業の経営革新や経営安定を図るため、セミナーの開催や中小企業診断士などの専門家派遣、人材派遣により経営革新計画の推進を支援するほか、過剰債務等に苦しんでいるが将来性のある企業に対して、実現可能な経営改善計画書の作成を通じて、事業再生と成長を支援する。

新分野進出については、国の公募型事業への積極的な応募や産業振興財団に設けたきらめき創成ファンド等の活用により、引き続き支援していく。

また、販路開拓については、国内大手メーカーを訪問し、県内中小企業の優秀な技術や製品をPRする展示商談会を開催するなど、県内外での商談会の開催等に積極的に取り組むほか、首都圏における販路開拓を推進するなど、新たな取引先開拓等に向けて、引き続き支援していく。

○ 地域産業

本県の地域産業は安価な海外製品との競合等により、引き続き厳しい経営環境にあることから、関係機関と連携しながら、ものづくり技術の高度化や新製品の開発、人材育成等を推進する。繊維産業については、ブランド化等を通じた販路開拓の取組を進める。また、本県経済を支える水島工業地帯の競争力強化に向けて、企業間・産学官の連携による取組を進める。

5 総合評価

平成22年度は、引き続き厳しい経済情勢にあり、経営革新計画の承認件数は、前年度(50件)に比較して増加に転じたものの、県内製造品出荷額等については、前年度を大きく下回った。

地域産業の活性化のために、関係機関との協働により、県内外で商談会等を開催したり、新技術の開発や販路開拓等の支援に努めた結果、一定の成果を上げた。

また、きらめき岡山創成ファンド支援事業等により、県内企業の新商品開発が促進された。

建設業の新分野への進出については、新分野進出計画の策定支援や補助金交付により支援した。

プログラム達成レベル

	H19	H20	H21	H22	H23
	4	3	3	3	

- 5 目標水準を大きく上回った
- 4 目標水準を上回った
- 3 概ね目標水準
- 2 目標水準を下回った
- 1 目標水準を大きく下回った

夢づくり政策評価シート

整理番号	302
担当部局	産業労働部

1 施策の概要

基本戦略	「産業と交流の岡山」の創造
戦略プログラム	新産業プログラム
プログラムの概要	本県経済を支える新しい産業基軸の構築を目指し、ものづくり重点4分野(超精密生産技術、バイオ、医療・福祉・健康、環境)を中心に、産学官連携により岡山版産業クラスターの形成を一層推進するとともに、ベンチャー企業の育成に取り組みます。

2 夢づくり協働指標の進捗(達成)状況

指標名	単位	現況値	目標値	実績値					備考
				H19	H20	H21	H22	H23	
岡山版産業クラスターで開発された製品の数	件	90	235	129	150	171	197		—
(指標の説明) 産学官連携組織(産業クラスター)で開発された新製品・新技術の数									
大学発ベンチャー企業数	社	23	42 (35)	32	33	36	44		—
(指標の説明) 県内大学・高専の研究成果や特許等に基づく起業、又は大学等教職員・学生の人材移転による起業を行ったベンチャー企業の数									

3 代表的な取組(I)

■マイクロものづくり産業クラスターの形成

マイクロものづくり産業クラスターの形成に向けて、企業・大学・工業技術センター等の産学官連携による共同研究を強力に進めている。特に、平成22年度においては、今後成長が見込まれる「次世代自動車分野」や「ロボット分野」をターゲットに、川下企業ニーズの事業化を目指す県内企業等の取組を支援した。

また、大規模展示会への出展等により「マイクロものづくり岡山」のブランド形成に取り組み、「マイクロものづくり岡山」の認知度向上を図った。

○岡山版産業クラスターで実用化された技術

◇光輝性アルミホイールの開発



鏡面研磨加工と表面処理により、めっき加工をせずに、めっき製品と同等以上の光沢を持つ自動車用アルミホイールを開発。めっき製品と比べコストを約30%削減。

◇ディパレタイジングロボットの開発



水島コンビナート企業のロボット化ニーズを踏まえ、画像処理認識により、柔軟かつ不定型な樹脂袋をパレットから荷下ろしできるロボットを開発。

<協働の成果>

産学官連携により、県内企業の持つ優れたものづくり技術と大学・工業技術センター等のシーズを生かした共同研究プロジェクトが行われ、国から多くの競争的資金を獲得し、新製品の開発につながる研究開発が着実に進んでいる。

- ・戦略的基盤技術高度化支援事業
- ・地域イノベーション創出研究開発事業

中国地方20件採択中 岡山県関係分7件採択
中国地方 4件採択中 岡山県関係分2件採択

3 代表的な取組(Ⅱ)

■ベンチャーの発掘・育成

○インキュベーション施設等による育成

岡山リサーチパークインキュベーションセンターにおいて、情報通信やものづくりの分野を中心に新規創業や新製品開発を目指すベンチャー企業等に対し、専属のインキュベーションマネージャー等がきめ細かい支援を行っており、リサーチパーク内に新たに研究施設を設けた企業や、高度な技術力や将来性により注目を集める企業が生まれている。

○起業家の発掘・育成

ベンチャービジネスプランコンテストを通じて、新たな起業家の発掘を行うとともに、起業予定者等を対象に、経営ノウハウ習得のための研修会などを行った。

<協働の成果>

産業振興財団をはじめとするベンチャー支援機関や県内インキュベーション施設、大学等で情報を共有化するなど、協働しながら効果的に創業促進・育成施策を実施した。

(参考数値)

ORIC 延べ入居企業数	H21	H22	増減
	82	91	9

・(財)岡山県産業振興財団 創業&フォローセミナー
<http://www.optic.or.jp/modules/zaidan03/>
 ・ORIC(岡山リサーチパークインキュベーションセンター)
<http://www.oric.ne.jp/~oric/index.html>



3 代表的な取組(Ⅲ)

■バイオマス産業クラスターの形成

県、真庭市、県内外の企業や研究者等で構成する産学官連携組織である「セルロース系バイオマス超微粉碎技術研究会」を推進母体とした「森と人が共生するSMART工場モデル実証」事業が、文部科学省の平成22年度競争的資金事業に採択され、間伐材等の未利用バイオマス資源から、効率的にセルロースナノファイバーを製造する革新的技術の確立と木材資源の付加価値を最大化するビジネスモデルの構築に取り組んでいる。

真庭バイオマス集積基地
※実証場所



4 取り組むべき課題と対応方針

○岡山版産業クラスターの推進

産学官連携により、ものづくり重点4分野を中心に県内企業の持つ優れた技術等の強みを生かした研究開発や技術開発等を強力に支援するとともに、開発された製品の販路開拓支援などに積極的に取り組む。

○ベンチャーの育成

より多くのベンチャー企業を創出するため、起業シーズ発掘の取組を強化する。また、大学等と連携して大学発ベンチャーの創出を支援するとともに、創業者支援機関や金融機関と連携して販路拡大や資金調達等の支援などベンチャー企業の育成に向けた総合的な取組を進める。

5 総合評価

開発された製品数は、目標とする水準を下回ったが、マイクロものづくり関連の自動車やロボット分野における研究開発グループの創出など、今後の製品開発に結び付く取組が前進した。そのほか、「セルロース系バイオマス超微粉碎技術研究会」「おかやま電池関連技術研究会」等の産学官連携組織における技術開発、プロジェクト創設も着実に進んだ。

また、産学官連携によりベンチャーの発掘・育成に取り組んだ結果、大学発ベンチャーの企業数が伸びている。

プログラム達成レベル

H19	H20	H21	H22	H23
3	3	3	3	

- 5 目標水準を大きく上回った
- 4 目標水準を上回った
- 3 概ね目標水準
- 2 目標水準を下回った
- 1 目標水準を大きく下回った

夢づくり政策評価シート

整理番号	303
担当部局	産業労働部

1 施策の概要

基本戦略	「産業と交流の岡山」の創造
戦略プログラム	戦略的企業立地プログラム
プログラムの概要	陸海空の広域交通ネットワークの整備を推進するとともに、マイクロものづくり分野をはじめとする企業をターゲットとして、戦略的な誘致活動を進めます。

2 夢づくり協働指標の進捗(達成)状況

指標名	単位	現況値	目標値	実績値					全国順位
				H19	H20	H21	H22	H23	
企業立地件数	件	24	150 (5年間で)	35	55	65	82		—
(指標の説明) 県内への企業立地促進を目指すもの(累計) (H19からの累計値を記載)									
国際航空貨物量	トン/年	471	2000 (5000)	1,679	243	1,395	191		—
(指標の説明) 物流拠点としての岡山空港の利用促進を目指すもの									

3 代表的な取組(I)

■ 産学官の連携による誘致活動の推進

岡山県企業誘致推進協議会や企業誘致アドバイザーと連携し、そのノウハウや人的ネットワークを活用しながら、ターゲットとする分野の企業における設備投資情報等の収集を図るとともに、収集した情報を生かし、産学官の協働による企業誘致活動を展開した。

<協働の成果>

世界的な不況により企業の投資意欲が減退するなかで、17件の企業立地ができた。
また、懸案となっていた大型企業誘致については、平成23年3月に水島港玉島地区に日本エアロフォージ株式会社の立地が決定した。

〔 日本エアロフォージ株式会社は、国内で初めてとなる能力5万トン級の最新鋭大型鍛造プレスを導入し、世界で需要拡大が見込まれる航空機向けを中心とした大型鍛造品の生産拠点を新設するものである。 〕

(参考数値)

	H21	H22	増減
企業誘致アドバイザーの数	157名	152名	△ 5

	H21	H22	増減
企業誘致アドバイザーからの情報提供	96件	96件	0



企業誘致推進協議会



日本エアロフォージ株式会社

3 代表的な取組(Ⅱ)

■ 立地環境の整備

県外からの企業誘致を進めるとともに、既立地企業の県内での再投資を促すため、工場立地法の緑地規制を緩和するなど、立地環境の整備を図った。また、企業用地が逼迫している県南部を中心に、市町村等と連携し、分譲可能な民有地情報を集め、東京事務所・大阪事務所等を通じて、進出意欲のある企業に提供するとともに、浅口市の「先端的なものづくり集積団地」など市町村の団地開発の取組を支援した。

〈協働の成果〉

1 緑地率の緩和

工業地域及び工業専用地域における特定工場の緑地面積率を20%以上から10%以上に緩和した。

2 市町村との連携を密にし、民間の遊休地、工場跡地等の情報を収集し、企業に対して提供した。

民有地情報 82件
(うち公表可能な25件をホームページに掲載)

3 先端的なマイクロものづくり集積団地構想を推進するため、浅口市に対して、技術職員の派遣や各種手続等の支援を行うとともに、企業訪問時や企業立地セミナー開催時などの機会に団地のPRに努めた。



・晴れの国おかやま産業立地ガイド <http://www.pref.okayama.jp/sangyo/kiritsu/youchi/index.html>

4 取り組むべき課題と対応方針

○ターゲットを絞った誘致活動

航空機産業は将来性が高く、また裾野も広いことから、本年3月に決定した日本エアロフォーージ(株)の立地を契機に、新たな産業クラスターが形成され県内産業の活性化が一段と図られるように、関連企業の誘致を進めていく。また、晴れの国の長が活かせるメガソーラーの誘致に取り組むとともに、新エネルギー関連や次世代自動車関連など将来にわたり成長が期待できる分野の企業誘致を図る。

○企業用地の確保

企業ニーズの高い県南部においては、市町村等と連携して民有地情報を収集し、進出意欲のある企業に対して積極的な提供を行っていく。「先端的なものづくり集積団地」の整備を進めている浅口市やその他工業団地整備に取り組む市町村に対して支援を引き続き行う。

5 総合評価

工場立地法の緑地規制を緩和し、県内の立地環境の整備を図るとともに、産学官連携のもと、ターゲットを絞って企業誘致活動を推進してきた。

世界的な不況により企業の投資意欲が減退する中で、県内の企業立地件数は17件となり、懸案の大型企業誘致を実現することができた。

プログラム達成レベル				
H19	H20	H21	H22	H23
4	2	2	3	
5 目標水準を大きく上回った 4 目標水準を上回った 3 概ね目標水準 2 目標水準を下回った 1 目標水準を大きく下回った				

夢づくり政策評価シート

整理番号	304
担当部局	産業労働部

1 施策の概要

基本戦略	「産業と交流の岡山」の創造
戦略プログラム	観光プログラム
プログラムの概要	観光客の多様化するニーズをとらえ、地域発観光の積極的な推進や観光客入り込み数の増加、宿泊率の向上、観光消費額の増加を図るとともに、外国人旅行者に対する受入体制の整備や温かいおもてなしの推進、観光アメニティの向上に努めます。

2 夢づくり協働指標の進捗(達成)状況

指標名	単位	現況値	目標値	実績値					全国順位
				H19	H20	H21	H22	H23	
観光消費額	億円/年	1,416	1560 (1530)	1,483	1,463	1,411	1,459		
(指標の説明) 観光客が県内で消費する額の増加を目指すもの									
観光客入り込み数	万人/年	2,550	2570 (2710)	2,502	2,481	2,381	2,514		
(指標の説明) 観光施設等への入込客数の増加を目指すもの									
観光ボランティアガイドの数	人	560	700	628	638	720	745		
(指標の説明) 岡山県観光ボランティアガイド連絡会構成団体のボランティアガイド数の増加を目指すもの									
★外国人旅行者宿泊者数	人/年	62,016	96,000	60,713	62,016	55,560	68,147		
(指標の説明) 県内に宿泊する外国人旅行者の増加を目指すもの									

3 代表的な取組(Ⅰ)

■ 地域発観光の推進

地域の観光関係者が主体となった「周遊型・滞在型」旅行企画商品を開発するため、専門的なアドバイザーを派遣し、セミナー・ワークショップを4回、モニターツアーを2回開催し、観光ルートの磨き上げを支援した。

また、「食」を通じたまちおこしの機運が高まっていることから、県内ご当地グルメ推進団体のネットワーク「おかやまBグルメネット」の設立を支援するとともに、「食」を県観光のメインコンテンツと位置付け、ご当地グルメの紹介冊子の作成、ツイッターを使ったグルメラリーを実施するなど効果的な情報発信を行った。

<協働の成果>

「周遊型・滞在型旅行」企画支援事業では、旅館組合、観光協会、ボランティアガイドなど地域の熱意ある観光関係者等が開発した観光ルートを、ワークショップやモニターツアーを通じてブラッシュアップし、ご当地グルメを組み込んだ旅行商品の造成に繋げた。

また、県が設立を支援したご当地グルメ推進団体のネットワーク「おかやまBグルメネット」には、正会員が5団体、準会員等が10団体の計15団体が加入し、官民が一体となりB級グルメを岡山県の新魅力として盛り上げるための体制が整った。



<おかやまBグルメネット設立総会>

・観光課HP

http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=46

3 代表的な取組(Ⅱ)

■ 外国人旅行者の誘致

ソウル、上海、北京、台北、香港での国際観光展等へ出展するとともに、現地の旅行雑誌等での岡山県のイメージアップを図った。また、東アジア地域をターゲットに、現地の旅行業者等を招請した視察旅行や商談会を行い旅行商品の造成に繋げたほか、中国からの観光客誘致の取り組みを強化するため、新たに富裕層向けツアー商品の造成事業等に取り組んだ。

さらに、欧米からの個人旅行者の誘客促進対策として、日本を紹介する代表的な外国人向け旅行商品に岡山ルートを組み込むとともに、ミシュラン・グリーンガイド(英語版)や訪日旅行者向けフリーペーパー(英語版)等に本県観光情報の掲載や定期観光バス案内の英語化等を推進した。

<協働の成果>

観光に携わる各種団体等で構成する「岡山県外国人観光客受入協議会」との連携により、岡山空港において、海外チャーター便等の到着時に外国人観光客に対し歓迎行事を実施したほか、協議会会員の宿泊施設や観光施設等において、施設案内や料理メニューの外国語標記等外国人受入体制充実の動きが広がった。



<台湾での商談会>



<中国での現地観光展>

・観光課HP

http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=46

4 取り組むべき課題と対応方針

○地域発観光の推進

岡山県観光立県戦略に基づいた地域発観光を進め、地域の観光関係者等で構成された研究会において、ワークショップやモニターツアーを実施したが、旅行商品としての採用は数件に止まっている。このため、さらなる旅行商品の造成に向けた働きかけが必要であることから、年間を通じた地域のイベントの情報発信や観光資源の掘り起こしを積極的に行うとともに、開発された観光ルートのモニターツアーを実施するなど、観光地への集客に努める。

○外国人旅行者の誘致

本県の国際的な認知度が低いことから、国のビジット・ジャパン地方連携事業等を活用して、近隣府県等とも連携し、中国をはじめとした東アジアをターゲットに、いわゆるゴールデンルートに代わる新たな広域観光ルートの開発を行う。特に第一級の観光資源である瀬戸内海を観光素材として活用し、豪華客船の誘致などの取組により、本県への訪日観光客の誘致に努める。

5 総合評価

平成22年は、盛り上がりを見せているB級グルメなど地域発観光の取り組み強化により観光客の入込数が約6%増加した。また、海外での観光プロモーションの展開により、東アジアをはじめとした外国人観光客の誘致に積極的に努めたことから、外国人旅行者宿泊者数が前年に比べ約23%増加した。その結果、観光消費額も、目標値には届いていないものの、前年に比べ約3%増加した。

プログラム達成レベル				
H19	H20	H21	H22	H23
3	3	3	3	
5 目標水準を大きく上回った 4 目標水準を上回った 3 概ね目標水準 2 目標水準を下回った 1 目標水準を大きく下回った				

夢づくり政策評価シート

整理番号	305
担当部局	農林水産部

1 施策の概要

基本戦略	「産業と交流の岡山」の創造
戦略プログラム	農林水産業プログラム
プログラムの概要	農林水産業の持続的、安定的な発展のため、意欲的な新規就農者等や経営体の確保・育成、高品質な農林水産物の生産振興、「おかやまブランド」の形成、食料自給率向上対策や農商工連携の推進、耕作放棄地の解消などを目指します。

2 夢づくり協働指標の進捗(達成)状況

指標名	単位	現況値	目標値	実績値					全国順位
				H19	H20	H21	H22	H23	
新規就農者の数	人/年	99	110	114	114	118	113		—
(指標の説明) 担い手の減少や高齢化の進行に対処するため、新規就農者を年間110人確保するもの									
定年帰農者等の数	人/年	45	100	102	112	146	123		—
(指標の説明) 担い手の減少に対処するため、定年後に農業を専従で始める定年帰農者等を年間100人確保するもの									
認定農業者等の担い手数	経営体	3,372	3,600	3,437	3,457	3,468	3,472		—
(指標の説明) 効率的かつ安定的な農業経営体を確保するため、意欲と能力のある経営感覚に優れた認定農業者等を育成するもの									
有機無農薬農産物の生産量	トン/年	1,372	1,600	1,455	1,509	1,511	1,523		—
(指標の説明) 土づくりを基本として、農薬、化学肥料を使用せず生産された農産物の生産量									
おかやま次世代フルーツの栽培面積	ha	24	200	45	77	101	125		—
(指標の説明) 県が育成した期待の新品種である桃「おかやま夢白桃」、ぶどう「オーロラブラック」の栽培面積									
★ 県内食料自給率(カロリーベース)	%	37 (H19)	43	39 (H18)	37 (H19)	40 (H20)	40 (H21)		27位 (H21)
(指標の説明) 県内における食料自給率のカロリーベースの数値									
★ 農商工連携採択プロジェクトの数	件	0	10 (3年間)	—	—	6	13		—
(指標の説明) 農商工連携事業として採択したプロジェクトの件数									
★ 農業上重要な地域の耕作放棄地面積	ha	3,900	0	—	3,900	2,820	2,860		—
(指標の説明) 市町村による現地調査の結果、農業上重要な地域(農振農用地)の耕作放棄地面積									

3 代表的な取組(I)

■ 新規就農者等の確保・育成

- ・県内外で開催する就農・定住相談会や、県のホームページ等で県農業の特徴や月給制研修などの本県の充実した就農支援制度、農業法人への就職などについて情報発信するとともに、相談者に対し、就農に向けた具体的なアドバイスと情報提供を行った。
- ・就農を希望する中高年齢者に対しては、地域の特色を活かして実施する地域帰農塾や農業大学校における社会人就農研修等の技術習得研修を市町村、農業団体と連携して実施している。

(農産課HP) http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=52

< 協働の成果 >

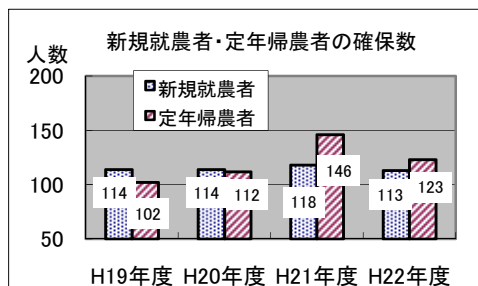
県及び地域段階に設置している「担い手育成総合支援協議会(農業団体等で構成)」などの関係団体と密接に連携した取組により、新規就農者、定年帰農者等の確保・育成が図られた。



就農相談会



各種研修



3 代表的な取組(Ⅱ)

農商工連携の推進

- ◆農商工連携の推進組織である「おかやま農商工連携推進センター」が主体となり、農商工連携事業を公募し、平成22年度は7件を採択した。
- ◆平成21年度採択事業については、6件すべてで商品化され、その中にはこれまでに4,000万円を超える販売額をあげているものもある。

[おかやま農商工連携推進センターHP](http://www6.ocn.ne.jp/~nokaiken/nosvoko/) <http://www6.ocn.ne.jp/~nokaiken/nosvoko/>

<協働の成果>

農商工連携推進センターにより、平成22年度は7件を事業採択し、うち2件は、順調に開発が進み、商品化され、21年分を含めて8件が販売開始されており、連携事業が着実に実を結んでいる。



<農商工連携推進セミナー>



<津山ロール(津山小麦)>



<風のシルフ(蒜山ヤマブドウ)>



<パスタソース(新見トマト)>



<灰干し(笠岡タコ他)>



<玄米モッフル(新庄ひめのもち)>

(参考数値)

農商工連携 連携採択プロ ジェクトの数	H21	H22	増減
	6	13	7

4 取り組むべき課題と対応方針

○耕作放棄地対策の推進

耕作放棄地の解消に向け各地域の取組は徐々に進んでいるものの、解消済みは点在した農地であり、集団化された面的な解消までにはいたっておらず、高齢化等による新たな増加がみられる。今後、市町村の「耕作放棄地解消計画」の一層の推進が図られるよう、他産業からの参入も含めたあらゆる施策・事業を活用しながら市町村・JA等と一体となって解消に向けた取組を加速化させていく。

○食料自給率向上への取組

食料自給率向上県民運動を進めながら、生産と消費の両面から積極的に推進しているところであるが、自給率は穀物の作柄(出来高)によるところが大きく天候等に左右されるため、大きく伸ばすことは難しい現状がある。今後、国が進める所得補償制度の波及効果もみながら、家庭における食生活の見直しや外食産業、学校給食での地場産品の利用など消費面での取組が一層進むよう普及啓発に努めていく。

5 総合評価

協働指標については、殆どの項目で順調に推進が図られており、特に、新規就農者の確保については、毎年目標数値を上回る成果をあげており、中でも、果樹部門での就農率が高いことは、「くだもの王国おかやま」の国内外での確立に大きく貢献するものである。

また、農商工連携についても既に商品化され好評を得ている商品もあり、一定の成果がみられている。

プログラム達成レベル

H19	H20	H21	H22	H23
4	4	4	4	
5 目標水準を大きく上回った 4 目標水準を上回った 3 概ね目標水準 2 目標水準を下回った 1 目標水準を大きく下回った				

夢づくり政策評価シート

整理番号	306
担当部局	産業労働部

1 政策の概要

基本戦略	「産業と交流の岡山」の創造
戦略プログラム	就労プログラム
プログラムの概要	性別や年齢、障害などにとらわれず、適性に応じて働くことのできる多彩な就労環境を整備し、若者や高齢者の就労支援に積極的に取り組むとともに、雇用問題については、国の施策とも歩調を合わせながら、迅速・的確な施策の推進を図ります。

2 夢づくり協働指標の進捗(達成)状況

指標名	単位	現況値	目標値	実績値					全国順位
				H19	H20	H21	H22	H23	
★ 緊急雇用対策による新規雇用創出数	人	284	9,200	—	284	3,675	8,220		—
(指標の説明) 雇用創出関係基金等の活用による地域における雇用創出を目指すもの(目標値はH21~23の累計)									
若者就職支援センターからの就職決定者数	人/年	535	680	685	695	600	555		—
(指標の説明) おかやま若者就職支援センターの就職支援による就職決定者の増加を目指すもの									
生産年齢人口の就業率	%	70.1	72	70.8	68.8	68.8	69.6		—
(指標の説明) 生産年齢人口(15~64歳)の就業の促進を目指すもの									

3 代表的な取組(Ⅰ)

■若者の就職支援

- ・ 「おかやま若者就職支援センター」※では、若年失業者やフリーター等を対象に、カウンセリングからハローワークを通じた職業紹介までの一貫した就職支援に関するサービスを提供した。
- ・ 新規学卒者を取り巻く厳しい就職環境を踏まえ、昨年5月、行政、経済団体、教育機関等で構成する「おかやま新規学卒者就職応援協議会」を全国に先駆けて設置し、各種就職サポート事業に取り組んだ。
- ・ ニート等の若年無業者が就職し、自立して生活を送ることができるよう、国が委託設置する「おかやま若者サポートステーション」を総合相談窓口として、県は自宅訪問による相談など、きめ細かな支援や就労意欲を高める体験型のセミナー等を実施した。

《 おかやま若者就職支援センター利用状況 》

	来所者数	登録者数	就職決定者数	決定率
H21	10,973	1,082	600	55.5%
H22	10,418	866	555	64.1%

<平成22年度の就職決定者数の目標:650人>

《 センターでのカウンセリング風景 》



〈協働の成果〉

「おかやま新規学卒者就職応援協議会」を構成する経済団体、教育機関等が連携して、課題や情報の共有、意見交換等を行うとともに、各種就職サポート事業に取り組むことができた。

※ 国が策定した「若者自立・挑戦プラン」に基づき県が委託設置。(岡山センター、倉敷・津山相談室)

3 代表的な取組(Ⅱ)

■地域における雇用の創出

○介護雇用プログラム《地域人材育成事業》

【事業概要】介護施設等で働きながら、介護福祉士やホームヘルパー2級の資格が取得できるよう支援する「介護雇用プログラム」の実施により、介護分野の人材の確保・育成を図った。

【新規雇用者数】・介護福祉士 27人
・ホームヘルパー2級 54人



<老人介護施設で介助している様子>

○ソーシャルビジネス創出支援事業《ふるさと雇用再生特別事業》

【事業概要】県内産業の振興や地域活性化、福祉の推進など社会的課題となっている分野にソーシャルビジネスを根付かせるため、NPOを活用した地域発の体験型観光の推進などに取り組んだ。

【新規雇用者数】5人

<協働の成果> 地域発の体験型観光の推進を行う事業では、地元住民や諸団体と連携した結果、人との交流や座禅・豆腐作りなどを組み込んだ観光プログラムの作成など、地域の活性化につなげることができた。

<観光プログラムの一環で座禅体験を行っている様子>



4 取り組むべき課題と対応方針

○雇用対策

- ・ 厳しい雇用情勢を踏まえ、フリーターやニート等については、引き続きおかやま若者就職支援センターやおかやま若者サポートステーションにおいて、正規雇用や職業的自立に向けたきめ細かな支援を行う。また、新たに職場見学会を実施するとともに業種等を絞った面接会を月単位で開催し、マッチング機会を充実させる。
- ・ 新規学卒者や未就職卒業者については、合同就職面接会の開催など、岡山労働局等関係機関と一体となった取組により、県内企業への就職を促進する。
- ・ 「雇用創出関係基金」を活用し、引き続き雇用・就業機会の創出に努める。
- ・ 震災後、安全・安心への意識が高まり、Uターン希望者等が増加すると予想されることから、首都圏に居住する本県出身の大学生を対象に、本人及び家族に対して県内企業の情報や、求人情報等を提供する。

○職業訓練の推進

労働力需給のミスマッチを解消し、多様な需給ニーズに的確に応えるため、県立高等技術専門校が実施する平成23年度の職業訓練において、IT・医療・介護など雇用の見込まれる分野の訓練コースを拡充するなど、より柔軟で的確な訓練の実施に努める。

5 総合評価

緊急雇用対策による新規雇用創出数については、雇用創出を図る各種事業を着実に取り組むことにより、目標の達成が見込まれる。

また、若者就職支援センターの就職決定者数については、目標値を下回ることとなったが、マンツーマンによるきめ細かなカウンセリング等により、登録者数に対する就職決定率は昨年度を上回った。

依然として厳しい雇用情勢にあることから、国や市町村等との緊密な連携の下、雇用機会の創出や離職者に対する支援、Uターン就職支援などの各種施策に積極的に取り組んだ。

プログラム達成レベル				
H19	H20	H21	H22	H23
3	4	3	3	
5 目標水準を大きく上回った 4 目標水準を上回った 3 概ね目標水準 2 目標水準を下回った 1 目標水準を大きく下回った				

夢づくり政策評価シート

整理番号	307
担当部局	土木部

1 施策の概要

基本戦略	「産業と交流の岡山」の創造
戦略プログラム	交通基盤プログラム
プログラムの概要	人や物のグローバルな交流や移動を支え、国や地域相互の幅広い交流と連携、人々の日常生活や地域活動を支援するため、広域交通網等の交通基盤の整備を推進するとともに、空港や港湾等の利用促進に努めます。

2 夢づくり協働指標の進捗(達成)状況

指標名	単位	現況値	目標値	実績値					全国順位
				H19	H20	H21	H22	H23	
おかやまスタンダードによる国道・県道の整備割合	%	73	76	74.3	74.7	75.7	77.6		—
(指標の説明) 県内の道路整備が、どの程度進んでいるかを表すもの									
主要な渋滞箇所のうち渋滞が緩和された交差点の数	箇所	14	24	17	18	19	20		—
(指標の説明) 主要な渋滞箇所のうち交通容量拡大策の推進などによって、著しい渋滞が緩和された交差点の数									
岡山空港利用者数	千人/年	1,574	1,750	1,511	1,434	1,321	1,310		—
(指標の説明) 岡山空港の国内・国際定期路線とチャーター便の利用者合計で、利用者数の増加を目指すもの									
国際コンテナ取扱量	千トン/年	1,871	2,400	2,025	2,017	1,778	1,979		—
(指標の説明) 国際物流港湾として、水島港で輸出入されるコンテナ取扱量の増加を目指すもの									

3 代表的な取組(I)

■ 水島港の機能強化と利用促進

※港湾課HP http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=66

水島港の機能強化による水島港及び水島コンビナートの国際競争力向上を図るため、国直轄事業として進められている玉島ハーバーアイランドの水深12m岸壁は、平成22年度に本体工のケーソン工事をほぼ完成させ、また、新高梁川橋梁についても水島地区側の現地工事に着手した。

水島港におけるコンテナ取扱量は、世界的な景気後退により一時的に減少したものの、以前の水準に回復しており、「水島港国際ナショナルトレード協議会」を通じてさらなる利用促進に努めた。

また、水島港の国際バルク戦略港湾への選定に向けて、官民一体となって取り組んだ。

<協働の成果>

岡山県、倉敷市、製造業、貿易、港運等の関係者で構成する「水島港国際ナショナルトレード協議会」が、官民一体となって要望活動などに取り組んだ。



水深12m岸壁ケーソン設置状況



国土交通大臣への要望活動

3 代表的な取組(Ⅱ)

■ 高速道路等を活用した交流と連携の推進

- 中国横断自動車道岡山米子線の総社IC～賀陽IC間の4車線化整備が完了し、平成22年11月に供用開始した。これにより、鳥取県や島根県との広域的な交流と連携の促進が期待される。
- 国道429号の倉敷地域と総社地域間の全区間が、平成22年4月に4車線化され供用開始した。これにより、両地域の交流と連携の促進が期待される。
- 国道180号岡山西バイパスの側道部全線が平成23年3月に開通した。これにより、都市部の交通円滑化が期待される。



賀陽IC付近での4車線供用状況



国道429号倉敷～総社間の4車線供用状況



岡山西バイパスの供用状況

<協働の成果>

地元関係団体と連携して整備促進を働きかけ、早期供用開始を図った。

※道路建設課HP

http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=62

4 取り組むべき課題と対応方針

○新高梁川橋梁等の早期完成

新高梁川橋梁や玉島ハーバーアイランド水深12m岸壁等の早期完成に向けて、県としても最大限の協力を行う。

○高速道路等の整備

高速道路や日常生活に密着した道路の効率的な整備に努め、交流と連携の促進を図る。

5 総合評価

景気の低迷によって、夢づくり協働指標の一部に実績が厳しいものがあるが、道路、港湾等の交通・物流基盤整備などの重点施策を計画的・重点的に行うことにより、県民生活の利便性の向上や安全・安心の確保につながるよう取り組んでいる。

プログラム達成レベル

H19	H20	H21	H22	H23
3	3	3	3	

- 5 目標水準を大きく上回った
- 4 目標水準を上回った
- 3 概ね目標水準
- 2 目標水準を下回った
- 1 目標水準を大きく下回った

夢づくり政策評価シート

整理番号	308
担当部局	県民生活部

1 施策の概要

基本戦略	「産業と交流の岡山」の創造
戦略プログラム	ユビキタス実感プログラム
プログラムの概要	教育や医療・福祉、産業等、生活のあらゆる面でITの利活用が定着し、誰もが意識することなく自在にITを使いこなしているユビキタス社会の実現を目指して、次代を見据えたネットワークの高度利用を推進します。

2 夢づくり協働指標の進捗(達成)状況

指標名	単位	現況値	目標値	実績値					全国順位
				H19	H20	H21	H22	H23	
高画質な映像の送受信を可能とする無線スポット数 (指標の説明) 公共施設(空港、図書館等)及び民間施設(飲食店等)において、高速無線通信を可能とする拠点施設の増加を目指すもの	スポット	185	600	242	262	540	935		—
ICカード(非接触型)が利用できるスポット数 (指標の説明) ICカードを読み取り装置にかざすだけで簡単に決済等を行うことができる拠点(コンビニ、バス等)の増加を目指すもの	スポット	250	7000(800)	2,457	3,230	4,572	5,885		—

3 代表的な取組(I)

■ 新たなネットワーク構想の推進

誰もが、いつでも、どこでも、インターネットを利用できるユビキタス・ネットワーク環境の創出のため、外出先でも気軽にインターネットが利用できるよう、公共施設における無線LAN利用エリアの拡大を図った。

【新たに無線LANの利用エリアを拡大した公共施設】
真庭市役所(1階ロビー等)



無線スポット(真庭市役所内)



おかやまモバイルSPOTホームページアドレス
http://www.pref.okayama.jp/soshiki/detail.html?lif_id=92825

<協働の成果>

駅、空港、公民館等の公共施設や大学の他にも、ホテル、飲食店等への無線スポットの設置が民間事業者により進められており、無線LANサービスが、県民により身近なものとして広く利用され、ブロードバンドの普及と相まってユビキタス・ネットワーク環境が形成されつつある。

(参考数値)

ブロードバンドカバー率	H21	H22	増減
	99.5%	99.9%	0.4ポイント
ブロードバンド普及率	H21	H22年12月	増減
	57.5%	59.8%	2.3ポイント

3 代表的な取組(Ⅱ)

■ オンライン行政サービスの利用促進

無線LANスポットを利用した電子申請手続の体験会の開催や、市町村と協働して対象手続の拡大のための検討会等を開催した。

また、市町村等が電子入札を共同で実施するため、平成20年2月に岡山県電子入札共同利用推進協議会を設立し、平成22年度には早島町が新たに導入し、現在5市4町で運用中である。



電子申請ホームページの画面
ホームページアドレス
<http://www.enavi-okayama.jp/>



電子入札ホームページの画面
ホームページアドレス
<http://www.ebid-okayama.jp/>

<協働の成果>

電子申請システム等を市町村と共同利用することで、地域に根ざしたIT利活用を促進し、ユビキタス・ネットワーク社会を県民に実感してもらうことができた。

(参考数値)

県・市町村電子申請利用件数	H21	H22	増減
	52,907	70,492	17,585

4 取り組むべき課題と対応方針

○中山間地域等のIT基盤の整備促進

中山間地域を中心に、小規模なブロードバンド・ゼロ地域等が残存しており、これらの解消が今後の課題となる。また、本年7月に予定されている地上放送の完全デジタル化に向け、県民への周知広報等の取組を着実に推進する。

衛星ブロードバンド推進事業についてはモデル事業を継続し、モニターからの報告をもとに通信サービスの安定性を検証しながら、今後の活用方策の検討を行う。

○オンライン行政サービスの利用促進

電子申請の利用件数は大きく増加しているが、更なる利用拡大を図るため、「おかやま申請・届出総合ナビ」について、市町村との協働により、利用者の視点に立った対象手続の拡大や普及啓発活動に取り組む。

5 総合評価

ブロードバンド・ゼロ地域や携帯電話不感地域は概ね解消されつつあり、無線スポット数や電子申請利用件数も順調に増加している。地上デジタル放送への円滑な移行など更に取り組むべき課題はあるが、ユビキタス社会の実現を目指した取組の成果が着実に上がっている。

プログラム達成レベル

H19	H20	H21	H22	H23
4	4	4	4	

- 5 目標水準を大きく上回った
4 目標水準を上回った
3 概ね目標水準
2 目標水準を下回った
1 目標水準を大きく下回った

夢づくり政策評価シート

整理番号	309
担当部局	県民生活部

1 施策の概要

基本戦略	「産業と交流の岡山」の創造
戦略プログラム	まち・むら活性化プログラム
プログラムの概要	中山間地域の活力ある発展を図るため、地域の個性や特色を生かした主体的・自立的取組や都市との交流促進を支援します。また、魅力ある街づくりに向けて、中心市街地活性化の支援、賑わい拠点の整備、快適な歩行者用空間の形成等を推進します。

2 夢づくり協働指標の進捗(達成)状況

指標名	単位	現況値	目標値	実績値					全国順位
				H19	H20	H21	H22	H23	
★ 中山間地域で集落機能の再編・強化に取り組んでいる地域数	地域	13	30	—	13	15	21		—
(指標の説明) 中山間地域で集落機能の再編・強化等の取組がどの程度進んでいるかを表すもの									
まちやむらの活性化に取り組んでいる団体数	団体	202	260	231	242	259	267		2位 (H22)
(指標の説明) 地域で自主的・主体的に活動する地域づくり団体の増加を目指すもの									
農山漁村交流施設の利用者数	万人/年	128	140	139	140	134	97		—
(指標の説明) 農山漁村地域の発展、活性化のために参考となる都市と農山漁村の相互交流の促進度合いを示すもの									
宇野港寄港客船乗客数	人/年	600	5,000 (4,400)	4,167	4,990	3,650	3,457		—
(指標の説明) 客船の寄港地として、宇野港を利用する客船の乗客人数の増加を目指すもの									

3 代表的な取組(I)

■ 中山間地域の活性化

・ 集落機能の再編・強化の支援

小規模高齢化集落など集落としての機能が低下し単独での集落機能の維持が困難な集落について、小学校区、大字等の単位で新たな地域運営組織を設け、集落機能の維持・強化に取り組む地域を「おかやま元気！集落」として、その活動を支援したところ、住民意識の高まりや課題解決に向けた取組がはじまるなどの成果が得られた。

※小規模高齢化集落：高齢化率50%以上で戸数19戸以下の集落



子どもワークショップの様子

[地域の創意工夫を生かした取組事例]

「子どもワークショップ」:これからの地域づくりに子どもたちの視点を生かすことを目的に、地元の小中学生に地域で好きなところ、嫌いなところや、今後、自分の住む地域がどうなってほしいかという願いを発表してもらう取組を開催した。

・ 晴れの国ぐらしの魅力発信と交流・定住等の促進

官民協働による「岡山県交流・定住促進協議会議」と連携し、交流・定住フェアの開催や、ポータルサイト「おかやま晴れの国ぐらし」による情報発信などに取り組んだ。

また、地域に散在する空き家情報の掘り起こしを行うとともに、空き家情報流通システムにより、空き家情報の提供等を行った。



おかやま交流・定住フェア2010

<協働の成果>

集落機能の再編・強化に関する取組、交流・定住の促進に向けた活動等を通じて、県、市町村及び地元住民や民間団体との協働の取組が前進した。

おかやま晴れの国ぐらしHP: <http://okayama-inaka.jp/>

3 代表的な取組(Ⅱ)

■ 地域づくり団体の活動促進

- ・ 地域づくり団体等活動支援事業の活用促進
 地域づくり団体について、「地域づくり団体岡山県協議会」への登録を進め、「地域づくり団体全国協議会」が実施する地域づくり団体等活動支援事業の積極的な活用を促すなど、地域づくり団体に対する活動支援を行った。



- ・ 地域づくりポータルサイト“晴れの国づくりNET”の運用
 “晴れの国づくりNET”を通じて、地域づくり団体の活動状況や開催イベント情報を発信することにより、地域づくり団体間の情報交換や交流を促進し、地域づくり団体の活動を支援した。
 晴れの国づくりNET: <http://www.harenokuni.net/>

<協働の成果>

地域づくり団体の活動を支援するとともに、団体間の交流を活性化させ、地域づくり活動への県民の幅広い参加を進めることにより、協働による地域づくりが促進された。

(参考数値)

	H21	H22	増減
地域づくり団体数	259	267	8

4 取り組むべき課題と対応方針

○中山間地域の活性化

集落機能の再編・強化に取り組む地域(おかやま元気!集落)の状況などを情報発信するとともに、市町村と連携して地域の活動を積極的に支援し、地域の活動の中心となるリーダー等の育成に取り組む。また、交流・定住促進のために、交流・定住フェアや相談デスク等により、市町村や関係団体と連携しながらきめ細かな相談対応を行うとともに、住居の確保に向けて、空き家の掘り起こしやその情報提供に積極的に取り組む。

○公共交通の確保

公共交通は日常生活に欠かせない社会基盤であり、乗合タクシーなど地域に適した交通手段の維持・確保について、単県補助制度の「中山間地域生活交通確保事業」や国庫補助制度等を活用し、市町村や民間団体の主体的な取組を支援する。

5 総合評価

社会経済状況の変化等により、2指標については伸び悩んでいるものの、他の指標については順調に推移しており、市町村と連携しつつ、地元住民や民間団体等との協働による地域の活性化に向けた取組が進んでいる。

プログラム達成レベル

	H19	H20	H21	H22	H23
	3	3	3	3	
	5 目標水準を大きく上回った 4 目標水準を上回った 3 概ね目標水準 2 目標水準を下回った 1 目標水準を大きく下回った				

夢づくり政策評価シート

整理番号	310
担当部局	県民生活部

1 施策の概要

基本戦略	「産業と交流の岡山」の創造
戦略プログラム	国際化プログラム
プログラムの概要	多様な主体による本県の特性を生かした国際貢献や様々な分野の国際交流の取組を支援するとともに、在住外国人が安心して暮らし、いきいきと活躍できる社会づくりを進めます。また、県内企業の海外事業展開の支援など経済国際化を推進します。

2 夢づくり協働指標の進捗(達成)状況

指標名	単位	現況値	目標値	実績値					全国順位	
				H19	H20	H21	H22	H23		
地域共生サポーターの数	人	0	180 (120)	78	99	121	146		—	
(指標の説明) 地域と在住外国人とのパイプ役となるボランティアの育成を目指すもの										
国際救援物資備蓄事業参加者・団体数	人・団体	927	1,600 (1,520)	1,113	1,244	1,343	1,437		—	
(指標の説明) 広く県民等の協力を得て救援物資の備蓄を行うもの										
貿易額	億円/年	23,134	31,600	35,244	42,216	22,400	27,860		—	
(指標の説明) 海外との経済活動の活発化を目指すもの										

3 代表的な取組(I)

■世界に開かれた国際活動の推進

・友好提携地域等とのパートナーシップ交流の推進

平成22年11月に開催された国民文化祭に合わせ、韓国・慶尚南道からM&S舞踊団(韓国伝統舞踊団)・固城農謡保存会、中国・江西省から江西省雑技団、オーストラリア・南オーストラリア州からThe Baker Suiteを招き、公演を行うとともに、インドを含めた友好提携地域の文化を広く県民に紹介する「おかやま国際文化交流フェスティバル」を開催した。

また、韓国・慶尚南道とは高校生訪問団の派遣及び岡山県紹介展の開催を通じて、インド・マハーラシュトラ州地域(プーネ市)とは訪問団の相互派遣及び友好提携5周年事業の実施を通じて、ブラジル及びアルゼンチンとは訪問団の派遣を通じて、それぞれ交流を深めた。

〈演技を披露する江西省雑技団〉

・国際救援活動の推進

県民の協力の下、毛布など8品目の救援物資を備蓄し、ニュージーランド地震等の被災地に、AMDA国際福祉事業団等を通じて提供した。(貯水用タンク・毛布)

〈協働の成果〉

おかやま国際文化交流フェスティバルなどを通じて友好交流提携地域等との交流を深めることができた。また、県民、NGO等と連携・協働して国際救援物資の備蓄を進め被災地に提供することにより、岡山発の国際貢献活動の成果を上げることができた。



(参考数値)

国際救援物資備蓄事業参加者・団体数	H21	H22	増減
	1,343	1,437	94
	人・団体	人・団体	人・団体

3 代表的な取組(Ⅱ)

■経済のグローバル化への対応 ・海外ビジネス展開の支援

関係団体との連携により、「中国国際工業博覧会」に出展し、県内企業の技術・製品を展示するとともに、現地企業との商談の機会を提供した。また、「岡山県ものづくり中国進出企業商談会」を開催し、中国に進出した県内企業に対し現地の日系大手企業との商談の機会を提供した。

1 「中国国際工業博覧会」

- (1) 開催日 平成22年11月9日～13日
- (2) 開催地 中国上海市
- (3) 出展企業数 8社

2 「岡山県ものづくり中国進出企業商談会」

- (1) 開催日 東京都：平成22年12月8日
中国上海市：平成23年1月13日
- (2) 開催地 東京都、中国上海市
- (3) 参加企業数 東京都：14社、中国上海市：15社



商談の様子

〈協働の成果〉

県内企業の技術力やニーズを熟知している(財)岡山県産業振興財団と連携し、博覧会に岡山県共同ブースを設置するとともに、商談会の応談企業を集めるなど、県内企業の販路の新規開拓や拡大を支援した。

4 取り組むべき課題と対応方針

○世界に開かれた国際活動の推進

社会のグローバル化の進展、在住外国人の増加など本県の国際化を取り巻く状況は大きく変化しており、本年3月に策定した「新おかやま国際化戦略プラン」に基づき、すべての人が能力を發揮できる多文化共生社会づくりを進め、県民、NGO・NPO等多様な主体と連携・協働しながら、国際貢献・国際交流活動など本県の国際化に関する施策を総合的、重点的かつ計画的に推進する。また、国際化施策に対する県民の理解と関心を深めるため、広報等に努める。

○経済のグローバル化への対応

県内企業の国際化戦略やニーズを踏まえ、適確かつ効果的な支援を行うことが求められている。特にアジア地域については販路開拓や拡大に取り組む県内企業が増えていることから、関係機関と連携を図りながら、きめ細かな支援を行う。また、海外での県産農林水産物のブランド化を推進するため、高品質な果物を核に、東アジア地域等での地位確立を目指した取組を引き続き進める。

5 総合評価

県民、NGO・NPO等民間団体と連携・協働した国際貢献・国際交流活動や多文化共生社会づくりの取組、経済のグローバル化への対応等が着実に進んだ。

プログラム達成レベル				
H19	H20	H21	H22	H23
4	4	4	4	
5 目標水準を大きく上回った 4 目標水準を上回った 3 概ね目標水準 2 目標水準を下回った 1 目標水準を大きく下回った				

夢づくり協働指標一覧

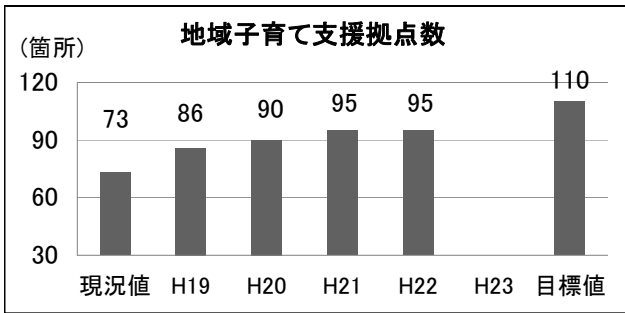
(参考資料)

基本戦略	戦略プログラム		所管部局	頁
「教育と人づくりの岡山」の創造	101	子育て支援プログラム	保健福祉部	1
	102	子ども教育プログラム	教育庁	1
	103	青少年プログラム	県民生活部	2
	104	生涯学習プログラム	教育庁	3
	105	人権プログラム	県民生活部	3
	106	男女共同参画プログラム	県民生活部	4
	107	文化プログラム	環境文化部	4
	108	国民文化祭プログラム	環境文化部	5
	109	スポーツプログラム	環境文化部	5
	110	パートナーシッププログラム	県民生活部	6
「安全・安心の岡山」の創造	201	安全・安心まちづくりプログラム	県民生活部	6
	202	暮らしと交通の安全プログラム	警察本部	6
	203	災害対策・危機管理プログラム	危機管理監	7
	204	自主防災プログラム	危機管理監	8
	205	健康・医療プログラム	保健福祉部	8
	206	福祉プログラム	保健福祉部	9
	207	ユニバーサルデザインプログラム	県民生活部	9
	208	水と緑プログラム	環境文化部	10
	209	地球環境プログラム	環境文化部	11
	210	都市・農村景観プログラム	環境文化部	12
「産業と交流の岡山」の創造	301	地域産業プログラム	産業労働部	12
	302	新産業プログラム	産業労働部	12
	303	戦略的企業立地プログラム	産業労働部	13
	304	観光プログラム	産業労働部	13
	305	農林水産業プログラム	農林水産部	13
	306	就労プログラム	産業労働部	14
	307	交通基盤プログラム	土木部	15
	308	ユビキタス実感プログラム	県民生活部	15
	309	まち・むら活性化プログラム	県民生活部	16
	310	国際化プログラム	県民生活部	16

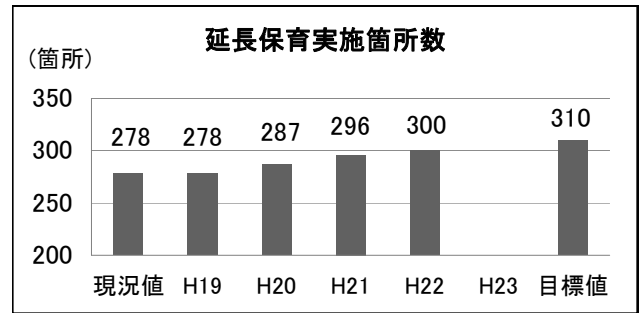
I 「教育と人づくりの岡山」の創造

整理番号：101 子育て支援プログラム

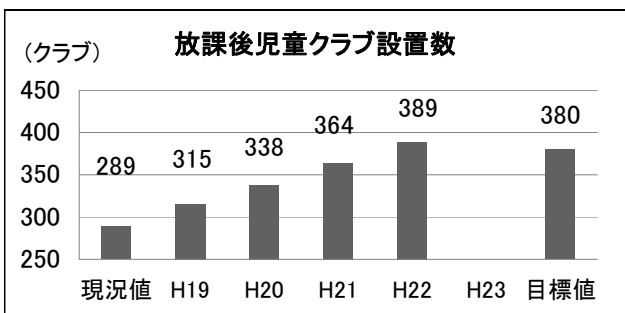
所管部局：保健福祉部



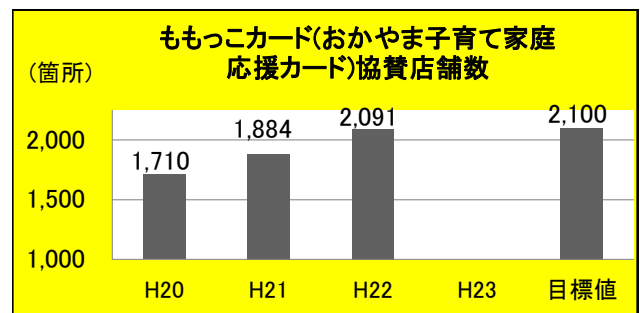
子育て中の親子が集まって情報交換や交流をしたり育児相談ができる地域の子育て支援拠点の数を表すもの



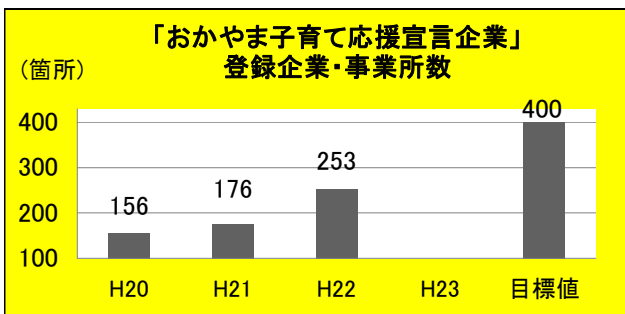
開所時間を延長し、保護者の就労時間、通勤時間など実情に応じた延長保育を実施している保育所数を表すもの



児童館・児童センター、保育所や学校の空き教室等地域住民に最も身近な社会資源を利用して、昼間保護者のいない小学校低学年児童に対し、育成・指導・遊びによる発達助長などのサービスを行う児童クラブの設置数を表すもの



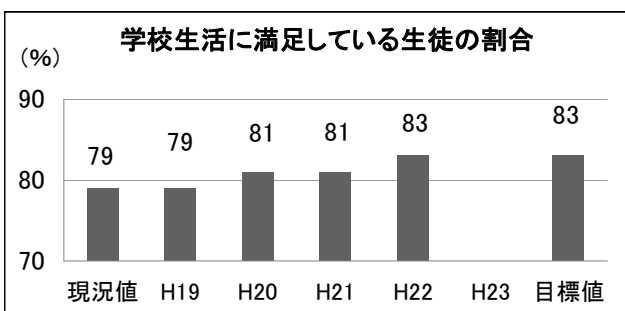
妊娠中の者及び小学校6年までの児童を持つ家庭を対象に、カードを交付し、そのカードを協賛企業等に提示することにより、協賛企業独自の子育て支援サービスが受けられる制度で、その協賛店舗数を表すもの



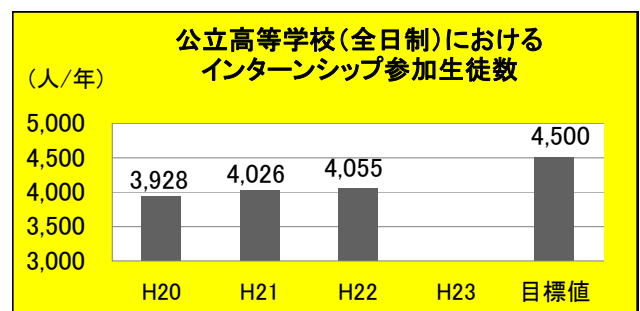
雇用する従業員の子育てや地域の子育てを応援することなどを宣言し県が登録した企業の数を表すもの

整理番号：102 子ども教育プログラム

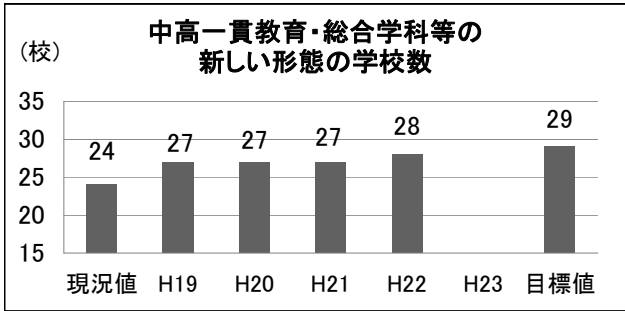
所管部局：教育庁



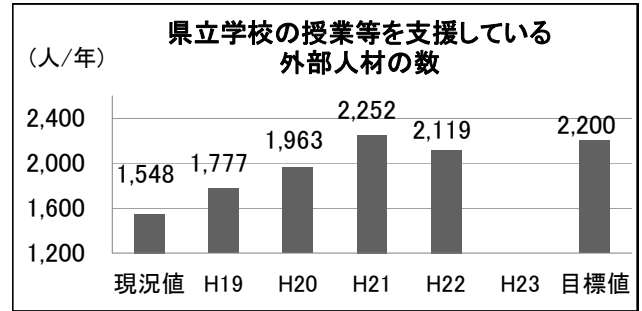
学校生活に満足している高校生の増加を目指すもの



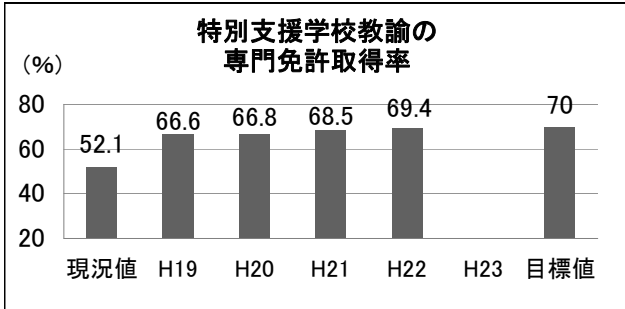
地域の企業等と連携して、生徒の勤労観、職業観の育成を目指すもの



学校教育における子どもの選択肢の拡大を目指すもの



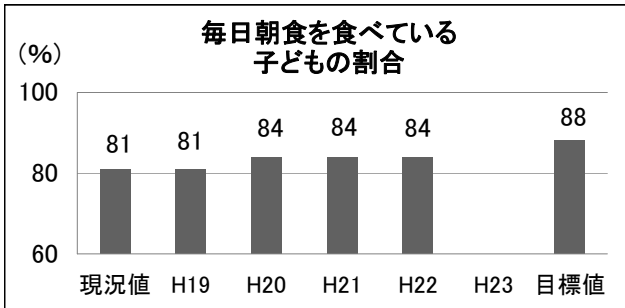
児童生徒の確かな学力の向上を目指すもの



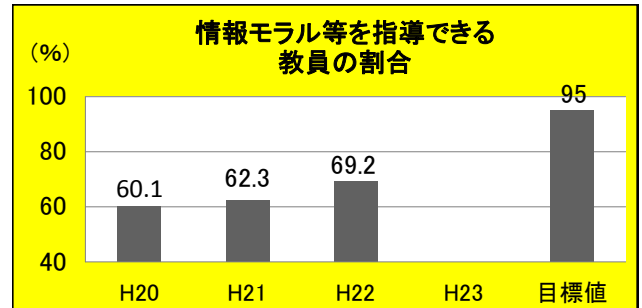
特別支援学校教諭の該当領域の教員免許の取得率向上により、専門性の高い教育を目指すもの

整理番号：103 青少年プログラム

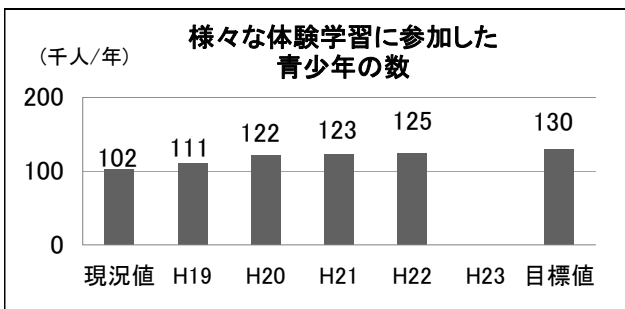
所管部局：県民生活部



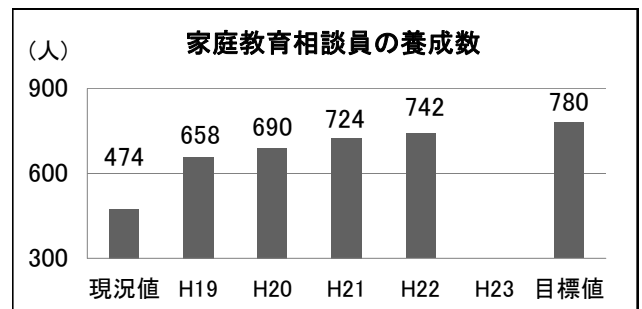
子どもたちの望ましい食習慣の確立を目指すもの



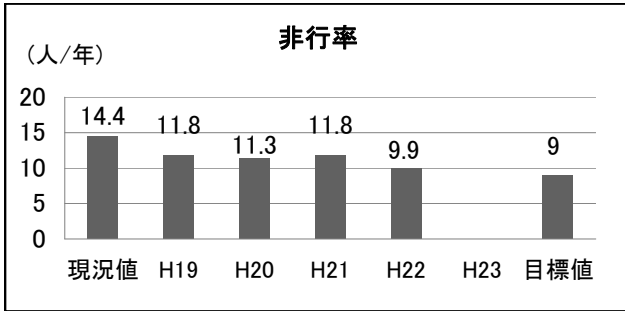
ICT活用指導力に関する調査において「わりにできる」又は「ややできる」と答えた教員の割合を示すもの(※H23年3月実施の岡山県独自調査では、80.6%)



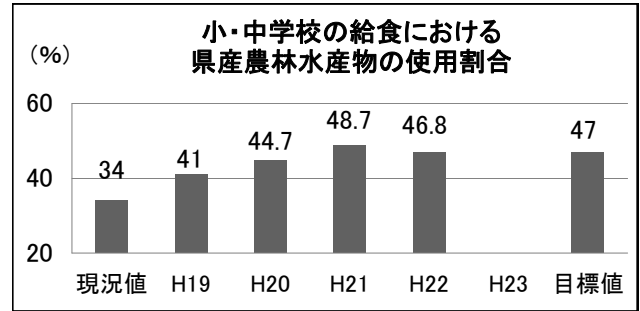
子どもたちの豊かな心や健やかな成長の促進を目指すもの



家庭教育の在り方について、様々な場面で相談に乗ることができる人材の育成を目指すもの



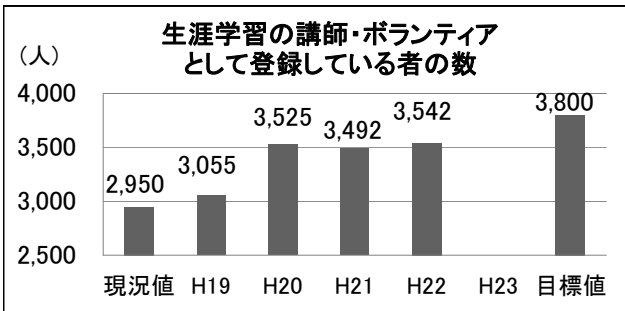
少年人口(10歳～19歳)の千人あたりに占める刑法犯で検挙・補導される少年の割合(非行率)の減少を目指すもの



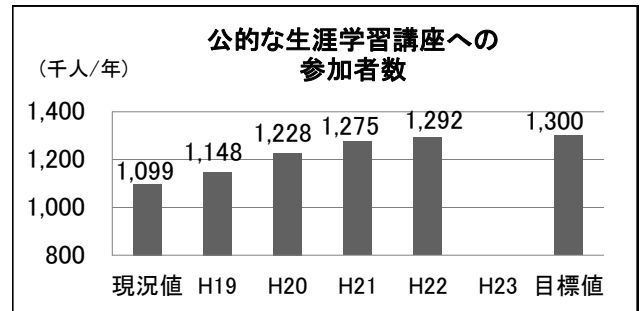
学校給食への地場産物の活用を通して、子どもの食育の推進を目指すもの

整理番号：104 生涯学習プログラム

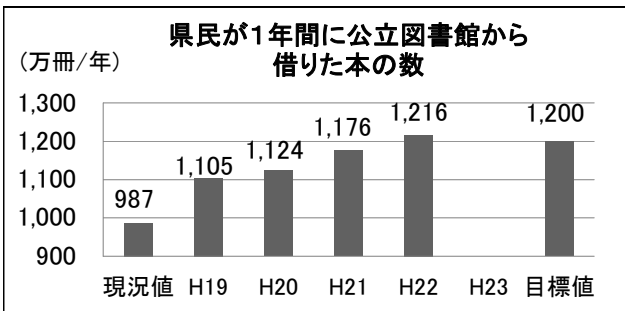
所管部局：教育庁



学習機会の充実などの環境づくりがどの程度広がりを見せているか表すもの



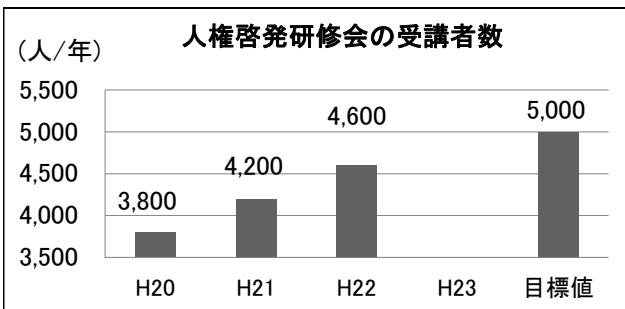
多様な学習活動への参加者が、増加することを目指すもの



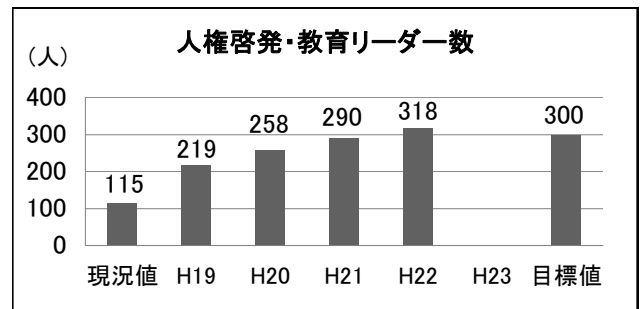
学習拠点としての公立図書館の、県民利用者の増加を目指すもの

整理番号：105 人権プログラム

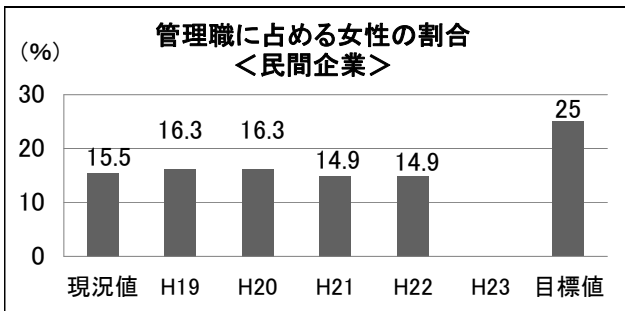
所管部局：県民生活部



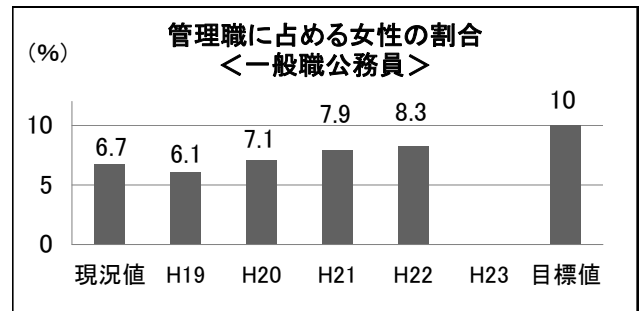
様々な人権課題をテーマにした人権啓発研修会や講演会等の受講者数を増やし、人権に関する意識の高揚を目指すもの



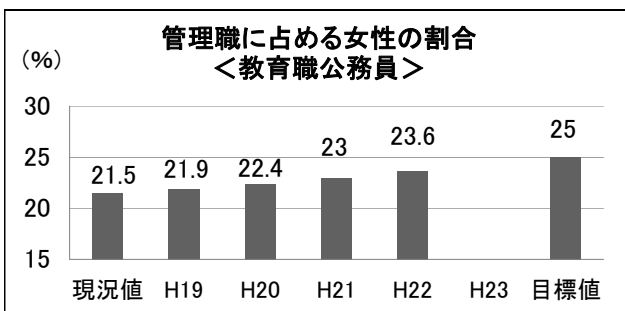
人権啓発・教育活動を一層推進するため、講師、助言者等として人権啓発・教育活動に取り組むリーダーの養成を目指すもの



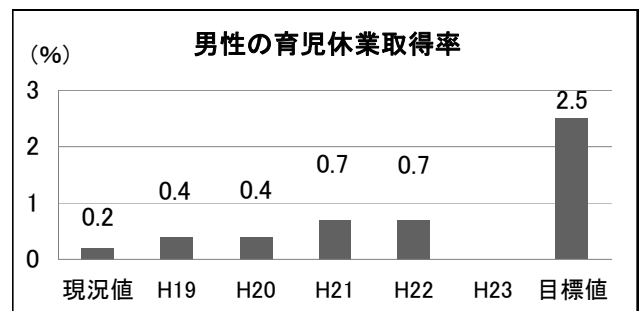
係長職以上に就いている女性の割合を増やし、企業の方針等の決定過程への参画促進を目指すもの



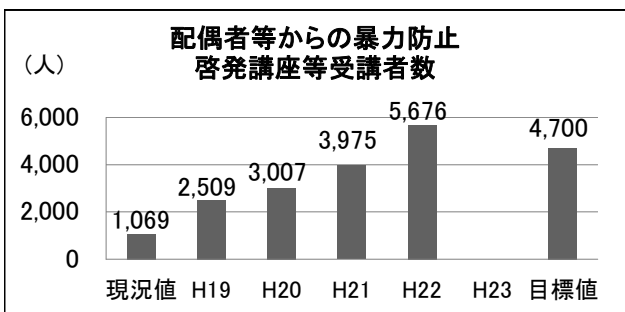
県と市町村の一般職公務員で管理職に就いている女性の割合を増やし、行政分野の政策等決定過程への参画促進を目指すもの



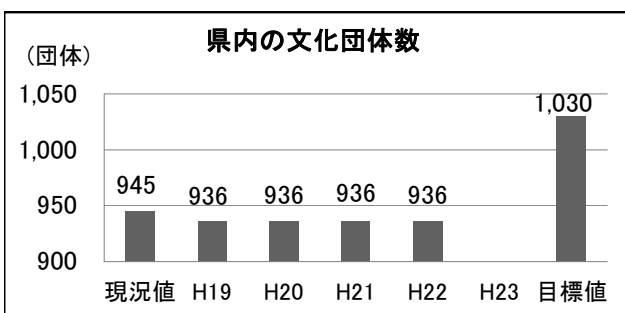
校長職等に就いている女性の割合を増やし、教育方針等決定過程への参画促進を目指すもの



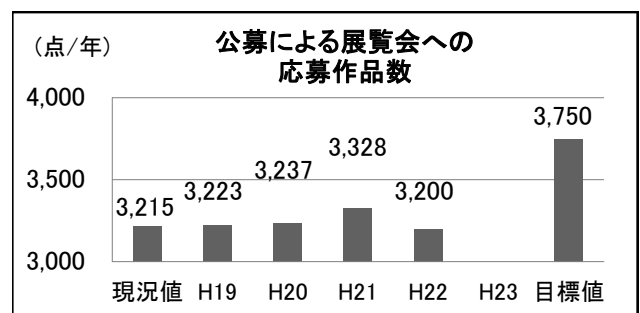
子育てと仕事が両立でき、男女がともに出産・子育てがしやすい職場づくりを目指すもの



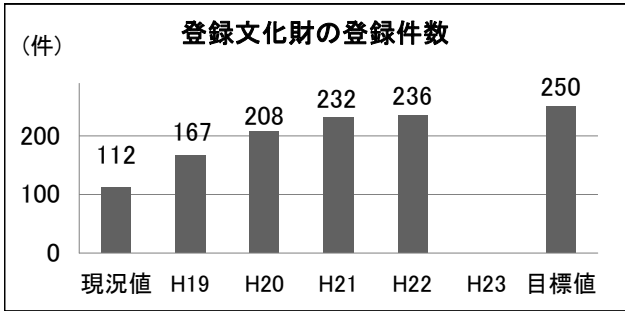
重大な人権侵害であるDVへの認識を広め、暴力を許さない環境づくりを目指すもの



県民の主体的な文化活動が活発に行われていることを示す一つの指標として、文化団体の団体数の増加を目指すもの



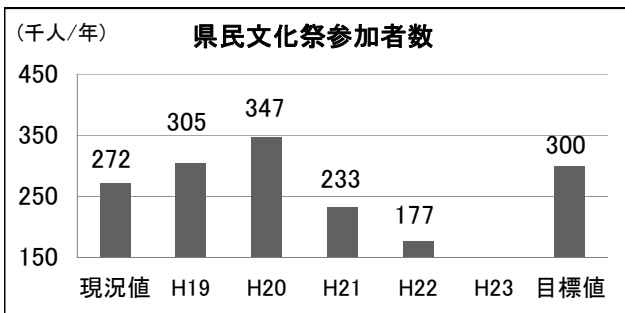
県民が自ら芸術文化の創造に活発に取り組んでいることを示す一つの指標として、県内最大の公募展である岡山県美術展覧会への応募作品数の増加を目指すもの



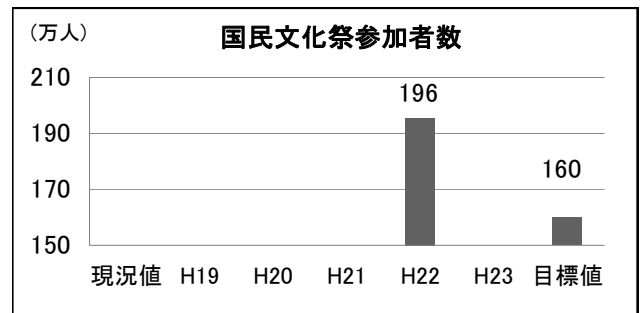
後世に幅広く継承する文化財建造物等の件数の増加を目指すもの

整理番号：108 国民文化祭プログラム

所管部局：環境文化部



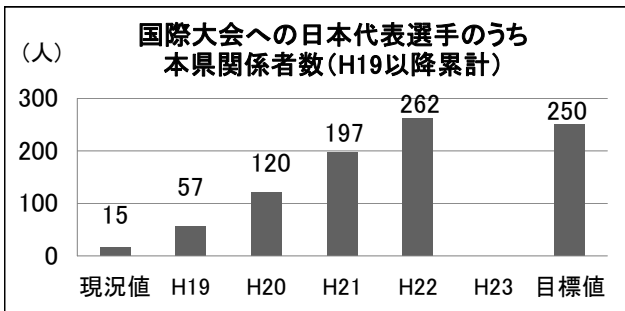
国民文化祭に向けて、県民文化祭への参加者を広げ、一層の気運の醸成を目指すもの



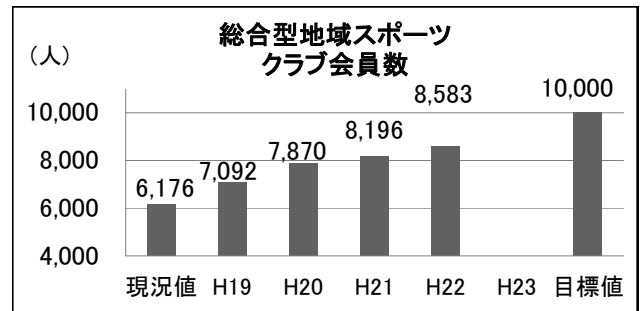
県民総参加の国民文化祭を目指すもの

整理番号：109 スポーツプログラム

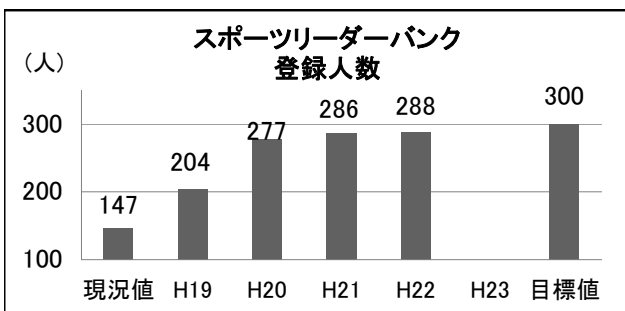
所管部局：環境文化部



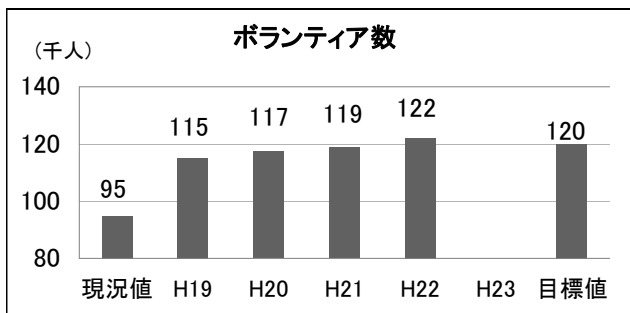
国際大会へ出場する日本代表選手のうち、本県関係者を5年間で250人輩出することを目指すもの



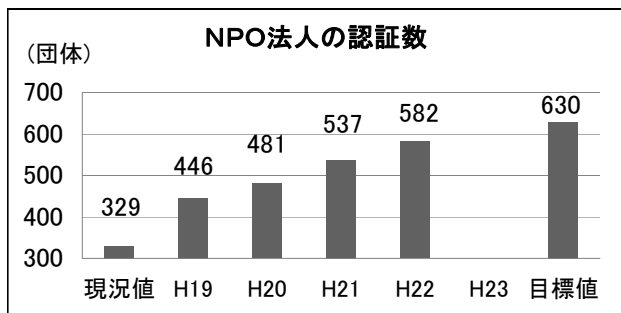
気軽にスポーツを楽しむことのできる総合型地域スポーツクラブの会員数の増加を目指すもの



スポーツ振興を図るため、専門資格を持つ指導者等のバンクへの登録者数の増加を目指すもの

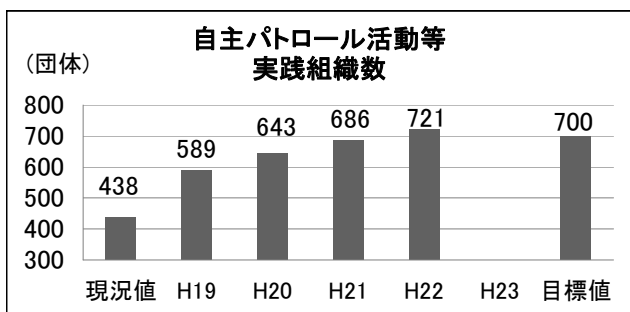


ボランティア活動がどの程度多くの人に担われているかを表し、ボランティア活動実践者の増加を目指すもの

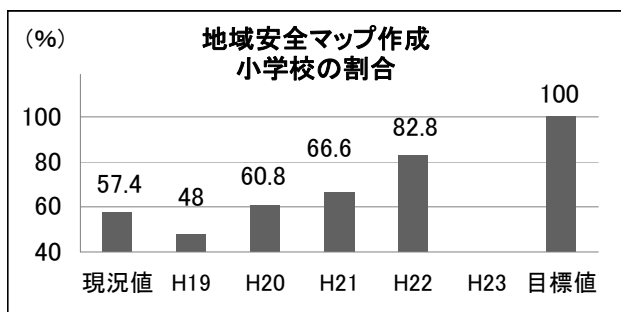


地域づくりの主体としてパートナー社会の構築に大きな役割を持っているNPO法人の認証数の増加を目指すもの

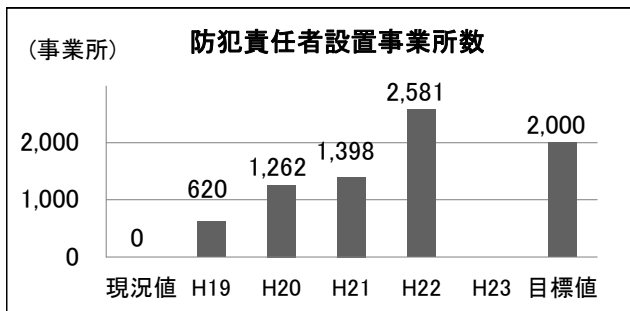
II 「安全安心の岡山」の創造



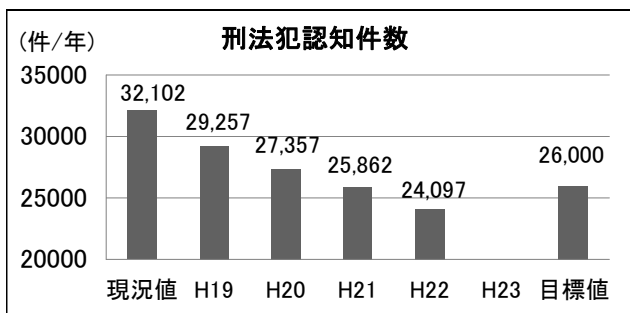
活動団体が無い160小学校区の解消に加え、100団体の増加を目指すもの



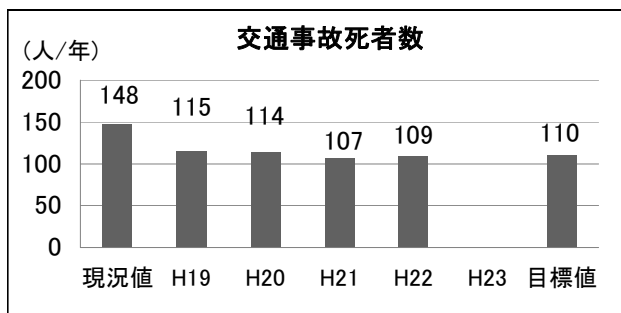
子どもたちが犯罪被害に遭わないよう、全小学校で地域安全マップの作成を目指すもの



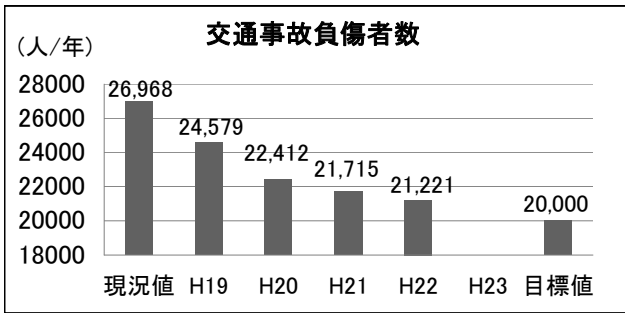
金融機関、コンビニエンスストアを中心に各事業所ごとの防犯責任者設置を目指すもの



犯罪対策等の推進により、県内の刑法犯罪の減少を目指すもの



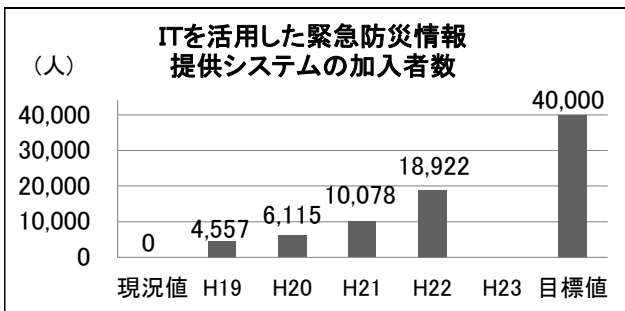
交通安全対策等の推進により、交通事故で亡くなる方の減少を目指すもの



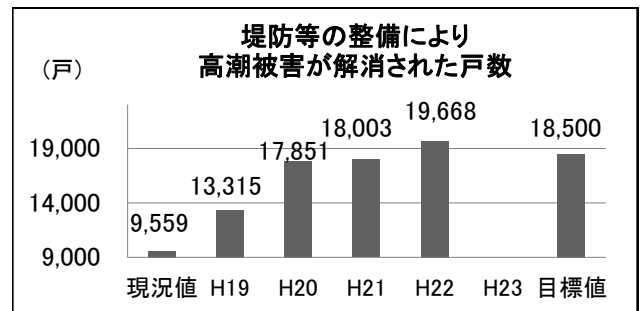
交通安全対策等の推進により、交通事故で負傷される方の減少を目指すもの

整理番号：203 災害対策・危機管理プログラム

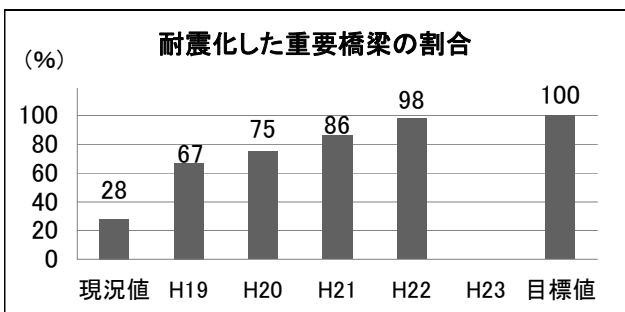
所管部局：危機管理監



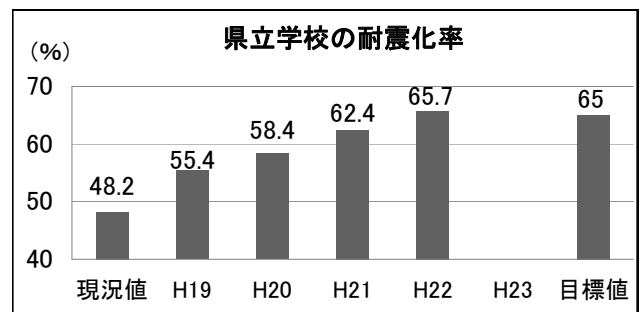
防災情報を県民の携帯電話などにメール配信し、災害への適切な対応を目指すもの



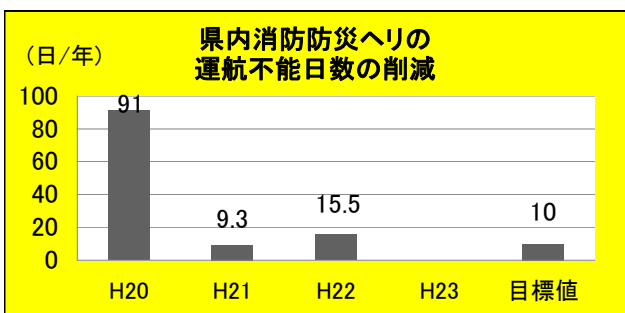
高潮対策事業の進展により高潮被害が解消される戸数の増加を示すもの



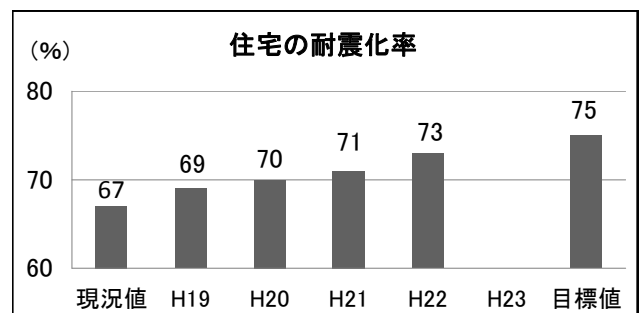
緊急輸送道路等の橋梁の耐震化を目指すもの



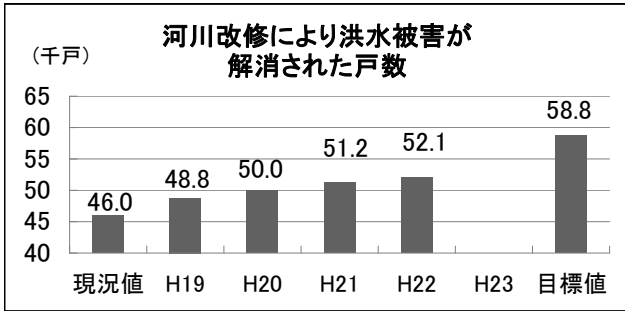
生徒等の安全・安心の確保、災害発生時の地域住民の避難場所として、安全性の向上を目指すもの



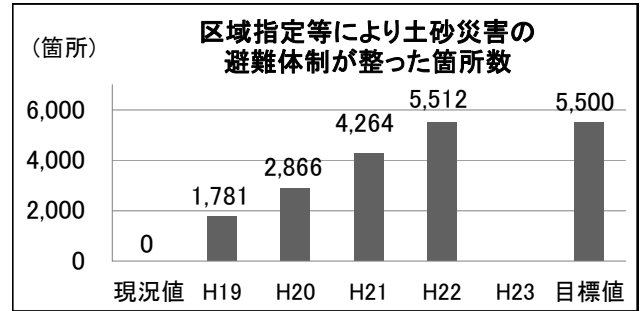
定期検査等により生じる運行不能日を減少させることにより、消防・防災体制の整備をはかるもの



地震による人的被害及び経済的被害の軽減を目指すもの



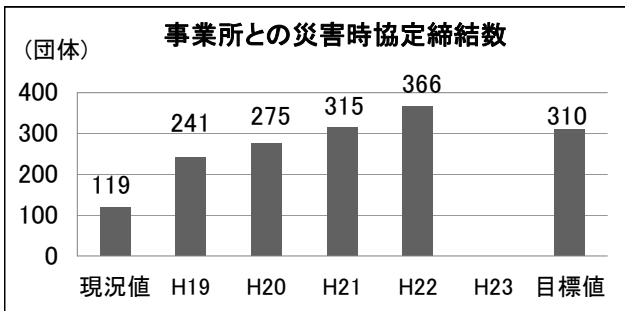
河川改修により洪水被害の解消される戸数の増加を目指すもの



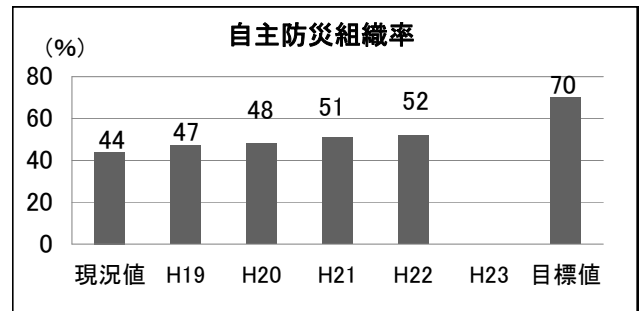
土砂災害発生の恐れのある箇所を明らかにし、市町村による避難体制の整備を促進するもの

整理番号：204 自主防災プログラム

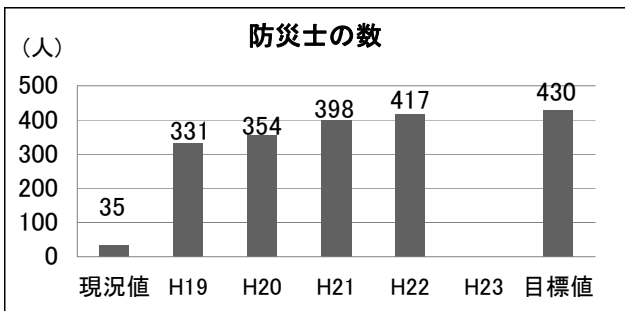
所管部局：危機管理監



県・市町村と事業所との災害時協力協定締結団体の増加を目指すもの



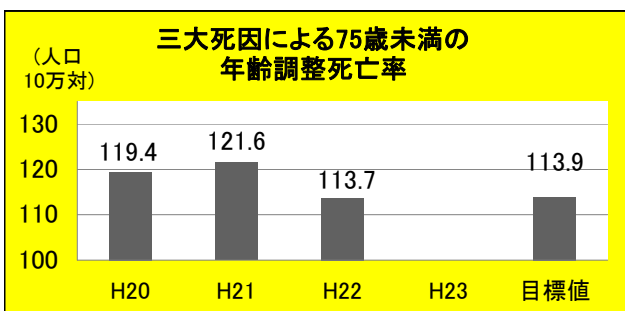
地域防災の担い手である自主防災組織の増加を目指すもの



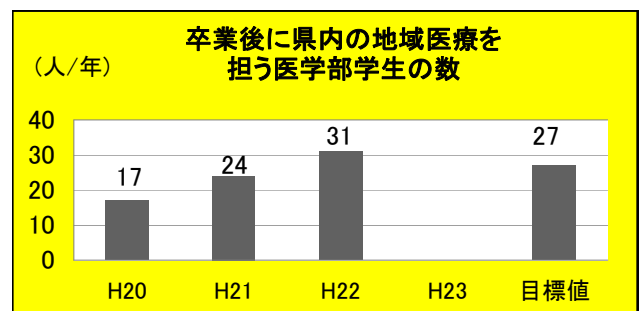
地域防災力向上のための活動が期待される防災士の認定者数の増加を目指すもの

整理番号：205 健康・医療プログラム

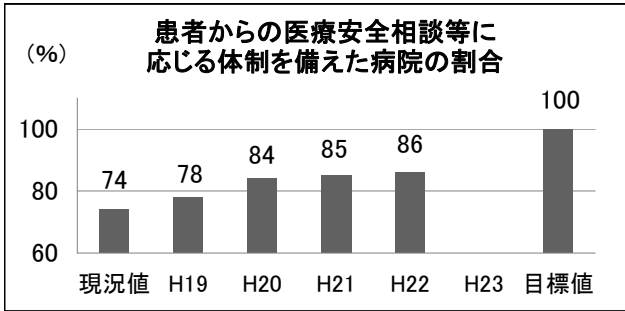
所管部局：保健福祉部



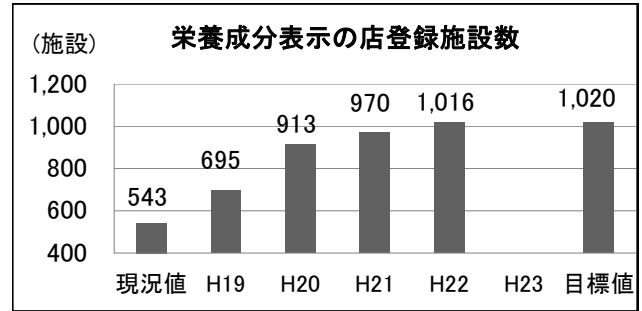
高齢化の影響を補正した、がん、心疾患、脳血管疾患による死亡率であり、県民の健康づくりがどの程度すすんでいるかを表すもの



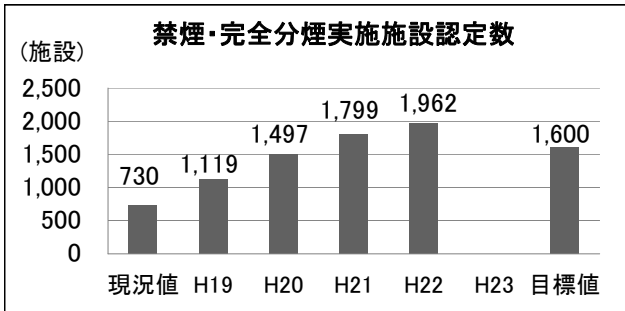
卒業後に一定期間、地域医療を担うことが約定されている医学部の学生数を表すもの



県内の病院が、自主的かつ積極的に医療の安全と安心の構築に取り組む一環として、設置を進めるもの



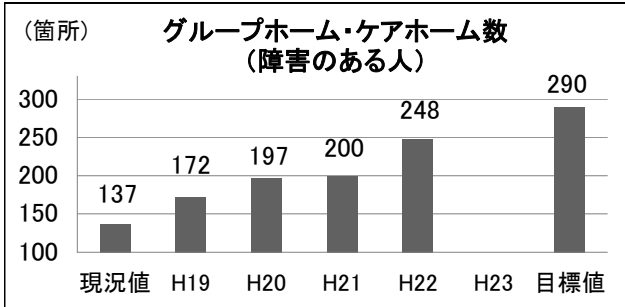
県民の健康づくりの意識(特に栄養・食生活分野)がどの程度進んでいるかを表すもの



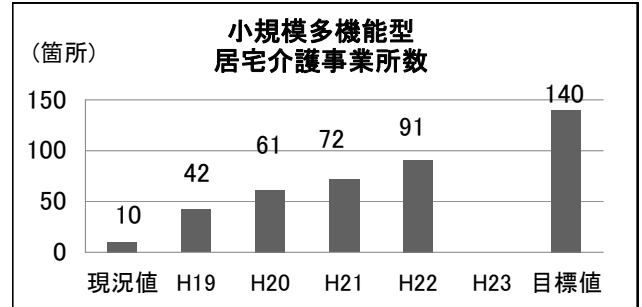
県民の健康づくりの意識(特にたばこ分野)がどの程度進んでいるかを表すもの

整理番号：206 福祉プログラム

所管部局：保健福祉部



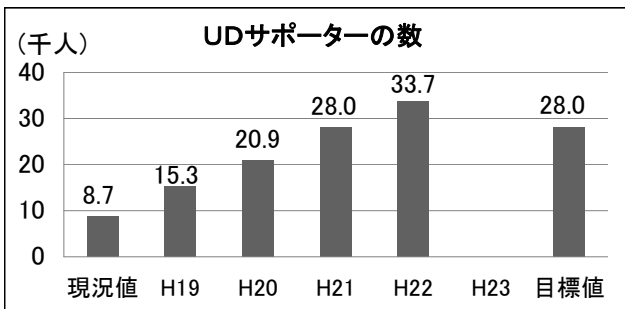
障害のある人が、施設入院・入所から地域へ移行していくための受け皿の充足度を表すもの



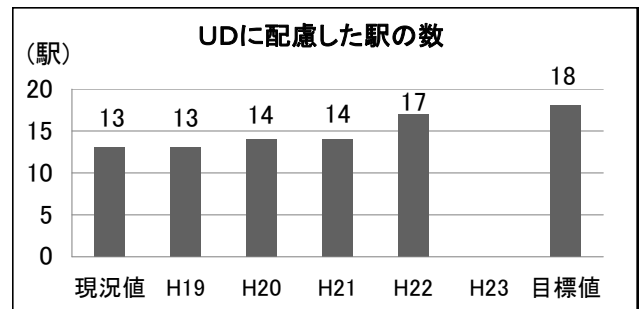
認知症などの介護を要する高齢者が可能な限り自宅や地域で暮らすことができるよう支援するサービスがどの程度整備されているかを表すもの

整理番号：207 ユニバーサルデザイン(UD)プログラム

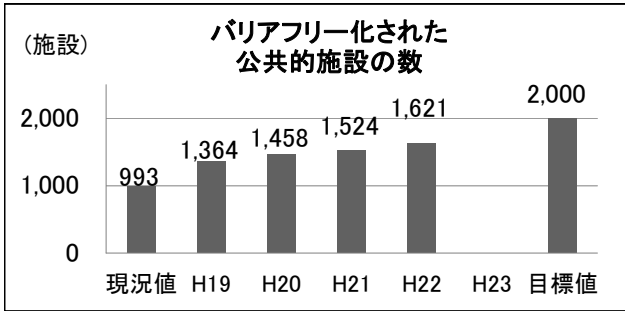
所管部局：県民生活部



UDの考え方に賛同し、UD推進に主体的に参加する人の増加を目指すもの



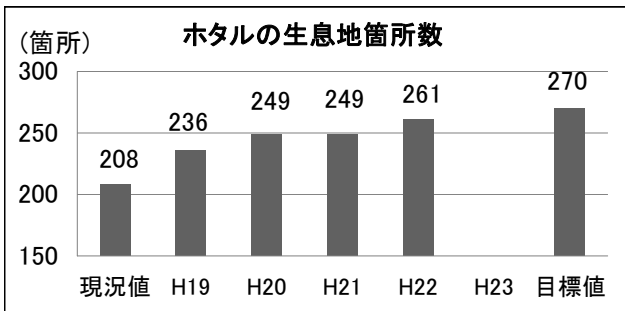
利用者が5,000人/日以上全ての駅をUDI化することを目指すもの



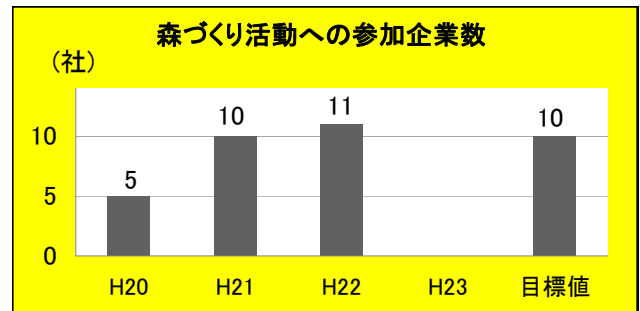
福祉のまちづくり条例に基づく届出・協議により、バリアフリー化された公共的施設の増加を目指すもの

整理番号：208 水と緑プログラム

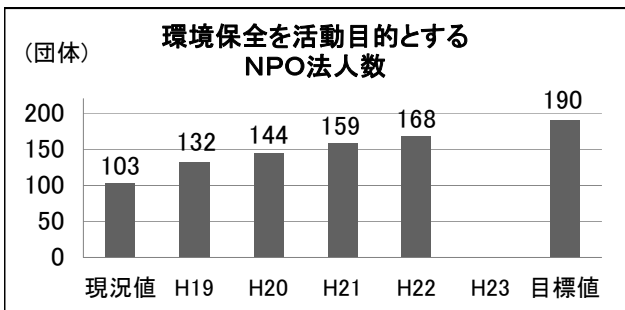
所管部局：環境文化部



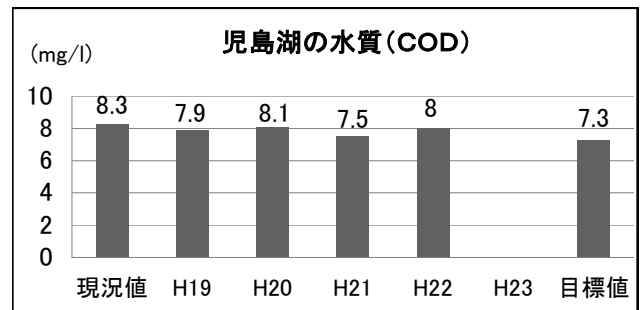
川の清流保全を推進することにより、ホテルの生息地箇所の増加を目指すもの



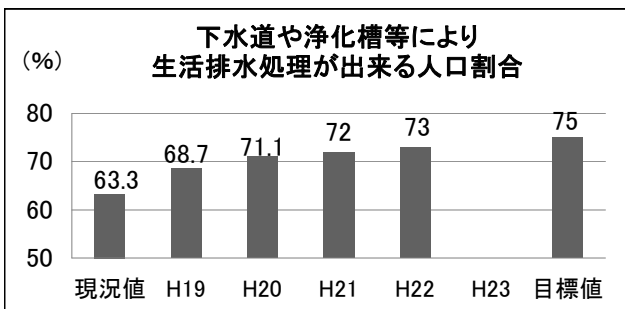
企業の森林保全活動への参画を促進するもの



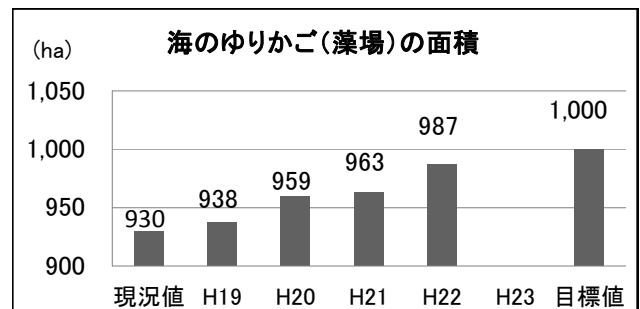
活動目的に環境保全を挙げているNPO法人の認証数の増加を目指すもの



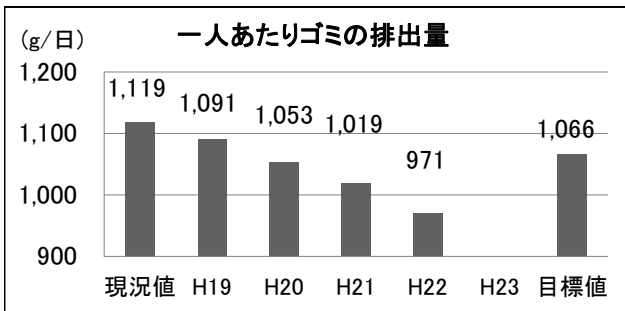
児島湖の再生を推進することにより、代表的な水質である化学的酸素要求量の改善を目指すもの



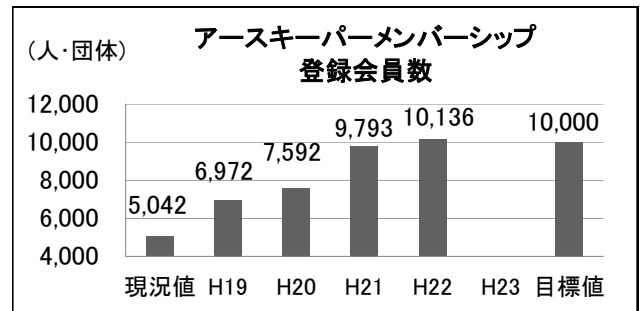
下水道、集落排水、合併処理浄化槽により生活排水処理できる人口割合の増加を目指すもの



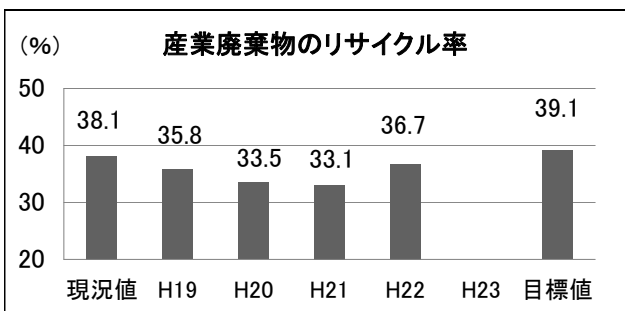
水産資源の回復や海域環境の改善のため、魚介類の成育や水質の浄化にとって重要な海のゆりかご(藻場)の回復を目指すもの



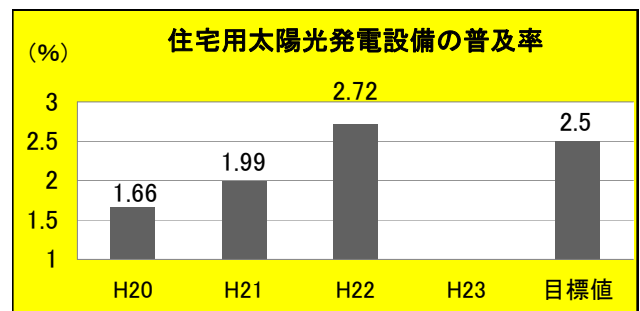
各家庭や事業所から排出される一般廃棄物の削減を目指すもの



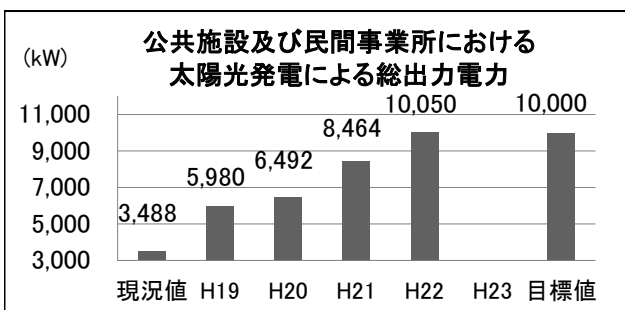
地球温暖化防止のため、自ら環境への影響を減らす取組を継続的に行う人たちの会員登録数の増加を目指すもの



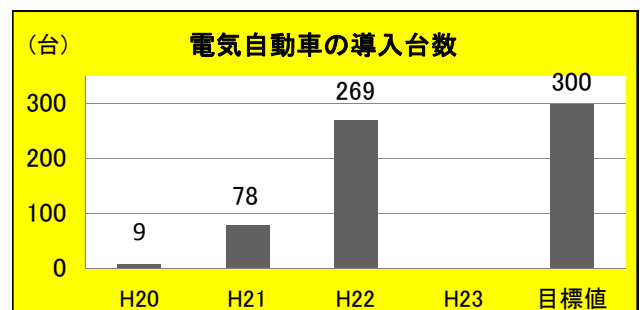
循環型社会の形成のため、産業廃棄物のリサイクル率の向上を目指すもの



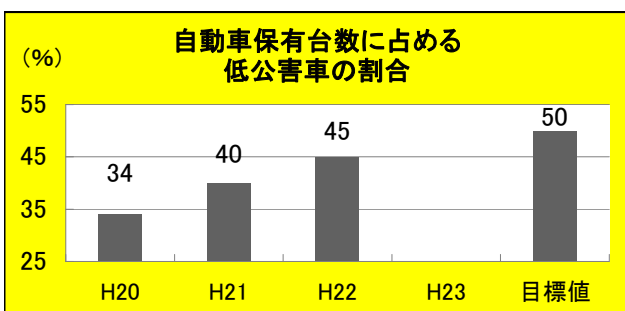
住宅用太陽光発電設備の普及率の向上を目指すもの



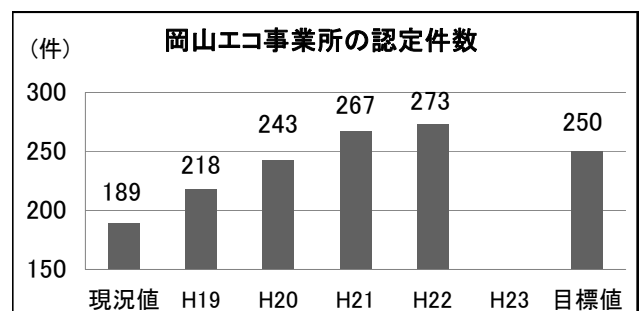
県内の公共施設及び民間事業所に設置された太陽光発電設備(10kW以上)の出力電力の増加を目指すもの



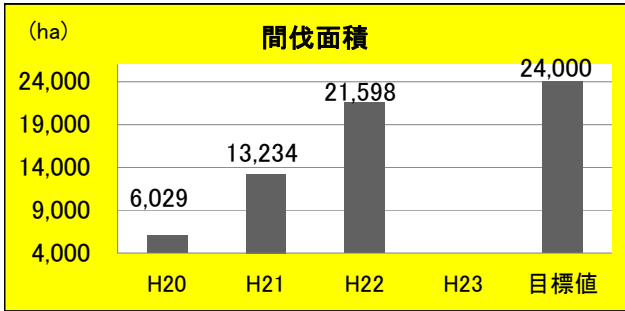
電気自動車の導入台数の増加を目指すもの



環境に配慮した低公害車の割合の向上を目指すもの



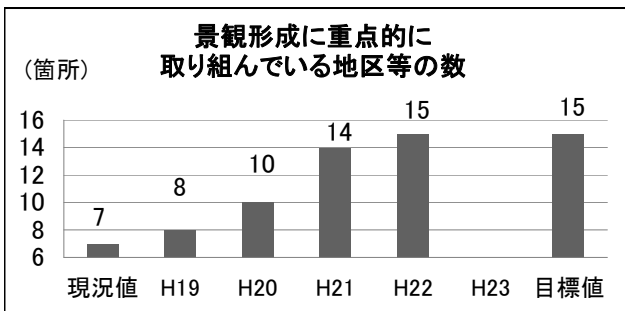
グリーン調達やゼロエミッションに積極的に取り組む環境にやさしい県内事業者の増加を目指すもの



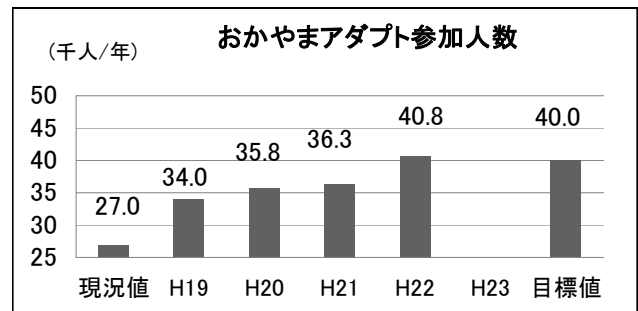
「地球温暖化防止間伐推進5カ年計画(H20～24)」に基づき間伐面積の増加を目指すもの

整理番号：210 都市・農村景観プログラム

所管部局：環境文化部



県、市町村が景観形成に重点的に取り組む地区を景観計画等に位置づけ、施策を推進するもの

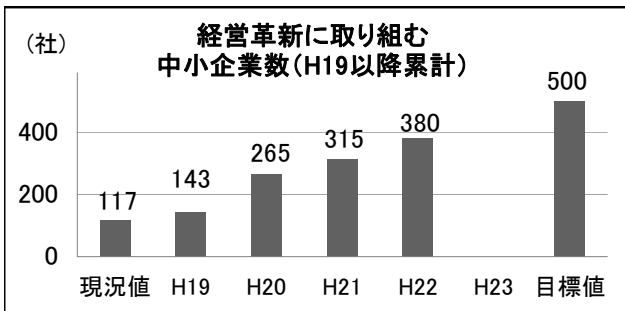


県管理の道路、河川等の定期的な清掃、緑化活動等を行う「おかやまアダプト事業」への参加者数の増加を目指すもの

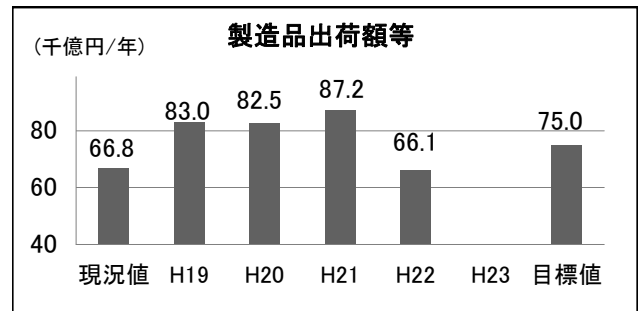
Ⅲ 「産業と交流の岡山」の創造

整理番号：301 地域産業プログラム

所管部局：産業労働部



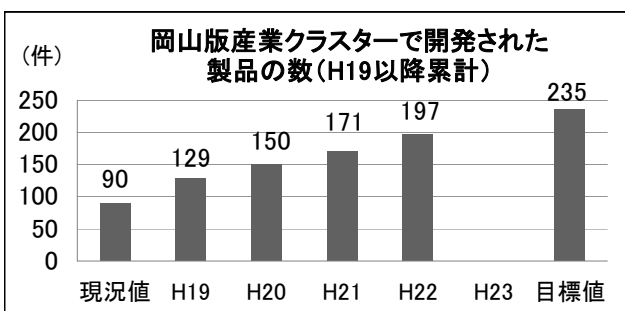
新商品や新サービスの開発等を行う経営革新計画の策定を行った中小企業の数



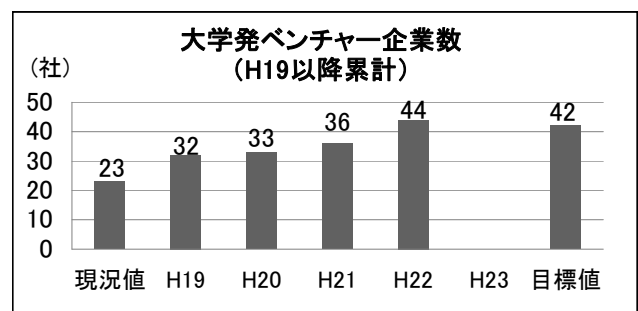
県内製造業の出荷額等の状況

整理番号：302 新産業プログラム

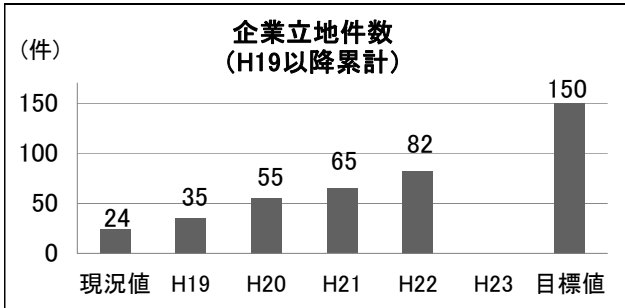
所管部局：産業労働部



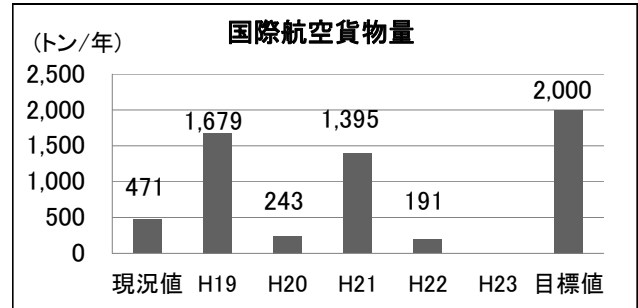
産学官連携組織(産業クラスター)で開発された新製品・新技術の数



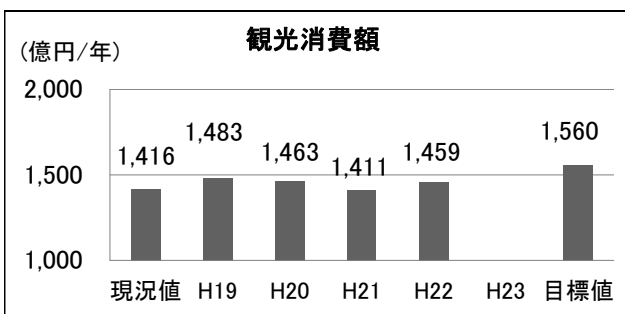
県内大学・高専の研究成果や特許等に基づく起業、又は大学等教職員・学生の人材移転による起業を行ったベンチャー企業の数



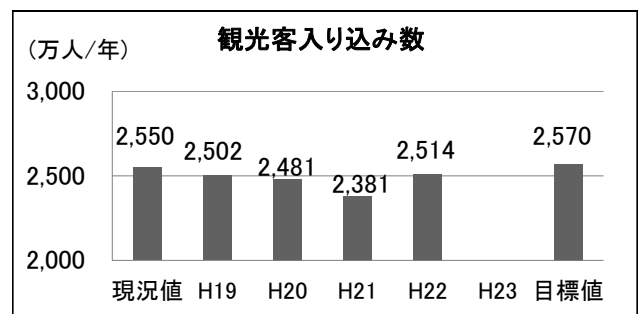
県内への企業立地促進を目指すもの(累計)



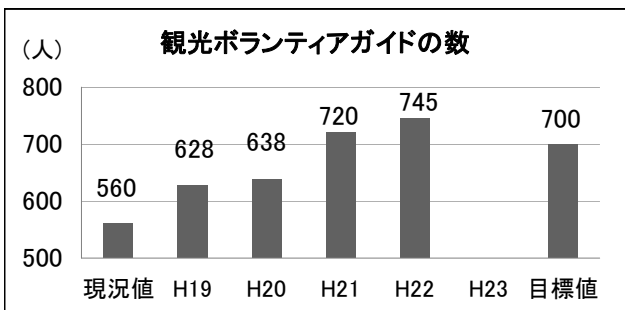
物流拠点としての岡山空港の利用促進を目指すもの



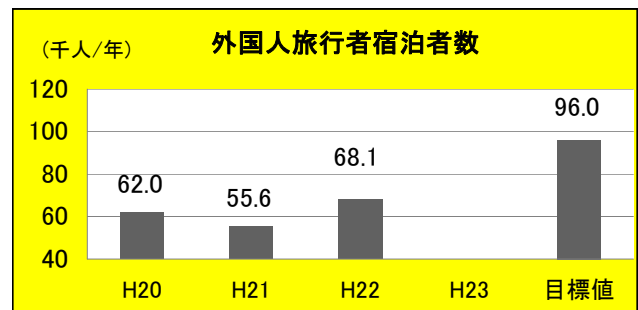
観光客が県内で消費する額の増加を目指すもの



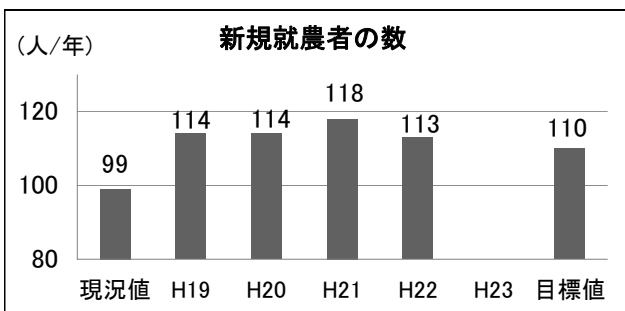
観光施設等への入込客数の増加を目指すもの



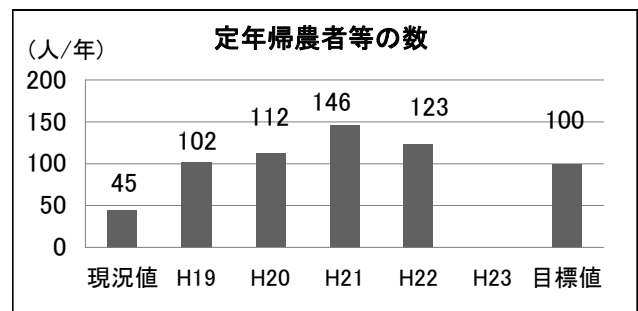
岡山県観光ボランティアガイド連絡会構成団体のボランティアガイド数の増加を目指すもの



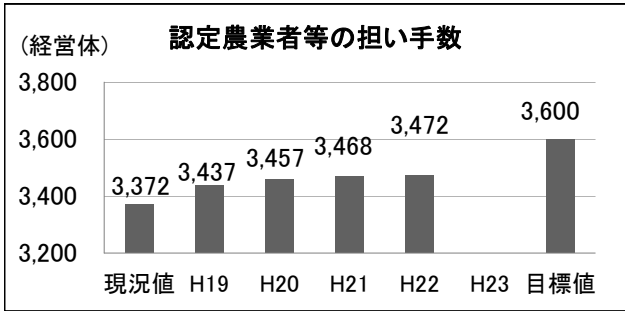
県内に宿泊する外国人旅行者の増加を目指すもの



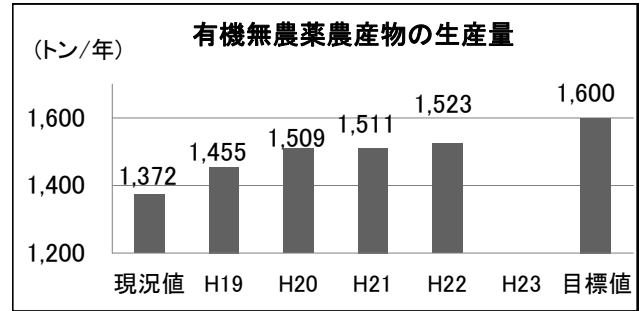
担い手の減少や高齢化の進行に対処するため、新規就農者を年間110人確保するもの



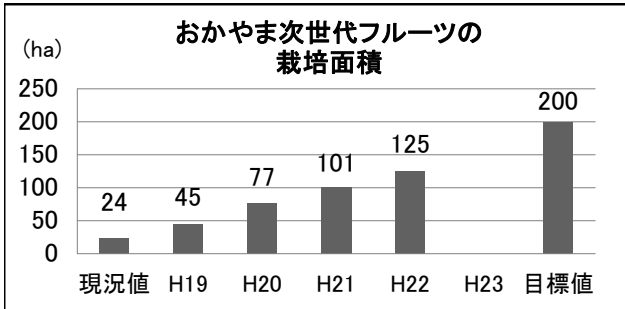
担い手の減少に対処するため、定年後に農業を専従で始める定年帰農者等を年間100人確保するもの



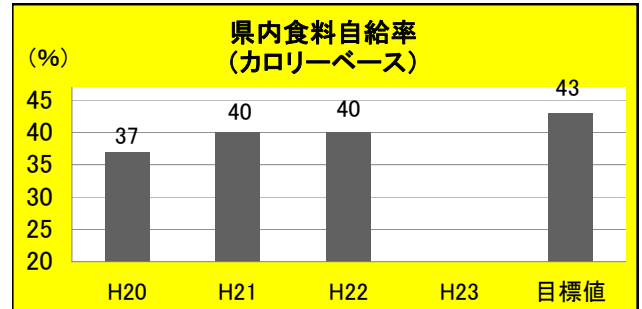
効率的かつ安定的な農業経営体を確保するため、意欲と能力のある経営感覚に優れた認定農業者等を育成するもの



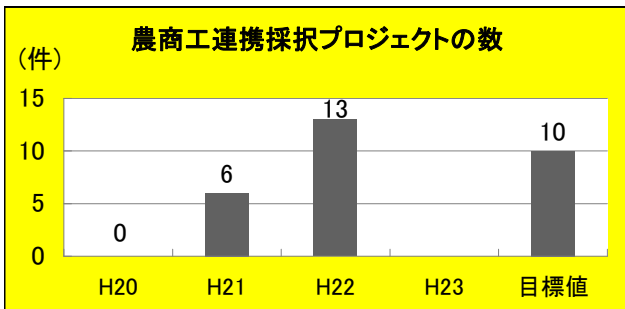
土づくりを基本として、農薬、化学肥料を使用せず生産された農産物の生産量



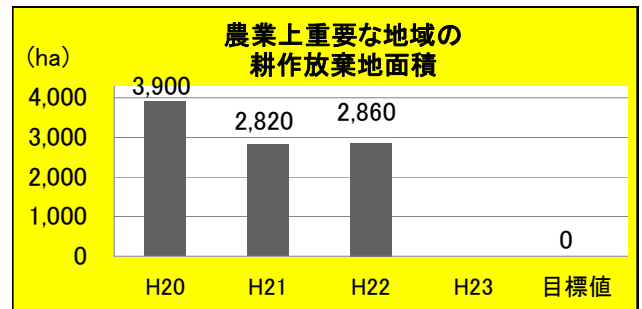
県が育成した期待の新品種である桃「おかやま夢白桃」、ぶどう「オーロラブラック」の栽培面積



県内における食料自給率のカロリーベースの数値



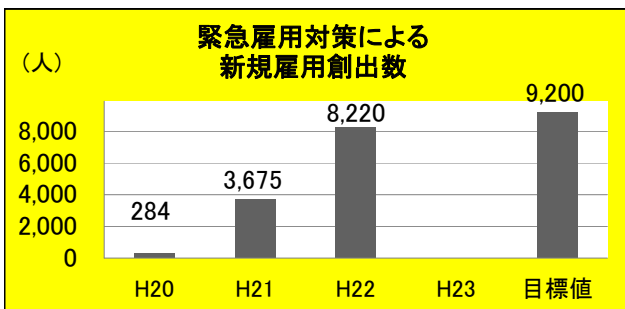
農商工連携事業として採択したプロジェクトの件数



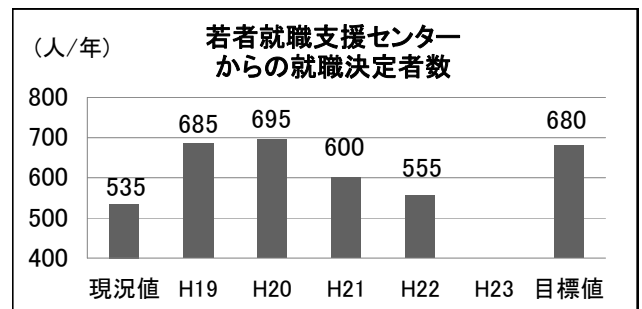
市町村による現地調査の結果、農業上重要な地域(農振農用地)の耕作放棄地面積

整理番号：306 就労プログラム

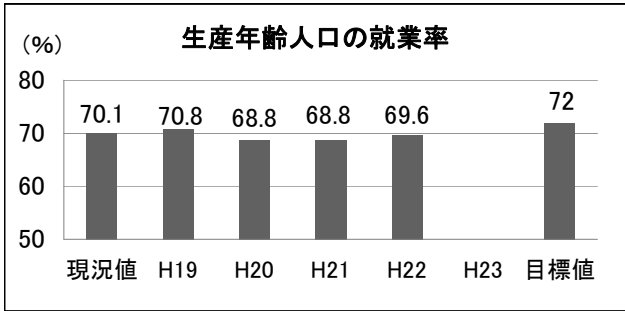
所管部局：産業労働部



雇用創出関係基金等の活用による地域における雇用創出を目指すもの(目標値はH21~23の累計)



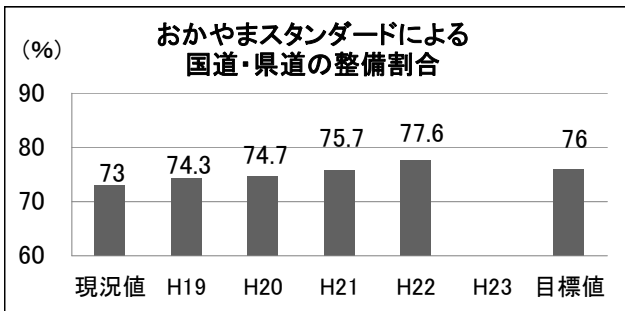
おかやま若者就職支援センターの就職支援による就職決定者の増加を目指すもの



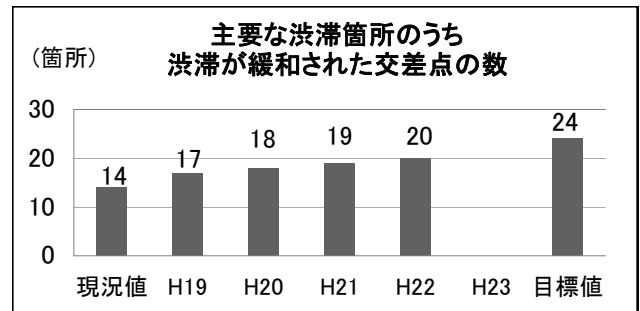
生産年齢人口(15～64歳)の就業の促進を目指すもの

整理番号：307 交通基盤プログラム

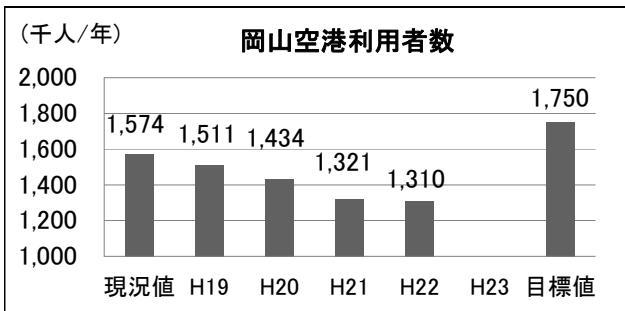
所管部局：土木部



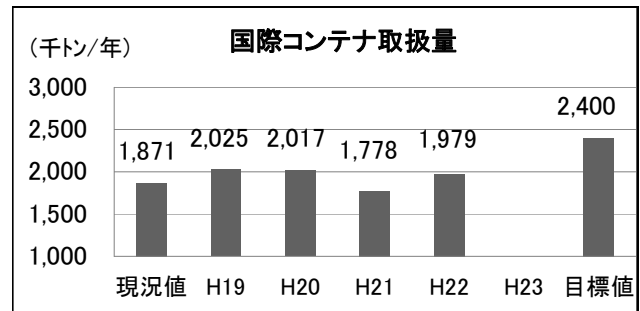
県内の道路整備が、どの程度進んでいるかを表すもの



主要な渋滞箇所のうち交通容量拡大策の推進などによって、著しい渋滞が緩和された交差点の数



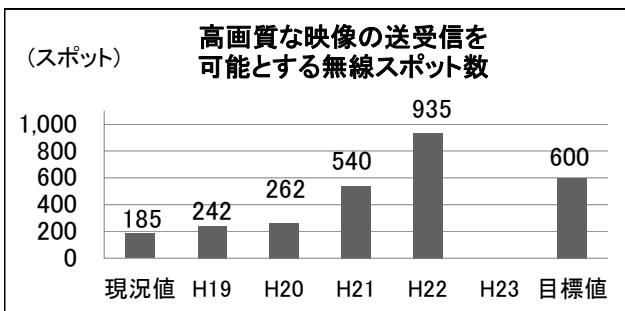
岡山空港の国内・国際定期路線とチャーター便の利用者合計で、利用者数の増加を目指すもの



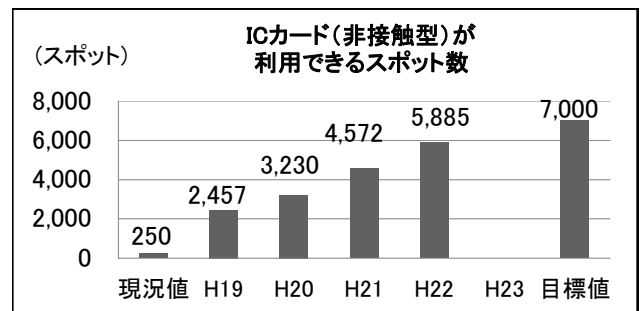
国際物流港湾として、水島港で輸出入されるコンテナ取扱量の増加を目指すもの

整理番号：308 ユビキタス実感プログラム

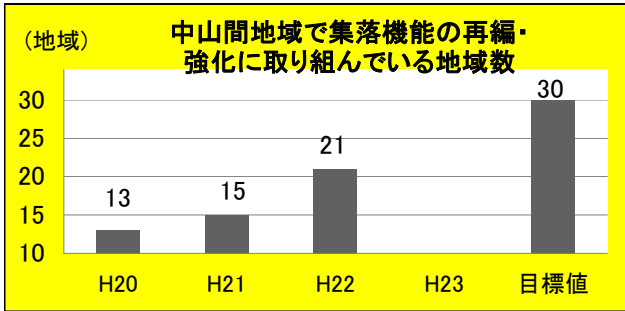
所管部局：県民生活部



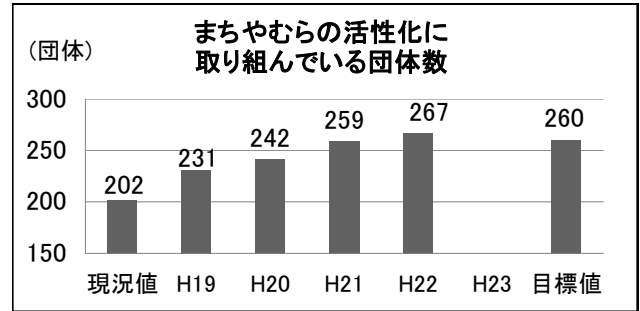
公共施設(空港、図書館等)及び民間施設(飲食店等)において、高速無線通信を可能とする拠点施設の増加を目指すもの



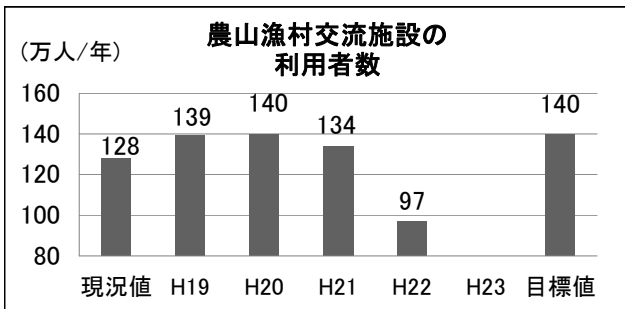
ICカードを読み取り装置にかざすだけで簡単に決済等を行うことができる拠点(コンビニ、バス等)の増加を目指すもの



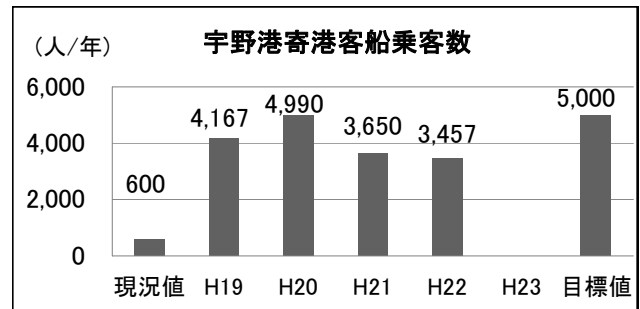
中山間地域で集落機能の再編・強化等の取組がどの程度進んでいるかを表すもの



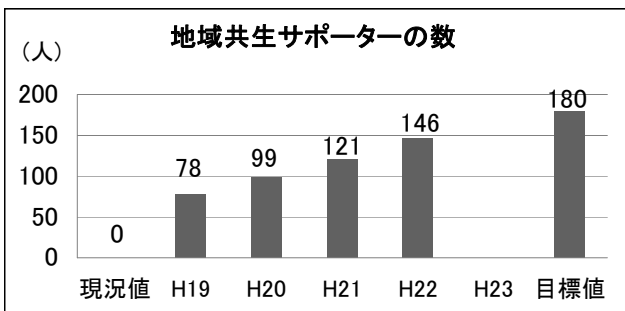
地域で自主的・主体的に活動する地域づくり団体の増加を目指すもの



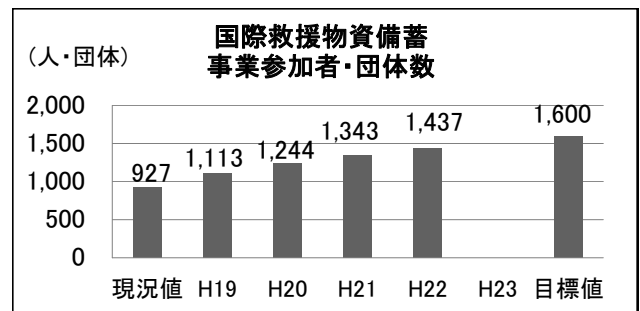
農山漁村地域の発展、活性化のために参考となる都市と農山漁村の相互交流の促進度合いを示すもの



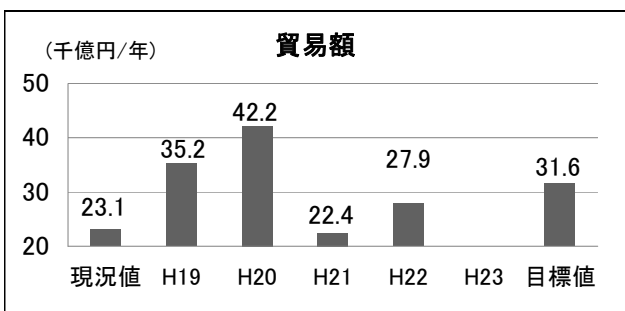
客船の寄港地として、宇野港を利用する客船の乗客人数の増加を目指すもの



地域と在住外国人とのパイプ役となるボランティアの育成を目指すもの



広く県民等の協力を得て救援物資の備蓄を行うもの



海外との経済活動の活発化を目指すもの